

アメリカ労働組合同盟 (A. F. of L.) の労働組合も同様に埋葬費を支拂ひ、そして大部分は或る疾病保険をも與へてゐる。この事情は或る程度において、官僚共が組合員の壓倒的多数が失業せるときでさへ、また彼等自身の裏切りにも拘はらず、彼等の労働組合の組合員を、もしくは少くとも組合員の著しい百分率を確保することができ、ことに役立つのだ。

最近行はれた確問は、社會保険のこれらの諸形態の外に、百二十五萬以上の労働者が資本家から直接に疾病治療費、埋葬費及び或る程度まで失業補助金さへ受け取つたことを證明してゐる。この目的のために一定額が毎月もしくは毎週労働賃銀から天引きされる。

以上が合衆國における社會保険の主要な形態であるが、しかし強制的な、國家の負擔による保険は、絶対にたゞの一つもないのだ。従つて、吾々が合衆國で完全な社會保険（失業者補助金、疾病保険及び母性保険等）に對する要求を掲げるならば、吾々はたゞに大資本家及び政府そのものと衝突するばかりではなく、またこれらの社會保険代理店と、アメリカ労働組合同盟の指導者層と、私が報告した強大な諸組織と、その官僚が社會フアシスト共及びアメリカ労働組合同盟と密接に結びついてゐる諸組合等と衝突するのである。

戦前、すなはちアメリカ社會黨が選舉において百萬票を獲得した一九一二年においてさへ、この黨が社會保険、失業者補助金もしくは類似のものに對する要求を掲げなかつたことを識るのは甚だ興味がある。

社會黨の官僚の主要な支柱を成したものは諸友愛組合の官僚共であつた。換言すれば、合衆國の社會黨 S. P. の側からの社會保険に對する要求は、このスローガンが何ら革命的意義を持たなかつた時期においてさへ、社會黨の官僚の利益とこの黨を主として支持する諸組織の利益とを直接に侵害したことであらう。

アメリカ労働組合同盟の副同盟長で、サヴェート聯邦の敵であると宣言したマツシユ・ウォル Mathew Woll がアメリカ労働者聯合所屬の生命保險會社の社長であることを識るのは同様に興味あることだ。かやうに、合衆國における社會保険のための闘争においては、戦線は全く明瞭である。

獨佛兩國と合衆國との間の、この點における主要な相違は、合衆國のブルジョアジイがこれまで讓歩の政策を習得しなかつたといふ點にある。その理由は、アメリカのブルジョアジイが世界市場において第一位を確保しようとする場合、彼等は全アメリカ労働者階級の社會的經濟的水準を可なり激しく低下せざるを得ないといふ點にある。労働力の價値が二つの要因から成り立つてゐることはマルクス主義の初歩的な規定だ。二つの要因とは、すなはち労働者の生活を維持し労働者階級を再生産するために必要な物質的要因と、當該資本主義制度の發展に由來せる社會的、歴史的及び傳統的要因とだ。

アメリカのブルジョアジイは、目下のところ、労働力のこれら二つの要素の價値を低減しようとする

力してゐる。一年前にはなほアメリカのブルジョアと労働者階級の内部における彼等の代表者たる社會ファシスト共及び改良主義者共がいはゆる「アメリカ的生活水準」のために不斷のプロバガンダを展開してゐたのに、今やこれらのお世辭が全く彼等のプロバガンダから姿を消したことは甚だ重要な意義を持つてゐる。これらのスローガンを更に使用し続けることは解き難い矛盾を喚び起すであらう。なぜかといふに、彼等はいはゆるアメリカ的生活水準の絶滅に狂奔してゐるのであるから。これら總ての理由から、合衆國においては、社會保險のための闘争、就中中心點に立たねばならぬ失業者補助金のための闘争は素晴らしい政治的意義を持つてゐる。

ドイツの同志エムメリツヒは、アメリカの赤色労働組合は、失業者及び労働者階級の廣汎な大衆を社會保險のための闘争、特に失業者補助金のための闘争に組織するために何をしたかと質問した。吾々は吾々がしなければならぬことをすべてやりはしなかつた。けれども兎も角やることはやつたのだ。三月六日には、百四十萬の労働者が、失業反對、社會保險の獲得のための街頭示威運動の檄に呼應して立つた。その時以來、赤色労働組合の主要任務は、その直接の統制下に失業者委員會を組織化することであつた。

七月四日及び六日には、吾々はシカゴで失業者代表者會議を開催した。この會議には、主として重工業からやつて來た千三百人の代表者が参加した。この會議は全國委員會を選舉したが、この全國委員會は、失業者の社會保險の獲得、放逐反對、労働時間の延長反對及び失業者のその他の直接的諸要求の獲得のための闘争を指導するのだ。同會議は赤色労働組合の組織化のための一般的な闘争と結びつけて、失業者を獲得するための具體的な活動綱領を採用した。失業者新聞が、労働組合統一赤色同盟の一機關紙として、發行されるはづである。

完全な社會保險の主要なスローガンと若干のあまり重要でないスローガンとは、現在行はれてゐる共産黨の選挙カムバーニアを通じて、アメリカの労働者大衆のあいだに流布されつゝある。吾々はまた、丁度いま、吾々の工場委員會やその他の労働組合の諸機關の援助を得て、社會保險への要求を工場内で宣傳しはじめてゐる。吾々はこれらの要求を諸種の工業別に具體的に作製し、そして賃銀低下反對、失業反對等の一般的な闘争と結びつけた。

更に法律案が作成された。これは州の諸種の立法機關及び議會に提出されるはづである。この法律案の核心は勿論失業者保險である。社會黨は彼等の選挙カムバーニアのあいだ完全なる社會保險のスローガンを提出せず、僅かに失業者補助金のスローガンだけを掲げて、そのために貧弱なプロバガンダをやつてゐるに過ぎない。

これらすべての事情を顧慮するならば、同志諸君、私は考へる、合衆國の共産黨及び赤色労働組合が完全なる社會保險のスローガンを労働者の生活に、特に七百萬乃至八百萬に達する失業者の生活に

正しく適用するときには、現在、アメリカ社会黨の社会ファシスト共とアメリカ労働組合同盟の官僚共とに對抗して社会保険のための闘争における指導権を掌握しうる可能性を、いな可能性のみならず蓋然性をさへ吾々はこれを確認しうる、と。

その外、社会保険のための闘争は合衆國では少くも議會的な形態を採り得ない。このことは、吾々が議會闘争を忽せにすることを、吾々が選挙カムバーニアにおいて社会保険のための闘争から生ずる一聯の問題をあまり力説しないことを意味するものではない。けれども、吾々は同時に社会保険のための政治的ストライキの組織を忘れてはならない。そして吾々の指導下にあるかもしくは吾々が勢力を持つてゐるストライキ、そして特殊な經濟的要求のために起るストライキにおいては、完全な社会保険のスローガン、就中失業者保険のスローガンが吾々の諸要求中の第一位を占めなければならない。

吾々は、現在最も近き將來において社会保険のための大衆的ゼネラルストライキを合衆國で組織することができらうと主張することは出来ない。けれども吾々はそれをシツカリと眼中においてるなければならない。猶佛兩國の赤色労働組合運動及び共産黨とは反對に、吾々は國家の立法團體に又は議會に又は上院にたゞ一人の代表者も持つてゐない。それ故、吾々はこれらのブルジョア的諸機關を、たゞ間接的な方法でのみ、プロバガンダとアヂテーシヨンのための廣場として利用しうるだけだ。そこで、吾々は他の進歩せる資本主義諸國におけるよりもなほ一層、社会保険のための闘争を工

場へ、就中重工業の工場へ集中しなければならない。

吾々は次のスローガンを掲げる「戦争のためには銚一文も出さず、完全なる失業者補助金を獲得しろ」——かくすることによつて、吾々は、失業反對の闘争及び社会保険のための闘争と共に、帝國主義戦争反對の闘争の火蓋を切つた。

最後に、私は、アメリカ支部が極めて除々に社会保険といふスローガンがいかに重要であるかの理解を獲得したことを指摘しておきたい。けれども、私は信ずる、この理解が今や完全に存在してゐる。即ちたゞに問題そのものゝ意義に對する理解が存在するばかりではなく、よつて以て吾々のスローガンが大衆の間に持ち込まなければならない方法並に吾々が適用しなければならない組織方法及び闘争方法に對する非常に明確な理解も存在すると斷言し得る、と。

ドイツにおける社会保険の狀態と吾々の要求 ——ドイツ代表の報告——

ドイツでは、代償を拂つて労働しその収入が六千萬マルク以上に達しない労働者及び使用人にはすべて保険義務がある。現在ドイツは約二千三百萬の「労働者」が國家保険制度に加入してゐる。強制保険には次のものが含まれてゐる——

- 一、疾病保険
- 二、傷害保険
- 三、癱疾者保険
- 四、使用人保険
- 五、坑夫保険
- 六、失業者保険

疾病保険について

ドイツには約七千五百五十の疾病共済組合がある。これらの疾病共済組合は、地區疾病共済組合、工場疾病共済組合及び組合疾病共済組合に分れてゐる。疾病共済組合の保険料は普通當該労働者の賃銀の五%乃至八%である。治療費は八月一日までに、最高の場合に賃銀の六〇%に達した。憲法第四十八條（獨裁箇條）——これは現在効力を發生してをり、當時ドイツ疾病共済組合議長、レーマン、Lehmann（社會民主々義者）によつて提案されたもの——によつて行はれた著しい改悪は、要約すれば次の如くである——

- 一、組合員の管理費割當額は診断書を提出する場合には、五十ペンニツヒを納付すること（けれども一・五〇マルクまで増加され得る）。
- 二、藥劑費に對する組合員の割當額は五十ペンニツヒ。これは藥劑費の五割まで増加されうる。
- 三、疾病治療費は從來一週七日全部に對して支拂はれた。將來は日曜日に對してはもはや支拂はれてはならない。

四、保險所得に對する上の限界と給與の上の限界とが引き下げられてゐる。將來は賃銀の五〇%が疾病治療費の最高給與として支拂はれる。例へば、ある労働者の所得が六十マルクであるとすれば、彼は前には最高四十マルクの疾病治療費を得ることができた。同じ労働者はこの新提案によれば、二十七マルクを得るにすぎない。賃銀限界低下の結果は右の如くである。

傷害保険

傷害保険はドイツでは全く國家保險制度によつて統制されてゐる。けれども殆ど全く職業協同組合の掌握するところである。ドイツには現在六百二十の職業協同組合がある。それらは私營企業の性質を持つてゐる。傷害保険の保険料は次のやうに分れてゐる。すなはち半額は労働者が負擔し、他の半額は企業家が負擔する。労働者の保険料はその賃銀の約二%を占めてゐる。傷害件数は昨年はドイツは七十五萬件増加した。これは戰前時代の傷害總件数の約五〇%である。このことが多分テンポの激化と企業家階級の合理化方策とに歸せらるべきことは疑ひない。同時に、特殊な組織（年金壓搾）のために、年金收得者数は一七・八%から一〇・二%へ減少した。

癡疾者保險

ドイツには三十五の國家保險局が在る。これらの保險局が癡疾者保險の負擔者である。賃銀の約三%が、癡疾者保險のために労働者から天引きされてゐる。癡疾者保險の給與は最近數年間に著しく増加された。けれども、それは個々の市町村や市町村地區における福利—保護同盟によつてその追加年金の評價の際に再び完全に算入される結果、實際には社會的年金收得者の収入は何らの増加をも見なかつた。當時、一月當り最高五十四マルクが支拂はれてゐる。國家保險局は今日企業家階級と改良主義的建築協同組合との信用局になつた。金融缺乏はそこには存在してゐない。なぜかといふに、社會的年金收得者のための給與が最低限であるから。

使用人保險

使用人保險における保險義務のための俸給の限界は最近二三年間に三千五百マルクから六千マルクへ引き上げられた。使用人保險の給與は傷害保險のそれよりもはるかに多額である。けれどもその代り、使用人の保險料もまた少くとも収入の六%に達してゐる。

坑夫保險

坑夫保險は特種な保險であつて、主として鑛山經營に限られてゐる。この經營の特殊性の結果、保險料は癡疾者保險乃至使用人保險のそれよりも高額である。けれども給與は傷害保險や癡疾者保險の

それと同一の限界内を動いてはゐない。

失業者保險

戰爭の終熄以來一九二六年にいたるまで、ドイツには失業者補助金があつた。この補助金は失業者保護によつて調達された。費用の配分は當時まで略々次の如くであつた、三分ノ一國家、三分ノ一企業家、三分ノ一市町村、州及び保護同盟。一九二六年以來ドイツには失業者保險がある。その費用は労働者と企業家とが夫々五〇%を負担した。一九二九年までは保險料は労働賃銀の三%であつたが、社會民主黨の労働大臣ウイッセル、Wisselの提議によつて、一九三〇年一月一日に三・五%へ引き上げられた。反對に、失業者保險の失業者に對する給與は低下された。その上、失業者補助金を支拂はれる人々の範圍は甚しく縮小された。工場に於て保險料を支拂はなければならぬ既婚者の妻は、夫の就業中に失業する場合には、補助金から除外される。中絶期間は甚しく延長された。特に青年と獨身者とに對して。

その他の種類の補助金

その外、ドイツではあらゆる保護方策が組織的に荒廢されてゐる。この荒廢はとりわけ戦傷者保護と遺族保護とを破壊してゐる。そこでは治療が制限され、また日常の豫後診斷は給與金を低下するやうに仕組まれてゐる。これは當事者に甚しい損害をもたらすのである。

社會保險のための闘争

福利保護と戦争補助金とにあつては、個々の保護同盟において方針が發せられた。この方針は被保護者及び戦争補助金受領者の生活水準を著しく低下するものである。一例を舉げる、ベルリンでは獨身者は一ヶ月當り四十三マルクを受け、夫婦は六十三マルクを、子供は一ヶ月當り十八マルクを受け、進歩した保護においては(癩疾者保護をも含めて)獨身者は一ヶ月當り五十三マルクを、夫婦は七十九マルク五〇を、子供は十八マルクを受ける。

これは、平均して、子供三人を有する一組の夫婦にあつては、一人當り一日六十一ペンニツヒである。

妊婦保護と乳兒養育とにおいて重要なことは、現物補助と物品給與とが完全に荒廢せしめられたことである。ドイツの法律では分娩前後共六週間、妊婦は労働から離れる権利があると定められてゐるにしても、妊婦はこの法規を殆ど利用してゐない。妊婦はこの十二週間のあいだ、少額の疾病補助金を除いては、全く無一文である。その結果、妊婦は大部分の場合において分娩前日まで仕事にゆかねばならぬし、また分娩後六週間も仕事から離れるわけにはゆかない。

一九三〇年一月一日の官廳統計によれば、ドイツには上記の諸保険に加入せる一千六百九十三萬八千七百三十一人が何らかの形で給與金受領者であり、補助金受領者である。この數には約三百萬人が二重に數へられてゐる。なぜかといふに、彼等は若干の保険に加入してをり、これらの保険から収入を得てゐるから。けれども絶えずなほ約一千二百萬の數があとに残つてゐる。この數には大約二百萬の失業者が算入されてゐる。

『アルゾオ』 Die AKSO = Arbeitsgemeinschaft

Sozialpolitischer Organisationen

ドイツにおいてこの問題に従事しそして反對派に屬してゐる全組織は、社會政治的組織の共同體すなはち『アルゾオ』に結成されてゐる。アルゾオはドイツで七月にその第一回大會をドレスデンに開催した。同會議は一切の社會政策的諸問題を取り扱つた――

- 一、労働時間と労働賃銀
- 二、労働権
- 三、労働保護
- 四、社會保險
- 五、戦争犠牲者の扶養
- 六、保護と衛生制度
- 七、人口政策
- 八、住宅制度

社會保險のための闘争

一切の社會政策のこの種の統括を行ふ組織を計畫し、絶えず革命的労働組合反對派と連絡せしめることが必要であつた。このアルゾの第一回全國會議において一聯の闘争要求が提出された。ドイツの革命的労働組合反對派 K. D. O. はこれらの要求を自己のものとした。次に簡単に再掲しよう。

闘争要求

資本主義國家においては、社會政策はブルジョアジーの階級支配を維持するための一手段である。資本主義的搾取にとつて必要な労働力の維持もしくは再生産に役立たない社會的支出は資本家にとつては不生産的である。アルゾは今日の不十分な分散的な社會保險や保險の代りに、労働、失業、疾病、傷害、癱疾及び年齢五十歳のときに、すべての労働者、使用人、中下級官吏、自由職業者、小營業者及び小農民並に彼等の家族に充分な保護と世話とを保證する統一的な社會保險を原則的に要求する。經費は企業家の負擔によつて徴收さるべきである。保險は勤勞者自身によつて管理さるべきである。階級國家は勿論これら總ての要求を實現しないであらう。

社會保險に對する要求

(イ) 疾病、保險

一、保險義務を、賃銀もしくは俸給を得て働いてゐる年收一萬マルク以下の一切の人々並に失業者、徒弟、恩給受領者、年金受領者、補助金受領者及び刑務所その他の施設や住宅の住民へ擴張すること。

二、保險有資格者の範圍を、年收一萬マルク以下の小營業者、小農民及び自由職業へ擴張すること。

三、被保險者及び自ら保險する義務のないその家族員に對して、疾病のはじめから看護し、一切の藥劑及び藥品を提供すること。

四、疾病共濟組合の給與期間を健康が完全に恢復するか、もしくは被保險者の癱疾者年金又は傷害年金に對する要求が承認されるまでとすること。

五、疾病治療費を日労働所得額で、勞務不能の日から、曆日毎に支拂ふこと。

六、病院の看護を義務として履行すること、しかしこれは生命の危篤、傳染の危険ある場合を除いて、病氣の決定だけで行はれることを要する。

七、靜養の必要な患者を療養所へ送ること。

八、患者が家族の範圍内に止まる場合には、家宅看護を義務履行として引受けること。

九、すべての被傷害者を、健康の恢復まで又傷害年金に對する要求が承認されるまで、疾病共濟組合によつて保護すること。

十、妊娠豫防劑を無料で給與すること。

十一、保險義務者の危険部類別の保険料は企業家が提供すること。保險義務者の保険料はその収入に應當すること。

十二、地方共済組合別に整理された、組合員數十五人以下の統一的な國營疾病共済組合を創設すること。

十三、比例選舉に基き、企業家を除外して、共済組合機關を選舉すること。

(ロ) 傷害保險

一、傷害保險を、現在保險されてゐない一切の經營と業務へ擴張すること。

二、一切の職業病を傷害と認め、そのために勞務能力が減退する場合には年金を與へること。職業活動の特質によつて起された一切の健康傷害を職業病と見做すこと。

三、傷害保險の給與を、現在の生計費に適應させること。

四、完全年金額を完全なる年勞働所得額に引上げること。

五、現在の傷害年金を、當該職業グループの賃率賃銀を基礎にして、完全年金として増加すること。

六、被害者が屬する職業グループの賃銀が増加するに連れて、絶えず年金を増加すること。

七、農村勞働者に對する例外規定を廢止すること、また年金を實際の勞働所得に従つて計算すること。

と。

八、規定の中止を除去すること（國家保險法第三百三十一條ノ二）。

九、育児手當と孤兒年金とを十八歳まで與へること。

十、國家保險法の規定に依つて、給養手當を與へること。

(ハ) 癱疾者保險と使用人保險

一、癱疾者保險と使用人保險とを合併すること。

二、休養費の基本額を毎月六十マルクに増加すること。

三、年齢限界を五十歳に低下すること。

四、孤兒年金と育児手當を十八歳まで與へること。

五、雇主の保険料全額支拂ひ。

六、要求權に關する一切の規定を廢止すること。

七、治療を義務履行として實行すること。

八、癱疾者保險の給與を、使用人保險に平均させるために。

(イ) 仕事が一〇%減少する場合には癱疾と認めること。

社會保險のための闘争

- (ロ) 癱疾を前提とすることなしに總ての寡婦に寡婦年金を與へること。
- (ハ) 基本額を十四マルクから二十四マルクに、國家追増金を六マルクから二十六マルクに増加すること。

(三) 坑夫保險——

- 一、保險給與の一般的増加。
- 二、疾病、傷害もしくは癱疾のために、不時に退職する場合には完全なる給與を與へること。
- 三、『實際に坑夫的な労働』といふ概念を鑛山經營の全就業者へ擴張すること。
- 四、一切の職業病を傷害と認め、賠償すること。
- 五、要求權に關する一切の規定の廢止（認知義務）。
- 六、吾々の鑛區から移住する場合及び非自發的に職業を換へる場合、被保險者の權利はすべて持續されること。
- 七、他の保險負擔者からの給與に對して獲得された權利に關する一切の省略規定はこれを除去すること。
- 八、孤兒年金と育児費とを滿十八歳まで與へること。

(ホ) 失業者保險——

- 一、國家、州及び自治團體は、労働者住宅、學校、病院、交通事項等を建設するために、労働供給用資金を充分に準備すること。
- 二、一切の時間外労働の禁止。
- 三、公私企業家はすべての空席となる地位を管轄労働官に義務として報告すること。
- 四、失業者委員會の統制の下に、労働官は一切の公職を配置すること。
- 五、失業者を、報告順に、あらゆる職業の空職に周旋すること。
- 六、あらゆる種類の強制勞役の廢止。
- 七、失業者補助金を、中絶期間及び閉鎖期間並に補助金部類一―六を停止して、すべての労働者に對して、また失業の全期間にわたつて支給すること。
- 八、保險料は、企業家が負擔すること。

大英國とアイルランドとにおける社會保險

——イギリス代表の報告——

様々な形態の社會的危險に對して勞働者を保險するイギリスの社會立法は、勞働者階級を資本主義的に感化する最重要な手段の一つである。保險の形態は要約すれば次の如くである——

一、疾病共濟組合保險

國家疾病保險は病氣のために勞務不能な勞働者に補助金を與へる。

十六歳以上の勞働者は殆どすべてこの保險に加入してをり、そしてその掛金を準備金へ拂込むことを餘儀なくされてゐる。かやうにして集められる資金は企業家の掌中に在る。企業家共は勞働者の保險料を賃銀から天引きし、企業家と勞働者との共同保險料の總額を示してゐる特殊の保險カードを管理してゐる。なほ國家の追加金がこの共同保險料に加はる。これらの補助金は準備金そのものゝための多數の擁護規定によつて取り巻かれてゐる。これらの規定は勞働者に對して向けられてゐるのだ。業務は補助金、自由な醫師の治療及び母性保護を含んでゐる。すべての施行規定ははじめから勞働者に假病と濫用の嫌疑をかけてゐる。そして勞働者が彼の權利を主張しようとしさへすれば、直ちに彼に向つて適用されるのだ。貨幣による補助は病氣記入後四日目にはじめて行はれる。その際、一般に少しの補助金も支拂はれない場合が起りうる。なぜならば、悲惨な状態は勞働者をして少しでも快復の徵候が現はれると仕事に歸へることを強ひるのであるから。このことが非常に屢々宿命的な結果を持つのである。

一九一二年にこの法律が効力を發生して以來、多數の勞働組合に、それを彼等の組合員のために管理する權利が與へられた。今日、勞働組合は福利増進同盟や生命保險會社の競争を甚しく強烈に感じてゐる結果、彼等がこれらの機能を更につとけて實行することを直ちに中止することがあり得るほどである。これらの勞働組合は大部分古いツンプト協同組合であつた。その規則と組合員の條件には補助金がともに含まれてゐる。

保險金の管理は國家の掌握するところである。疾病共濟組合監督官がそれを管理する。そして從來毎年巨額の過剰金が堆積されたのであつた。過剰金の總額は定期的に計算され、そして有價證券——大部分國債證券——の目錄は信用のある會社の任意處分に委せられる。その過剰金はそれらの信用ある會社に投資される規定になつてゐる。保守黨政府の大藏大臣ウインストン・チャーチル Winston Churchillは、一九二八年に、彼の豫算の不足を填補するために、この積立金に攻撃を加へた。

過剰金は定期的に勞働組合と信用ある會社とに分配される。彼等はそれを諸種の補助金を支拂ふために使用し得る。しかしその場合つねに、監督官の承認を得なければならぬ。勞働組合はかやうに保險料を納付する義務があるのに、管理以外には、これらの保險金額を使用する何らの權能も持つてゐない。

二、一九二七年の失業保險法

今日現存してゐる失業保険の形態は法律上決定された最も破廉恥な欺瞞の一つである。なぜならばそれは元々一九二二年に採用された法律とはもはや全く何の類似も持つてゐないからだ。

元々労働局が設置されたのは、失業者を登録し、職がある場合には失業者にそれを周旋するためであつた。疾病共済組合の場合と同様に、労働組合は管理を確保した。労働組合はその組合員のためにできるだけ有利な補助金を獲得することができたゞけであり、また獲得しようと努力した。けれども一九一四—一九一八年の世界戦争後、全部の職業紹介所が崩壊した。そして今日、労働局は全く補助金を支拂ふための一機關であるにすぎない。職業紹介は、それが本来法律上きめられた機能であるにも拘はらず、殆ど問題にならない。しかし今日、舊名稱は補助金の請求を拒否するための口實としてなほ利用されるにすぎない。

疾病共済組合におけると全く同様に、保険料は労働者と企業家との共同負擔であり、そして企業家によつて集金されてゐる。しかしこの場合、全機關は、國家と協働してゐる企業家によつて管理されてゐる。各個々の補助金に對する申出は、それ故、直ちに反對にぶつ突かり得る。そして慘酷な親方に對する不従順もしくは反對といふ如き極く些細な衝突さへ、すでに屢々企業家をして労働者から補助金を奪取することを可能ならしめたのだ。

たしかに労働者が訴訟しうる裁判所があるにはあるが、この裁判所は、辯護士たるを要する一人の議長と、一人の企業家代表と一人の労働者とから構成されてゐる。しかし後者は改良主義的な労働組合によつて任命され、そして係争問題はつねに法律上の穿鑿に基いてブルジョア的な辯護士によつて決定される。改良主義的な代表者によつて庇護されない活動的な労働者に禍あれ！

すべての源泉からの保険収入額は本年四月の四週間に四百七十七萬五千磅スターリングであつた。然るに支出額は五百七十七萬五千磅スターリングに達した。すなはち百六十萬磅スターリングの不足が出てゐる。五月には収入は六百二萬五千磅スターリング、支出額は七百七十八萬磅スターリングに達したから、更に百七十七萬五千磅スターリングの不足額が生じてゐる。その結果、新週間に對する總不足額は三百三十五萬五千磅スターリングに達してゐる。

保険に加入してゐる失業者数は四月に百七十五萬二千人乃至五月に百八十二萬三千人であつた。そして五月末には上述したやうに、負債總額は百七十五萬磅スターリングに増加してゐた。この負債は將來の収入から控除さるべきものである。さて、負債の増加を五月及び四月のそれと同一割合であると前提して、それに一九三〇年七月末の失業者數二百萬を對比するとき、今日の負債額を四百萬磅スターリングと見積つても、恐らく大過ないであらう。

労働大臣はすでに一千三百萬磅スターリングの補充追増金の承認を得た。そしてなほ一層多く徴集しなければならぬであらう。

現在社會ファシスト共は多數の勞働者からその補助金を奪取しようとして企てゝる。資本家諸黨の援助によつて、失業者補助金増加案を作製するために一委員會が設置された。このことは取りも直さず、勞働者の生計に對するヨリ以上の攻撃なのだ。しかしその代りに、社會ファシストたるジエ、エツ、チ、トーマス J. H. Thomas は、失業を克服するために、彼に年五千磅スターリングの收入を得させる大臣としてのその國職を保持したのであつた。

三、寡婦年金、養老年金及び孤兒年金

一九二七年以前には勞働者の寡婦や孤兒に對する何の扶助もなかつた。併し七十歳以上の勞働者のためには養老年金があつた。この保險に對しては少しも保險料を拂はないでよかつた。

一九二七年の法律はすべての被保險勞働者を強制して、寡婦年金、孤兒年金及び養老年金のための保險料をも納入せしめてゐる。しかしこの法律は舊法を全然除去しはしなかつた。この法律はおそらく十年乃至十五年間有効であらう。それに就いて討議が行はれたとき、社會ファシスト共の側から極めて猛烈な反對をうけた。社會ファシスト共は彼等の一九二九年の選舉綱領においてその大改正を約束してゐたのだ。けれども何時ものやうに、これはマヌーバーにすぎなかつた。しかし勞働者はこのマヌーバーを信用したのであつた、たしかに共產主義者が勞働者の眼前に勞働黨の昔の裏切りを突きつけて、將來の裏切りを警告したにも拘はらず。

こゝにもまた、數百の寡婦から補助金を奪ひ取るために申込者に適用されてゐる普通の手管があるのだ。寡婦は、そのとき、慈善事業に頼ることを餘儀なくされるか、さもなければ少額の賃銀で勞働を引きうけることを餘儀なくされるかだ。

四、傷害賠償法

傷害賠償法は勞働者に對するその効果において注目し値ひするものだ。勞働者が傷害を受ける場合、實際企業家に強制支拂が命ぜられるが、規定の金額はあまりにも低額である。加ふるに、その際、勞働者の心を動かして全く笑止に値ひするほどの金額を賠償として受取らせるために、保險代理人共はありとあらゆる悪計を用ひるので。

以上、勞働者を釣る餌として國家に役立つ二三の社會保險法を擧げたにすぎない。これらの社會保險法は、共產黨と少數派運動とが彼らの闘争において考慮しなければならぬものである。

フランスにおける社會保險

—フランス代表の報告—

本年七月一日にフランスでは、一九二〇年四月三十日の社會保險法が効力を發生した。すべての職

業部門に及ぶ社會立法は從來一つもなかつた。私的基礎に立つ家族手当制度ばかりが甚しく普及してゐた。この家族手当制度は清算金庫（相互企業家同盟）に加盟してゐる企業の既婚労働者に與へられたものである。この家族手当は極めて少額であつて、精々賃銀總額の二%にしか達しない。この制度の目的は労働者の缺乏が甚しい場合に彼等を工場に縛りつけ、企業家の搾取目的のために彼等をヨリ従順ならしめるにある。清算金庫やこの保険制度の爾餘の諸機關は専ら企業家階級の掌握するところである。労働者は保険料を拂はないが、賃銀はそれに應じて低く維持されてゐる。

新法はその議決前と採用後とに甚しく攻撃された。この法律には、疾病、母性、廢疾、養老、死亡及び繋累の危険に對する義務保険しか含まれてゐない。然るに、失業に對する保険は顧慮されてゐない。適用範圍は年賃銀總額が一萬五千フランを越えない兩性の賃銀受領者に及んでゐる。商業に従事せる労働者、家内使用人及び農業労働者のためには特別規定が存在してゐる。管理委員會や下級諸機關においては、企業家が多數である。この法律は、各共濟組合の管理委員會は少くとも十八名を數へねばならぬこと、その中半数は被保險者によつて選舉されることを規定してゐる。殘餘の委員は國家によつて任命される。右の外、二人の専門家（醫師、産婆等）が代表されてゐなければならない。保険料、すなはち資金は次のものによつて調達される――

(イ) 被保險者及び雇主の保険料によつて、

(ロ) 國家の追増金によつて、

(ハ) 諸種の收入によつて。

保険料は被保險者とその雇主とから、夫々半額宛調達され、そして原則としては、基本賃銀の一〇%と定められてゐる。

疾病時における給付。被保險者はその病氣に先立つ三ヶ月間に六十日分の保険料を、もしくはそれに先立つ十二ヶ月間に二百四十日分の保険料を支拂つてゐなければならない。でない、補助金を受けける資格を持たない。

醫師治療費と藥劑費とについては、被保險者はその一五%及び二〇%を出さなければならない。

補助金期間と補助金額。被保險者は罹病後六日目より、もしくは傷害後六ヶ月の経過するまで日々の治療費を要求することができる。治療費は被保險者の基本賃銀の半額であつて、すべての労働日に對して支拂はれる。

入院治療の場合には、治療費は、被保險者が一人乃至數人の十六歳以下の子供を有するか又は扶養すべき一人乃至數人の係累を有する場合には三分ノ一低減され、被保險者が結婚はしてゐるが子供がなく、また扶養すべき系累を一人も持たない場合には半分低減され、その他すべての場合には四分ノ三低減される。

母性補助金は保険に加入してゐる妻にだけ、すなはち分娩前後各六週間宛與へられる。補助金は三ヶ月間に六十日分の又は妊娠に先立つ十二ヶ月間に二百四十日分の保険料が拂ひ込まれてゐるときだけ、與へられる。日々の補助金額はこの期間中(三ヶ月)被保険者の基本賃銀の半額である。被保険者の分擔費額は診断費の一五%乃至二〇%と藥劑費の一五%とである。

癱疾者の年金額は平均賃銀の四〇%乃至五〇%である。養老年金額は三十ヶ年に亘る保険料の四〇%。それは滿六十歳後與へられる。

失業者に對しては保険料の支拂ひが引き受けられる。それは殘餘の社會保險部門における彼等の要求權を維持するためである。けれどもそれは制限された期間に對して通用するだけだ。要求權はかやうにして毎年精々四ヶ月間だけ持續されるに過ぎないであらう、しかもたと失業者が強制的に保険に加入させられ、仕事が無い結果非自發的に失業した場合だけのことだ。ストライキ、ロックアウト等の場合には、保険側の保険料は支拂はれないのだ。

新保險法が多く、の缺陷を持つもの、原則上或る進歩を示してゐるのに、それは労働者階級にとつても同様に大きな危険を含んでゐる。

フランスの革命的労働組合同盟であるCGTUは初めつからこの法律に反對した。しかしCGTUは、この法律が採決される以前の時期に、資本主義的恐慌の展開と大衆の急進化とに充分に結び付け

ずに、それを調査する誤謬を犯した。

その結果、CGTUは、あたかも吾々が保険料の天引きによつて賃銀が減縮されることに反對し、大衆を動員し、また企業家及び國家の負擔による保険のための闘争と賃銀の引き上げとに對して大衆に檄する代りに、一切の社會保險に原則上反對であるかのやうな印象を、労働者のあいだに容易に喚び起しうるやうな形態で闘争を指導するにいたつた。

かくして、CGTUはこの法律の政治的意味を大衆に充分に説明せず、そのアヂテーションに際して行政技術上の瑣事に没頭する結果となつた。ブルジョアジエは、共濟組合の監督機關に若干の修正を加へることによつて、CGTUのこのアヂテーションに對抗した。

一、共濟組合もしくは初歩共濟組合(最下級の共濟組合)を形成しようとする集團(職業労働組合相互保險組合等)は、労働省によつて作製された定款の根本形式に適應する義務を有する。

二、共濟組合の内部においては一切の政治的もしくは宗教的論争が禁止される。

これらの諸制限は、自己の共濟組合の創設と初歩共濟組合の獲得とを目當てにした統一労働組合に對する直接の打撃であつた。改良主義者共は最初から共濟組合の平等の管理に賛成であつたのだ。

このブルジョアジエの新規の態度に對して、CGTUは、共濟組合の内部でこの法律に抗争するために、労働者は企業家もしくは改良主義者の共濟組合に加入せよといふスローガンを提出した。

この時期全體にわたつて、労働者のこの法律に對する直接の闘争は第二線に押し込まれた。

一九二九年九月の労働組合會議において、また就中一九二九年十二月のCGTU全國委員會々議において、必要な轉換が行はれた。吾々は共済組合指導權の獲得といふ原則から外れなかつたのに、労働者に對するスローガンは根本的に變更された。この法律の管理を獲得せよといふスローガンは、労働者の保険料支拂に對して闘争せよ、賃銀の引上げのために闘争せよ、この欺瞞法と結びついた労働者の意向の喚び出しに對して闘争せよ、といふスローガンによつて置き代へられた。けれどもこゝでも、また大きな誤謬が犯かされた、といふのは吾々は、企業家及び國家の保険料支拂は自動的に完成品の價格を増騰せしめ、自動的組織的に生計費を増騰せしめずにはおかないといふ誤れる結論から出發したからである。全く單純にも、經濟恐慌と販賣市場の問題とを抱えてのた打ち廻つてゐるブルジョアジ―は物價を無限に増騰せしめ得るものではなくて、彼等は何よりも先づ企業家と國家との財政的負擔をヨリ激しい生産の合理化によつて、賃銀に對する、労働日の長さ等々に對する攻撃によつて差引かうと努めるであらうことが忘却し去られたのだ。吾々は經濟恐慌を、將又プロレタリアートとブルジョアジ―との間の勢力關係をもともに顧慮しなかつたのだ。この誤謬だらけな見透しのためにはわが役員達は大衆に資本主義制度の下ではいかなる社會保険もあり得ないと聲明するにいたつた。然るに、CGTUの努力は誤謬が確認されるにも拘はらず、目標とされた主要對象がこの法律に反

對して労働者大衆を動員することであり、これは或る程度まで達成されたことを證明してゐる。

吾々の否定的態度の最重要な事實は、吾々が眞實の社會保険——企業家の負擔による——を擁護するといふことである。CGTUのスローガンは實際に大衆を擱んだ。七月一日以來國內では數百のストライキが惹き起された。これらの運動のうちいくつかは統一労働組合が知らない間に起つたこと、統一労働組合は社會保険の欺瞞に對する労働者の闘争を豫見もしなければ、組織もしなかつたことを吾々は白狀しなければならぬ。けれどもこれら總ての誤謬が確認されるにも拘はらず、二十萬のプロレタリアがCGTUのスローガンの下に、またCGTUの行動の結果一ヶ月間のうちに闘争に入り、大部分は數ヶ月間に亘つて闘争を固執したことは否認されないとこだ。

CGTUが眞面目に没頭してゐる他の點は、社會保険法に對する闘争との聯關における、職工定款と年金共済組合に服屬せる官公業労働者（鐵道従業員、郵便配達夫、國營Ⅱ及び市町村營労働者、坑夫等）に關する政策、もしくは明確なる政策の缺如である。CGTUは絶えず、年金共済組合に加盟せる労働者の要求を私營企業の労働者の要求と、社會保険の空改良とに對する共同闘争のために、結びつけようと試みた。それは彼等に、彼等が他の労働者と同様にこの法律の結果の犠牲者であるであらうことを示した。一年の中に、現在なほ年金共済組合制度に加入してゐる労働者は、官廳の規定によつて、社會保険金庫へ移されるといふのだ。そしてその補助金もしくは年金については、それは甚

しい改悪をもたらすであらう。

吾々の承認され、確認された誤謬が、悪社会保険法に對して、この法律を更に改悪しようと目論んでゐる社会民主主義者とブルジョアジエとに對して労働者大衆を動員するために、吾々の政策と戦術とにおける急激な變化を必要ならしめてゐることは全く疑ふべくもない。

大衆の結成は次のスローガンの下に行はなければならない——

- 一、労働者による保険料支拂ひ反對、賃銀の引上げ。
- 二、収入は専ら企業家と國家との保険掛から出されねばならない。
- 三、中絶期間の廢止と補助金に對する權利を制限する一切の規定の撤廢。
- 四、失業の危険を法律に採用すること。
- 五、すべての賃銀取得者と俸給取得者（外國人労働者をも含む）とに對する權利の平等。意見と組織所屬とを確定するために行はれた會員名簿、入會許可證及び監査のための住宅訪問の廢止。
- 六、管理は専ら労働者によつてなされること、あらゆる種類の保険のために統一的な保険金庫をつくること。

オーストリアにおける社会保険

——オーストリア代表の報告——

オーストリアの人口は住民六百五十萬人。商業、工業及び手工業における就業者数は百二十萬人に達してゐる。官廳統計によれば、オーストリアにおける被保険者数は四萬三百七十九工場における男子労働者四十三萬七千二百六十六人と婦人労働者十二萬七千三百三十三人——總計五十六萬四千五百九十九人、徒弟および少女總計四萬六千五百四十七人である。

疾病、疾病、保險の費用調達は、法律上、労働者の負擔三分ノ二、企業家の負擔三分ノ一と規定されてゐる。使用人にあつては保険料は俸給の一五%。労働者と労働婦人とに對しては、疾病共済組合は十の賃銀部類に分けられ、使用人にあつては六の俸給段階に分けられてゐる。

疾病共済組合の給付

労働者に與へられる疾病治療費は賃銀部別に分けられ、その額は最高一日當り四シリング二〇グロッシェンに達してゐる。更に被保険者は任意に醫師の診断、藥劑及び治療を受ける資格がある。家族に對する給付として、労働者は醫師及び藥劑のための支出の四三%の償還をうけ、妻の助産院への收容と、組合員たること二ヶ年に及べば轉地療養とをうけるのである。

使用人は醫師の診察、藥劑、療養所、助産院への收容を受ける。病氣が疾病共済組合へ報告される場合には、家族員も同一の権利を有する。

労働者も使用人もともに低額保険であることを述べておかねばならない。彼等の疾病治療費は賃銀よりも著しく低額である。

一九二五年までは疾病保険は分散的であつた。この年以來、統一選舉共済組合がある、すなはち就業者の多數は組合員資格の他の部類への移轉を決定することができる。

徒弟の多數は共同組合金庫へ強制的に保険されてゐる。この共同組合金庫は企業家の獨斷的な管理の下にある。

農村労働者には疾病保険はない。疾病保険に入つてゐる労働者と労働婦人の多數は、病氣の場合には、病氣の第四日目から、組合員たること二十六週間のときには、十八ヶ月まで治療費を受ける。組合員たる期間がヨリ短い場合には、治療費給與期間は、十三週間、三十六週間及び四十週間である。使用人は普通四週間立つてから治療費をうける。最初の四週間のあいだ、企業家は俸給を支拂はなければならぬ。

民法第一千百五十四條に基いて、労働者と労働婦人とは、治療費の外に、補償（すなはち企業家の賠償）を受ける。賠償額は團體契約によつて様々であるが、しかし週賃銀額は支拂はれなければならぬ。

疾病共済組合の理事會は三分ノ一は企業家から、三分ノ二は労働者代表から構成されてゐる。監督局は社會管理省である。

傷害保険

傷害保険に關與させられてゐるのは機械工場ばかりである。保険は強制的である。費用の中、労働者が五分ノ一を負擔し、企業家が五分ノ四を負擔する。ある労働者もしくはある労働婦人が災難に遭ふと、勞務不能の低減の度合及び年金の額とその期間とを決定する。この委員會は、政府代表一名企業家一名及び疾病共済組合の代表一名から構成されてゐる。

年金は例外なく僅少であつて、癱疾期間中任意に低減される。

傷害保険の理事會は五分ノ四は労働者代表から、五分ノ一は企業家から構成され、政府の代表者が議長を勤める。企業家と政府とが多數を占めてゐる。この委員會は年金の決定にとつて最も重要である。

年金と養老保険

工業に就業せる労働者と労働婦人にあつては、何らの法律上の養老保険も存在しない。しかし、彼等が六十歳になつて、失業せる場合には、先づ十二週間のあいだ失業補助金を受け、次に月四十九リリング乃至五十五リリングの養老年金を受ける。社會民主々義的な労働組合指導者共は、労働者

の組合費を引き上げて労働組合の養老保険を行ひ、それによつて労働者の國營養老保険のための闘争を外らそうと試みてゐる。

私經營の使用人に對しては法律上の年金保險がある。これは使用人と企業家との共同負擔である。年金受領資格は、少くとも十年間保險料を納付し、そして全然勞務不能となる場合に生ずる。官公營の使用人にあつては、年金問題はヨリ有利である。

失業保險

オーストリアにおける失業は最も困難な問題の一つである。本年度の失業は昨年の高い状態をさへ凌駕した――

月	一九二九年	一九三〇年
四 月	一九三、二九六	二二三、一一六
五 月	一五四、六六九	一九二、二五一
六 月	一三三、一〇六	一七九、六一〇
右に養老年金受領者が加はる		
六 月	三七、九三〇	四八、二一七

更に吾々は約十萬の失業者を數へなければならぬ。これらの失業者は官廳によつて登録されなかつたのである。オーストリアにおける失業は年一年増加し、益々多數の失業者が補助金から抹殺されてゐる。失業補助金を得るためには、労働者もしくは労働婦人は最近十二ヶ月以内にオーストリアで二十週間労働してゐなければならない。職場を勝手に放棄する場合、又は企業家と衝突する場合、もしくは刑法違反の行爲がある場合には、營業條令第八十二條が適用される（すなはち、失業補助金が十二週間に取り上げられる）。

ストライキやロックアウトのとき、労働者や労働婦人は、そのために設置された仲裁委員會――この委員會は労働會議所の代表、商業會議所の代表（企業家）及び政府の議長一名から成つてゐる――がそう決定する場合には、補助金を受ける。彼等は、工場の休業が仕事の無い結果行はれたことが確認される場合にのみ、補助金を受けるのだ。

十六歳以下の青年労働者や労働婦人は何らの補助金も受けてゐない。補助金の支拂ひは八日間の中絶期間後はじまる。補助金は十二週間拂はれる。疾病保險法の十の賃銀部類に基いて、補助金額は一日當り三・二六シリング乃至二四・五〇シリングに達してゐる。最高額を受けるのは三人以上の子供がある失業者ばかりだ。極度に窮乏し、仕事の見込みが悪い場合には、補助金は三十週間に延長され得る。

三十週間後、改めて申告すれば、緊急補助金が效力を生ずる。この緊急補助金は日常監督の下に五

十二週間まで支給されるが、しかし生命が危殆に瀕する場合、従つて失業者がもしそうしなければ餓死する場合のみである。

更に失業しつゞける場合には、申告によつて、特別の緊急補助金定額の九〇%の額で、七十八週間の期間まで支給される。

経費中、労働者と企業家とが七二%を負担し、國家と市町村とが二八%を負担する。金錢の管理は社會管理省によつて行はれる。労働者公衆は金錢使途の内情を少しも知つてゐない。管理は國家裁判所によつて行はれる。

個々の裁判所の構成は同權的である。政府の官吏が司會者を勤める。労働者代表は従つてつねに少數である。最高裁判所は社會管理省である。強制的な失業者保護は大衆の壓力によつて一九二〇年に議會によつて決定された。この時以來、この法律は二十三回變更された。すなはち、失業者にとつては二十三回改悪された。保険料は引き上げられ、補助金定額は繰り返し低下された。

春には、政府側の工業家會議の後、第二十四回の改正法が提出された。再び労働者の状態の恐い劣悪化が要求されてゐる。青年労働者と労働婦人とに對する年齢限界は十六歳から十八歳に引き上げられるといふのだ。その結果、約三萬の青年労働者が保険から排除されるのだ。更にすべての失業者に對して、職業紹介はこれまでの二十週間から二十六週間に引き上げられるといふことだ。補助金支

給期間は著しく短縮される。季節労働者は一般に除去されるといふことだ。かゝる改悪の結果、約十萬人の労働者と労働婦人とが補助金資格を失ふであらう。一九三〇年秋には第二十四回改正法が議會で討議される。ブルジョア代議士の態度と社會民主主義的代議士の態度から判断すれば、ブルジョアジーにとつて最も重要な簡條が採用されるであらう。

社會保險と社會政策とに對するブルジョアジーの攻勢

企業家は、絶えず攻勢的突撃をなすことによつて、社會立法の一般的な改悪と彼等が支拂ふ割前の荒廢とを達成しようとしてゐる。その目的は社會立法を完全に除去することであり、労働者階級を政治的經濟的に完全に抑壓することである。

失業保險の破壊は労働者階級總體における一般的な賃銀切り上げの實行を目的としてゐる。失業保險に關する第二十四回改正法は企業家のこの計畫の實現を助くべきものである。

社會民主黨と労働組合指導者との經濟平和政策は社會立法の問題においても現はれてゐる。

疾病共濟組合においては、社會民主主義的行政は、本來國家が負擔すべき益々多額の負擔を疾病共濟組合基金の勘定で引き受け、支出を保険料の引き上げによつて埋め合せてゐる。その代り、ブルジョアジーは、社會民主主義者に、疾病共濟組合を彼等の最負子供のための傭人紹介所として利用することを許してゐる。社會民主黨の主要スローガンの一つは四十年間を通じて「國營養老保險、寡婦保

「險及び孤兒保險を施行せよ」といふのであつた。さて、ブルジョアジーは養老保險の施行を斷乎として拒否した。社會民主主義的指導者はこの拒否を承認して次の如く聲明した。「労働者には充分な連帯心があるから、彼の老同僚を自力で世話することができる」と。ブルジョアジーの負擔による國營養老補助金の代りに、労働組合書記局は、あらゆる點で不十分な労働組合の養老保險を組合費の引上げによつて創設しようと欲してゐる。かやうに、改良主義的書記局は労働者階級を闘争から外らせようと欲してゐる。先頭に立つてこのプロバガンダをやつてゐるのは、オーストリア金屬労働者同盟である。この労働組合養老保險の創設に關する定款を同盟大會に提出した。

彼等が企業を管理しなければならぬところでは、社會民主主義的指導者は、資本家自身と全然同様に、労働者の社會的諸成果に對して攻撃する。その實例は社會民主主義的な自治體ウキーンの諸經營である。

社會保險と革命的労働組合反對派

革命的労働組合反對派は屢々社會立法完成のための闘争に、またブルジョアジーの突撃に對する闘争に適時且つ具體的に充分干與しなかつた。工場集會や労働組合集會における組織的なカムバーニアに際して廣汎な大衆の目標をこの問題に向けなかつた結果、吾々は、資本家共の突撃と社會ファシスト的指導者の機關に對する抵抗を組織することができなかつた。

革命的労働組合反對派は、將來は、社會保險における職務占領のための闘争と疾病共濟組合會議への代議員選舉のための闘争の問題に大きな意義を附與しなければならない。社會政策の分野における社會民主主義的指導者共の反労働者の政策は廣汎な大衆の面前で顧慮するところなく暴露されなければならない。革命的な反對派的な労働者には、オーストリアでは約百萬のプロレタリアが疾病共濟組合に保險されてゐること、またこれの疾病共濟組合がオーストリア労働者のための社會政策を共に決定してゐることが、ハッキリ知らしめられなければならない。

國營の老年者保護、寡婦保護及び孤兒保護のための闘争の分野においては、吾々は若干の成功をかち得た。労働者を闘争から外らそうとするところの社會ファシスト的労働組合書記局の意圖が吾々に明瞭になつたとき、吾々の側では直ちに、工場集會や反對派集會を通じて活潑な組織的な闘争が開始された。吾々は成功した。工場委員會や労働組合會議ではこの問題が提出された。そして遂に大部分の金屬工場の現業員集會が開催され、それは屢々嵐の如き討議の後にその態度を票決した。金屬工業の十九工場では、労働組合の三地區グループにおいて、改良主義的書記局の提案は壓倒的多數を以て葬られた。嵐の如き討論が捲き起つた。若干の集會は、票決前に、書記局によつて閉鎖された。非常に多數の現業員集會には、強力な少數派が存在してゐた。

絶えず益々増大しつゝある大失業は、失業者のその他の諸要案獲得の闘争に際して、政府の第二十

四回改正法に對する闘争のために利用されなければならない。現在の失業者委員會は擴大されなければならない。また、就業労働者が失業者の闘争戦線に引き入れられなければならない。

社會立法と社會政策とのこれら一切の諸問題において、反對派は從來よりもヨリ汚濁でなければならぬ。この問題は、正しく適用されるならば、數萬の労働者と密接に結び付き、そして彼等と共に、資本主義、ファシスト共及び社會ファシスト共に對する闘争を、從來よりもヨリ大なる成功を以て、遂行することを吾々に可能ならしめるであらう。

社會保險のための吾々の闘争 (一九三〇年九・十月)

本號において、吾々は、赤色労働組合インターナショナル第五回大會の社會保險のための闘争に關する決議を發表する。赤色労働組合諸組織はこの決議に全く特別に大きな注意を拂はなければならない。第三回大會と第四回大會の同一の問題に關する決議は赤色労働組合によつて行動に移されなかつたが、赤色労働組合諸組織はこの決議がそれらの決議と同じ宿命を辿ることを斷じて許してはならない。

社會保險のための闘争は、第五回大會の決議に依つて、賃銀引上げ、労働時間のための闘争と全く同様に、間斷なく且つ組織的に遂行されなければならない。社會保險があたかも改良主義者の問題でもあるかのやうな見解に斷乎としてトドメを刺すことが必要である。大衆を反資本戦に動員しようとする者、最も廣汎な労働者大衆を革命的同盟のために獲得しようとする者は、顧慮するところなく、斷乎として、執拗に、社會保險のために闘争しなければならない。

プロフインターン第五回大會は全く正當にも、社會保險のための闘争の分野における最重要な任務は

社會保險のための吾々の闘争

國營失業者保護のための闘争であると指摘した。

第五回大會以來、すべての國々における失業者数は著しく増加した。そしてこの一九三〇—三一年の冬には、失業は未聞の程度に達するであらう。プロフインタン社會經濟部の計算によれば、最重要諸國における失業の増加は次の數に現はれてゐる——

國 別	失 業 者 數
一九三〇年三月	一九三〇年十月初旬
ド イ ツ	四〇〇〇、〇〇〇
合 衆 國	六〇〇〇、〇〇〇
イ ギ リ ス	二〇〇〇、〇〇〇
イ タ リ ー	八〇〇、〇〇〇
チエツロスロヴァキア	三〇〇、〇〇〇
ハンガリー	三〇〇、〇〇〇
カナダ	二〇〇、〇〇〇

右に擧げた一聯の諸國、すなはち合衆國、カナダ、ハンガリーにおいては、失業者は強制失業保險に基く何らの補助金を受けてゐない。失業者がとも角も補助金を享けてゐる國々では、彼等はこの補助金を短期間だけ受けてゐるにすぎない。その期間は通常六ヶ月である。然るに、失業はそれとは比較にならぬほど長期間繼續し、失業者の形大な多數は一切の収入の見込みを奪はれてゐるのだ。

社會保險のための闘争は革命的同盟組織の注目の焦點に立たなければならぬ。プロフインタン第五回大會の決議には、これに關する一聯の具體的な指示が含まれてゐる。大衆獲得の立場からこれらの指示を無視し、社會保險のための闘争の宏遠な意義を過少評價し、大部分のプロフインタン支持者が社會保險のための闘争に對して消極的態度をつとめることは、斷々乎として阻止されなければならない。すべての國々について、赤色労働組合は社會保險のための廣汎な闘争を展開する義務がある。

この闘争が労働者を反資本戦に動員するための最良の槓杆の一つを成してゐるからである。赤色労働組合が成功裡に廣汎な労働者大衆を社會保險のための闘争に動員しうるためには、第五回大會の諸決議を労働者階級の廣汎な層に認知せしめることが、労働組合の第一の任務であり、最も重要な任務でなければならない。これは、何らの社會保險もない國々、そして労働者階級が社會保險制度をまだ知つてゐない國々において、特に重要である。これらの國々（合衆國、カナダ、ラティン・アメリカ等）においては、赤色労働組合は社會保險に對する要求を廣めることに、特に注意を拂はなければならない。

プロフインタン第五回大會の諸決議を携へて大衆の中へ。

社會保險のため闘争におけるプロフ インタン支持者の任務に關する決定

世界經濟恐慌は、プロレタリアートの生計費に對する資本の新たな激化せる攻勢の出發點となつた。ブルジョアジーは恐慌の一切の負擔を労働者階級へ轉嫁しようと欲してゐる。賃銀切下げ、増税社會保險費の節減、作業の途方もない強度化によつて、並にプロレタリアートの一切の労働状態と生活状態との劣悪化によつて、ブルジョアジーは絶えず益々蔓延しつゝある恐慌を克服しようと試みてゐる。

現在、失業はすべての國々において巨大な範圍に達してをり、資本は労働者階級の生計に激烈な攻撃を加へ、社會保險は荒廢しつゝある。この現瞬間において、プロレタリアートは、失業、疾病、勞務不能等の場合における保護が缺陷だけであることを特に強く感じてゐる。失業者の力強いデモンストレーションがすべての國々において勃發し、數十萬の労働者はストライキによつて全般的な社會保險のために闘争してゐる——これは、階級としての全プロレタリアートの利益を左右する社會保險の分野において、なほ大きな階級闘争が目前に迫つてゐることの證左である。プロフインタン支持者はこの闘争の組織者であり、指導者であることを要請されてゐる。

經濟恐慌と合理化との結果、支那及び若干の植民地を除いて、資本主義諸國には現在二千萬を越える失業者軍がある。大部分の國々(七十七ヶ國中の六十六ヶ國)においては、失業者は何らの國家的な救済乃至保護も受けてゐない。七ヶ國においてだけ、失業者保險が法律となつてゐる。北アメリカ合衆國だけで七百萬の失業者が數へられる。彼等はいかなる法律上の補助金も受けてゐないのである。ラテン・アメリカ諸國、日本、バルカン諸國等においても事態は同様である。ブルジョアジーは一切を踏して、數百萬の失業者軍に労働者間の競争を激化せしめる役割を果させようとしてゐる。彼等は失業者を賃銀切下げのための手段として、労働日を更に延長し、ストライキ破り等をさせるための手段として、濫用しようとしてゐる。従つて、失業者の闘争に最大の重心を置くことは全プロレタリアートの主要任務に屬する。國營の失業者保險と失業者補助金のための全プロレタリアートの闘争は、賃銀水準の成功的な擁護、賃銀引上げと労働日の短縮並にストライキ破り制度防止のための成功的な闘争の最重要な前提に屬する。

現在何らの強制的な社會保險も存在しない多數の國において、資本家共は、企業家負擔の社會保險を施行せよといふ革命的プロレタリアートの要求に對して苛酷な闘争を遂行してゐる。この點で、北アメリカ合衆國は首位に立つてゐる。

法律に基いて失業者保險が存在する少數の國々(ドイツ、イギリス、オーストリアその他)におい

ては、資本家共は國家機關の支援とあらゆる色彩の労働組合官僚の直接もしくは隠然の協力の下に、次の諸方策を行つてゐる、すなはち（イ）補助金の低下（ロ）補助金受領有資格者数の制限（季節労働者、婦人、青年及び家内労働者の削除）（ハ）保険負擔のプロレタリアートへの轉嫁（ニ）保険期間と待命期間の延長、補助金支給期間の短縮等。

爾餘の社會保險の分野においても事情はあまり變つてゐない（疾病保險、母性保險、養老Ⅱ及び癩疾者保險、寡婦Ⅱ及び孤兒補助金、職業病の場合における保險等々）。

ドイツでは、失業者保險の荒廢が行はれた後間もなく新法が發布された。この新法は疾病保險を甚しく改悪してゐる。イギリスでは、失業者の補助金定額に對する征伐がはじまつた。アイルランドでは新法が發布された。それに依れば、既婚婦人は向後もはや補助金を受ける資格を有しない。オーストリアでは、失業者保險のヨリ以上の改悪に關する新法律案が提出されてゐる。ユーゴスラヴィアでは企業家共によつて癩疾者保險廢止のカムバーニアが行はれてゐる、等々。

作業の強度化はすべての國々において傷害と罹病との増加を惹き起し、労働力の尙早の消耗を惹き起してゐる。労働者の労働能力の平均年齢はいたるところで益々短くなりつゝある。同時に、すべての資本主義諸國では、個々の社會保險部門が改善されるどころか、プロレタリアートが社會保險の分野において獲得した僅かな權利に對して總攻撃が開始されてゐる。

疾病保險の分野においては、この保險が存在する國々では、資本家共は同様に、一切の費用を労働者階級の肩上に轉嫁し、保險期間と特命期間とを延長し、醫療に對して一定の代償を決定し（ドイツ）、補助金定額を切下げようとする闘争を行つてゐる。妊娠せる労働婦人の状態は絶えず劣悪となりつゝある。分娩の瞬間まで、彼女等は工場内に止まらざるを得ない。といふのは、大部分の資本主義諸國には何ら強制的な母性保險が存在しないからであり、またそれが存在するところでも、補助金は労働婦人の飢餓賃銀の半額にも達しないほど少額であり、その結果、この補助金は長期には不十分であつて、重要な支出を支辨するを得ないからである。

北アメリカ合衆國、オーストラリア、アルゼンチン、ベルギー、ブラジル、オランダ、デンマーク、スペイン、フィンランド、スウェーデン等には、何らの強制的な疾病保險も母性保險も存在しない。

社會保險のすべての分野に亘つて、資本主義諸國における補助金は極めて少額であつて、被保險者とその家族とを貧困から守るには著しく不十分である。他面、そうでなくてさへ堪え難いプロレタリアートの經濟状態は、保険料が高額である結果、なほ一層劣悪にされるのだ。

ドイツでは、賃銀の八%乃至一三%が保険料として労働者から強制的に天引される。ブルヂョアジイがプロレタリアートを強制して新社會保險法を賃銀の天引きで以て支拂はせようと欲してゐる、フランスでは、プロレタリアートは防禦の陣に着いてゐる。労働者は力強い大衆闘争を遂行し、そして一

切の負擔が企業家と國家とに賦課されることを要求してゐる。

企業家、國家及び社會ファシスト的勞働組合官僚共は、いたるところで、社會保險局の司令權を占領してゐる。彼等はその權力地位を利用して、さなきだに反動的な社會保險に關する法文を保險局でなほ一層改悪し、勞働者のためになる指令の効果を弱めてゐる。

吾々の缺陷と謬誤

第五回大會は、社會保險が勞働者大衆の生活において大きな役割を演じてゐるのに、大部分の國々のプロフィンタン支持者がこれまで社會保險のための闘争を何ら重要視せず、この問題に關するプロフィンタン第三回大會及び第四回大會の決議を實行しなかつたことを斷言する。

社會保險の問題に關するこれまでのすべてのプロフィンタン大會の諸決議が實行されなかつたのはプロフィンタン支持者の間に社會保險の問題は改良主義者の問題で革命的勞働組合組織の問題ではないといふ見解が廣まつてゐた結果であつた。最近、革命的勞働組合運動が勞働者階級に對する——特に社會保險に對する資本攻勢を防禦し得る唯一の勢力であることが明白になつてはじめて、個々の國々の赤色勞働組合はヨリ以上に社會保險のための闘争に従事しはじめた。けれども最近の時期においてさへ、屢々プロフィンタン支持者が大衆を獲得し動員するための手段として社會保險のための闘争

が重要であることをまだ完全に理解してゐないことを示す諸事件が発生した。例へば、ギリシアの赤色勞働組合は社會保險の個々の部門の施行に關する政府の議案に反對する闘争に必要な注意を向けなかつた。彼等は、この議案に對立させて、プロフィンタンの社會保護の問題に關する要求綱領を提出することを忘つた。彼等はこれらの要求を獲得するための闘争に大衆を動員することを放棄した。従つて彼等はこの分野における指導的役割を社會ファシスト共に譲つた。ベルギーにおける事態も同じである。ベルギーでは、プロフィンタン支持者は強制的な疾病保險の施行に關する反動的な政府案に反對する闘争を日程に上提しなかつた。また、彼等は彼等の要求を獲得するための闘争に大衆を動員しなかつた。その他の若干の諸國においても、社會保險の問題が同様に忽せにされてゐることが認められる。

プロフィンタン支持者は社會保險の一切の問題をかやうに忽せにした。その結果、吾々の諸組織は社會保險の分野における大衆の不滿の増大と反動的立法に對して燃え立つた自然發生的ストライキとによつて不意打ちを喰はされた。ために、社會ファシスト共は闘争の力を殺ぐ可能性を持つたのであつた。

第五回大會は、プロフィンタン支持者が從來保險機關を彼等の社會ファシストに對する闘争の強化と大衆の獲得とに利用することに正しい關心を示さなかつたことを、重大な缺陷として確認する必要

があるを考へる。大部分の國々において、吾々の組織は獨立の選舉名簿を保險局に提出しなかつた。工場では、プロフィンタン第四回大會によつて採用された社會保險の分野における要求綱領のために何らのアヂテーションも行はれず、保險局における社會ファシスト共と資本家共との階級協働は大衆の眼前で充分明白に暴露されてゐない。

かゝる事態が起り得たのは、たゞ、プロフィンタン支持者が保險組織に數百萬の大衆が結成されてゐること、反動的な勞働組合官僚や保險機關の官僚共が保險局の支援の下に彼ら大衆に勢力と壓迫を加へてゐることを全然意識してゐなかつたがためである。革命的勞働組合運動の闘争と勢力増大との一要因にまで發展し得る社會保險は、従つて、殆ど餘すところなく改良主義者の影響にゆだねられた。

プロフィンタン第五回大會は、プロフィンタン支持者の大部分が社會保險のための闘争の組織化の方面で採つてゐる消極的な態度を許し難いものと斷定し、また同時に、社會保險のための闘争に進んで參加した諸支部に若干の誤謬と缺陷があつたことを確認する。

フランスの赤色勞働組合が最も廣汎なるプロレタリア層を反動的な社會保險法に反對する闘争に動員したことは明らかに功績である。赤色勞働組合はそのアヂテーションによつてストライキ運動の發展を促進し、社會ファシストのマヌーバーを暴露し、そして社會保險法に對する闘争の先頭に立つて指導した。けれどもCGTUは、客觀的情勢——社會保險法の施行によつてフランス・プロレタリア

ート全體の賃銀が同時に低下された——が極めて有利であつたのに、政治的大衆罷業を全國的の組織する可能性を逸したのであつた。

赤色勞働組合は彼等が闘争を引き受けたとき充分な準備をしてゐなかつた。彼等は闘争そのもの、只中においても何ら明確なる目標を示さなかつた。「社會保險を倒せ」、「社會保險に對して闘争せよ」といふ様な、プロフィンタンの諸原則と不器用に矛盾せるスローガンはたゞ労働者を迷はすばかりであつた。屢々社會保險法反對のアヂテーションは全く一面的であつた。それはたゞこの法律の反動的性質を示すに止まり、それに對立させて社會保險の分野における革命的勞働組合運動の包括的な要求綱領を提出しなかつた。闘争が見込みないものであるといふ序言や恐らく次の様な、すなはち「闘争が失敗するにせよ、企業家は社會保險の負擔を同様にプロレタリアートの肩上に轉嫁するであらう」といふ様な主張のある論文を、吾々の機關紙上に公表したことは全然誤謬であつた。かやうな「左翼」——日和見主義的アヂテーションがたゞ闘争を妨害するばかりで、闘争の激化に決して役立ち得ないことは言ふまでもないのだ。

これらの「左翼的な誇張」と並んで、フランスの赤色勞働組合は時々右翼的性質の誤謬をも犯した。例へば、時々、社會保險のための闘争に、上からの統一戦線がすなはち革命的階級闘争の原則の放棄の基礎の上に、改良主義的勞働組合官僚との統一戦線が形成されたのであつた。

チエツコスロヴァキアの赤色労働組合は、國營失業保險施行のための闘争を發展させる代りに、また廣汎な労働大衆を社會保險の分野におけるプロフィンタンの要求のための闘争に動員する代りに、デント・システムに對するボイコットを開始した。ボイコットの政策は赤色労働組合の陣地を弱めた。そしてその影響は直ちに組合員の減少となつて現はれた。

更に、社會保險のための闘争におけるプロフィンタン支持者の一大缺陷は彼等の防禦態度であつた。この闘争が指導されたところでは、これやあれやの反動的な政府の議案は、つねにその機會を與へはしたが、しかしそれはどこにおいても自分等の要求のための獨立的な闘争の形態においては發展しなかつた。

社會保險のための闘争は革命的な労働組合活動 において關心の中心點に立たなければならない

第五回大會はすべてのプロフィンタン支持者に、革命的な労働組合活動における社會保險のための闘争を關心の中心點に置くべき義務を課する。本大會は、この闘争を、賃銀闘争と同時に、労働時間短縮のための闘争等と同時に、間斷なく且つ組織的に遂行する義務を課する。

プロフィンタン支持者は、社會保險のための闘争が大衆の動員と獲得との最重要な手段の一つであること、この闘争がアムステルダム派労働組合官僚の社會ファシスト的性質を暴露すべき無数の可能性を與へることをハツキリと知らなければならない。

プロフィンタン支持者は社會保險のための闘争を充分に發展させることによつて、最も廣汎な労働者大衆を、すなはち組織されたものも未組織のものをも、男も女をも、熟練労働者も不熟練労働者をも、失業者も就業労働者をも教育することができるし、また教育しなければならない。なぜかといふに、社會保險は階級としてのプロレタリアート總體の利益に關係するものであるからだ。社會保險のための闘争によつて、プロフィンタン支持者は、同時に國民經濟の全部門における極めて様々な労働者層を動員して、極めて廣汎な基礎の上に立つてブルジョアジーの攻勢を撃退し、労働者大衆を逆襲へと導くことができるのだ。

第五回大會はすべてのプロフィンタン支持者に課するに、社會保險のための闘争において主動權を掌握し、労働者大衆の闘争を社會保險の分野におけるプロフィンタンの要求のために獨立的に指導し且つ精力的に發展させる義務を以てする。

更に、第五回大會は、何らの社會保險も存在しない國々並に社會保險の個々の部門しか施行されてゐない國々のすべてのプロフィンタン支持者に、社會保險施行のための闘争を赤色労働組合インターナショナルの決議の意味において遂行する義務を課する。

資本家共が社會保險に對して征伐を行つてゐる國々においては、プロフインタン支持者の義務は大衆の決定的な反抗と彼等の逆襲とを組織することである。

プロフインタン支持者がすべての國々において闘争しなければならない社會保險の原則は次の如くである――

一、統一的社會保險。農村労働者、更に使用人及び小營業者をも含めてのすべての労働者は、彼等の家族と共に、あらゆる種類の社會的損害に對して保險されてゐなければならない（失業、罹病、職業罹病、勞務不能、傷害、母性、寡婦Ⅱ及び孤兒の身分、老齡）。

二、専ら被保險者自身の手による社會保險局の統一的な管理。被保險者は社會保險の指導機關を自ら選舉すべきである。國家と雇主とに對しては、社會保險機關の行政事項に關する干渉權は一切剝奪されるべきである。

三、社會保險は勞務不能の一切の場合において労働者に賠償すべきである。すなはち完全なる賃銀額で、勞務不能の全期間に亘つて、何らの待命期間もなしに賠償すべきである。社會保險費は企業家と國家との全額負擔でなければならぬ。いかなる形式でしろ、これらの費用をプロレタリアートへ轉嫁することは許されない（賃銀低下、労働日の延長等々）。

四、個々の國々にある社會保險は、當該國で就業せる外國の労働者に對しても、將又この國の植民地に對しても適用されるべきである。

國營失業保險のための闘争――中心的任務

國營失業保險のための決定的な闘争はプロフインタン支持者の最重要な任務に屬する。

失業者の利益のための假借なき斷乎たる執拗な闘争が極めて重要なのは、たゞにプロフインタン支持者が失業者の利益を代表することによつて労働者の競争闘争を緩和し得るためばかりではなく、彼等がこの分野における執拗な組織的な闘争の経過の中に數百萬の失業大衆を革命的労働組合組織のために獲得しうるからであり、また獲得すべきであるからなのだ。

プロフインタン第五回大會はそのすべての支持者に、國營失業保險のための廣汎な大衆闘争をすべての國々において獨立的に且つ遲滞なく發展させる義務を課する。

一般に何らの國營失業保險も存在しないところ（アメリカ合衆國、カナダ、ラテン・アメリカ、日本、ルーマニア、ハンガリー、ユーゴスラヴィア、ギリシア、ポルトガル等々）、被保險者の費用による自發的な保險だけが存在するところ（オランダ、デンマーク、スペイン、フィンランド、ノールウェー、フランス、スイス、スウェーデン等々）及びセント・システムが行はれてゐる國々（ベルギー、チエッコスロヴァキア）におけるプロフインタン支持者の任務は、猶豫なく且つ極めて廣汎に

國營失業保險のための闘争をプロフィンタンの要求の意味において開始することである。

強制的な失業保險が存在する國々（イギリス、ドイツ、オーストリア、ポーランド等々）、しかも資本家共がそれを改悪するために社會保險に對して攻撃を加へてゐる國々においては、プロフィンタン支持者はプロレタリアートの既得權利を擁護すべきである。またそれ以上に、彼等は、補助金定額の引上げ、保險料の資本金と國家への轉嫁、強制保險のすべての労働者（青年労働者、婦人、季節労働者、農村労働者、外國労働者）への擴張、一定の保險期間と待命期間とを伴はない失業者補助金、資本金と國家豫算との費用による保險金庫不足額の即時補償を要求し、そして最も廣汎な大衆のこれらの要求のための闘争を組織しなければならない。

プロフィンタン支持者は、失業者に對する免税、借金猶豫及び家賃免除のために、また失業者の住宅の無料照明と無料暖房等のために闘争しなければならない。

更にプロフィンタン支持者は失業者のための食堂及び溫暖室設立のために、失業者に對する無代醫療等のために闘争を遂行すべきである。プロフィンタン支持者は七時間労働日のための闘争を特に重視しなければならない。なぜなら、七時間労働日の實施によつて失業者數が著しく減少され得るからである。

失業者の闘争の組織化における革命的労働組合の最重要な任務の一つは、就業労働者と失業者との

統一戦線を形成することである。すべての工場において、失業者の要求のための、また失業保險の分野におけるプロフィンタンの要求を流布するための大規模なデモンストレーションが開始されなければならない。工場内の労働者は大衆的集會を開いてこれらの要求に對する態度を決定し、その具體的な闘争議案を作成しなければならない。

國營失業保險のための闘争においては、特に、失業者の示威を一般的な労働者デモンストレーションとなし、連帯ストライキを就業労働者の極めて廣汎な参加の下に組織することに思ひをいたさなければならない。

闘争を展開するに當つては、失業者と就業労働者から成る闘争指導部が設置されるべきである。

社會保險のその他の分野に於ける任務

疾病保險と母性保險との分野においては、プロフィンタン支持者は次の諸要求のために闘争しなければならない、すなはち（イ）罹病の第一日から完全なる賃銀額で、全快まで乃至被保險者が傷害補助金もしくは廢疾者補助金を受ける瞬間まで補助金を支給すること（ロ）疾病共濟組合の費用で、たゞに被保險者に對してのみならず、その家族等に對しても入院看護をも含めた醫療を支給すること。無料藥劑、プロテーゼン及びあらゆる種類の藥品、完全なる賃銀で分娩前後夫々八週間の妊娠休

暇、妊娠せる労働婦人及び被保険者の妻に正規の補助金以外に一回の補助金を與へること。九ヶ月間の静養手当。

九六

傷害保険の分野においては、プロフィンタン支持者は次の主要要求のために闘争しなければならぬ。すなはち、傷害の結果一時的に勞務不能となる場合には、第一日目から完全なる賃銀額で補助金が支拂はれねばならない。傷害による勞務不能の場合には、勞務不能が五〇%以上に達するときは、補助金額は實際の賃銀の一〇〇%に達しなければならない。

職業病は傷害を蒙つたものと同列に置かれなければならぬ。労働の結果として起る病氣はすべて職業病と見做さるべきである。

養老年金は男子にも女子にも五十歳になると共に支拂はるべきである。養老年金は同様に實際の賃銀の一〇〇%に達すべきである。

廢疾者年金の受領者、養老年金の受領者が死亡した場合には、補助金受領資格を有する彼等の家族が以前の額の年金を受取る。

個々の國々の革命的労働組合の社會保険のための闘争における特殊的任務については、本大會は次の諸任務を決定する——

ギリシア、ベルギー及び個々の社會保険部門の施行を準備せるブルジョア的法律案がすでに存在せ

る國々では、プロフィンタン支持者の義務はこれらの議案に對立させてプロフィンタンのそれに應答せる諸要求を掲げ、最も廣汎なる労働者大衆をこれらの要求のための闘争に動員することである。その際、ブルジョア的法律案の反動的な本質とその政治的目的——プロレタリアートの隸屬の強化——とを餘すところなく暴露しなければならない。工場と失業者集會において、プロフィンタン支持者はアムステルダム派官僚のブルジョア的——改良主義的提案に對する對立物としての、社會保険の分野におけるプロフィンタンの要求を掲げ、労働者の態度決定を誘致しなければならない。プロフィンタン支持者はブルジョア的法律案に對する示威とプロフィンタンの原則通りの社會保険の施行のための示威を組織しなければならない。

これらの諸國においても、將又爾餘の諸國においても、社會保険の分野におけるプロフィンタンの要求のための大衆闘争を發展せしむべき全カムバーニアは、ブルジョアジーに對する、社會ファシストとファシストとに對する攻撃カムバーニアとして遂行されねばならぬ。全體としての労働者大衆が關心を有する社會保険の問題は、極めて大規模に、プロレタリアートの新しい廣大な層へ吾々の勢力を擴大するための機縁とされなければならない——この點に、革命的労働組合運動の最重要な任務の一つがあるのだ。

プロフィンタン支持者は全く特別に、社會保険のための闘争が政治的大衆罷業を組織化するための

社會保険のための吾々の闘争

九七

無数の可能性を提供すること、特にプロレタリアートの生活水準を低下せしめる新しい反動的な法律が施行される場合にそうであることを観なければならぬ。政治的大衆罷業の組織化とその指導とはともにプロフィンタン支持者の最重要な任務に属する。フランスにおいては、社会保険に關聯せる従来のカムバーニアにおいて犯された誤謬を確認しそれを訂正することが、CGTUの緊急當面の任務である。CGTUの指導部は、社会保険のための闘争は新法の施行後及びよし一時的であるにせよ、それに續くストライキ運動の後に終結したといふ立場を斷々乎として克服しなければならぬ。反對に、プロレタリアートの利益に實際に一致せる社会保険のための闘争が今正にはじまることを廣汎なプロレタリア大衆にハツキリと知らさなければならぬ。闘争は次の主要々求のために遂行さるべきである。すなはち一、賃銀引上げ、資本主義國家が保険費用を負擔すること、二、社会保険の分野における外國労働者と植民地労働者との同權、三、國營失業者保険の實施、四、待命期間の廢止、五、名簿と住宅監査との撤廢、六、社会保険を農村労働者、季節労働者及び植民地労働者を含むすべての労働者へ擴大すること、七、補助金はすべての場合において賃銀額に一致しなければならぬ、八、保険機關の指導部は専ら労働者の掌中にあらねばならぬ。

右の諸要求のための闘争において、CGTUはつねに、現在の保険機關を階級闘争を激化させるために利用することに考へ及ばなければならぬ。

ドイツでは、プロフィンタン支持者は疑ひもなく社会保険のための闘争において偉業をなしたが、最近ファシスト・ウイツセルの指導下に組織的に社会保険の改悪が行はれ、ブルデオアジは社会ファシスト共の支援の下に失業保険に對して新たな攻撃を加へてゐる。従つて、社会保険の分野においても大衆を逆襲へと動員することは、ドイツの革命的労働組合反對派の現隣間における任務に屬する。革命的労働組合反對派は、彼等がプロレタリアートの既得の權利を確保し社会保険を改善するためのストライキ闘争を指導する唯一の勢力であることを、また各工場内に革命的労働組合反對派のグループを組織上鞏固に建設することがこの闘争を成功させるための前提であることを、最も廣汎な労働者層にハツキリと知らしむべきである。社会保険の改悪に反對しその改善のために闘争する意志を有する總ての労働者と、すべての失業者とは、何よりもまづ革命的労働組合反對派の陣列に加はるることによつて、革命的労働組合反對派を支援する義務のあることを大衆にハツキリと知らしめなければならぬ。

ドイツにおける革命的労働組合反對派の支持者は保険機關の選舉を特に重要視しなければならぬ。保険機關は大部分社会ファシスト共によつて指導されてゐる。彼等は保険機關を階級協働の培養所にしてしまつたのだ。革命的労働組合反對派の支持者は、保険機關における自治を更に縮小しようとする計畫に對して全精力を擧げて闘争すべきである。資本家の代表を、廢疾者保護及び老年者保

護、寡婦補助及び孤兒補助の義務ある保險機關から残らず放逐するために特に精力的に闘争しなければならぬ。これらの機關では労働者は現在少数である。プロフィンタン支持者は今やすでに、必要な準備をととのへて來年に迫つてゐる新選挙に臨まなければならない。

革命的労働組合反対派は失業者に對して新しい攻撃が加へられる毎に、最も精力的な闘争を組織化することによつて、これに答へなければならない。革命的労働組合反対派は、現在失業保險局の金庫に存在してゐる不足が企業家と國家の費用で償はれ、労働者が完全に保險料納入義務から免除されることを要求しなければならない。

疾病保險の分野においては、本年施行された改惡の即時廢止並に治療費の増額、その満了後補助金受領資格がはじめて開始される期間確定の廢止及びすべての労働者に對する保險の施行が主張されるべきである。

母性保護のための闘争には特に重きを置かねばならぬ。この分野で最も重要な要求は次の如くである、すなはち分娩前後夫々八週間の休暇を完全なる賃銀を支給して與へること。

イギリスでは、少数派運動は、特に精力を注いで、プロフィンタンの保險綱領のために闘争し、そして『労働黨』—政府の社會ファシスト的特質をプロレタリアートの最も廣汎なる層の眼前で暴露しなければならない。社會保險の分野におけるプロフィンタンの要求は労働者憲章の中に折込まれなければならぬ。

ればならない。そして少数派運動は、失業者状態の悪化を指摘し、數十萬の失業者が一切の補助から除外され、内閣が失業者保護に對して全く無爲無策であること等の事實を指摘して、『労働黨』の選挙約束の虚妄を斷々乎として暴露しなければならない。少数派運動は社會保險の植民地労働者への擴張のための闘争を全く特別に激化しなければならない。

チェッコスロヴァキアでは、主要任務は、國營失業保險施行のための闘争を遂行することにある。赤色労働組合の義務は社會ファシスト共を社會保險機關から驅逐するために精力的な闘争を遂行することである。

北アメリカ合衆國では、プロフィンタン支持者の主要任務は七百萬の失業者が補助金を受けるために斷々乎として闘争することである。プロフィンタン支持者は國營失業保險の即時施行のための闘争にその全力を献けなければならない。國營失業保險のための闘争と同時に、プロフィンタン支持者は斷々乎として、失業者の彼等の住宅からの大衆的—放逐に對して闘争し、また自治體の費用による失業者の無料給養、失業者のための無料食堂の設立、免税及び家賃免除、失業者の無料照明と無料暖房等々を主張する義務を有する。

アメリカ合衆國においても將又カナダやラテン・アメリカにおいても、これまで何らの強制的な社會保險も存在せず、ブルジョア的—社會的改良には何らの傳統もない。これらの國々においては、

プロフインタンの支持者は全般的な社會保險施行のための闘争において、その主動者とならねばならぬ。彼等はプロフインタンによつて掲げられた社會保險の諸原則を大衆に通曉せしめねばならぬ。これらの國々では、プロフインタンの支持者は、爾餘の諸國やサヴェート聯邦における社會保險の状態について廣汎な大衆を教育するために、大掛りな啓蒙運動を興すべきである。その外彼等は社會保險に關する通俗的な小冊子を發行し、機關紙にはつねに社會保險問題欄を設けねばならぬ。またあらゆる集會や演説を利用して、社會保險のためにアデーションしなければならぬ。

なほその上に、これらの國々のプロフインタンの支持者は、組織的に社會保險施行のために、獨立の示威運動や政治的な大衆ストライキを組織しなければならぬ。

以上の諸方策は決して社會保險の分野におけるプロフインタンの支持者のすべての任務を盡したものである。一般的な特徴だけを描寫したに過ぎないものだ。たつた今述べた國々やその他すべての國々において、革命的労働組合運動の指導機關は、第五回大會のこの決議を基礎にして、社會保險のための闘争の詳細な行動綱領を作成しなければならぬ。この行動綱領の作成に當つては、當該諸國における社會保險のすべての具體的な諸問題に注意が拂はねばならない。この行動綱領においては、戰術的方針が社會保險のための闘争の組織的形態と結び付けて表現されなければならない。

植民地における社會保險のための闘争

プロフインタンの支持者は、植民地においても將又内地においても、社會保險を植民地に施行するために全精力を傾けて闘争しなければならない。

プロフインタンの支持者は「文明」諸國の労働者だけが社會保險に對する要求を持つてゐるに反し、植民地における權利剝奪と未聞の搾取とは「正常状態」であるといふ反革命的な見解を斷々乎として排撃しなければならない。

プロフインタンの支持者は、植民地におけるアムステルダム派の社會政策を暴露し、また社會ファシスト共が植民地のために社會保險を要求するどころか、反對に植民地に社會保險を施行することに反對の態度を採つてゐる事實を暴露しなければならぬ。

植民地を所有せるすべての帝國主義諸國において、そして特にイギリス、フランス、及び北アメリカ合衆國において、プロフインタンの支持者に課せられる義務は、現行社會保險法が植民地へも擴張されるために闘争し、乃至は主人國においても植民地においても同時に全般的な社會保險が施行されるために闘争することである。

プロフインタンの支持者は植民地において、労働者階級のあいだに大規模な啓蒙運動を遂行し社會保

險施行のために労働者の大衆闘争を組織しなければならない。

プロフインタン支持者は植民地で行はれてゐる制度に對して闘争しなければならない。この制度によつて、企業家は賃銀の天引きをなし、そして労働者がそれから疾病補助金を受ける基金を名義上据え置くのである。プロフインタン支持者はこの基金の即時返済を要求しなければならない。社會保險が施行されるにいたるまで、この基金から、暫定的に補助金庫が設置されるべきである。この金庫の監視は専ら選舉される労働者機關の掌中に在るべきだ。けれどもこの資金のための闘争は、いかなる場合にも、社會保險の施行のための闘争に代つてはならない。なほそれはこの闘争を、いづれにせよ、妨害してはならない。全般的な強制的な社會保險が施行されるにいたるまで、植民地のプロフインタン支持者は、社會的傷害を受ける場合における労働者保護の過渡的要求を作成する義務がある、すなはち企業家の費用で労働者に醫療を與へること、病氣にかゝつてゐる労働者とその家族に對して藥劑その他を無料で支給すること。

植民地におけるプロフインタン支持者は、すべてのストライキや労働者階級のその他の闘争において、社會保險の施行を要求する義務を有する。

保險機關の利用と保險カムバーニア

第五回大會は保險機關の選舉に最大の重心を置く義務をその支持者に課する。プロフインタン支持者に課せられる義務は、獨立の選舉名簿を提出して、この名簿のためにこの上ない精力的なアヂテーションを行ふことである。

プロフインタン支持者は、階級闘争を強化するために、プロレタリアートの革命的任務を宣傳するために、社會ファシストの面皮を剥ぐために、現存の社會保險機關を徹底的に要求しなければならない。プロフインタン支持者は、ブルジョアジーがその力を藉りてプロレタリアートの隷屬をなほ一層強化しようと努めてゐる現行社會保險法を、プロレタリアートの階級意識を發展させるための闘争における武器として、またプロレタリアートの組織と階級闘争を強化するための手段として利用しなければならない。

プロフインタン支持者が選出されてゐる保險機關においては、彼等は、社會保險の分野におけるプロフインタンの要求を組織的にアヂテーションしプロバガンダするために、特殊な一グループを組織すべきである。これらのグループは、工場で、失業者集會で、また職業紹介所で、社會保險の管理と社會ファシスト共の反労働者的な態度とについて報告すべきである。彼等はプロフインタン支持者の保險要求のためにアヂテーションすべきである。更に、保險機關の會議には就業労働者も失業者も共に参加させて、これらの諸機關における社會ファシスト共の反プロレタリア的な態度をハツキリと彼

等に確信させ得るために闘争すべきである。

プロフィンタン支持者が保険機關に一般に選出されてゐないか乃至は充分に選出されてゐない場合には、絶えずプロフィンタンの保険綱領のためにアヂテーションし、社會保險の分野における維持し得べからざる諸事情について廣く啓蒙するために、工場に、職業紹介所に、また失業者委員會に特殊なアヂテーション・グループがつくらるべきである。

社會保險の分野におけるプロフィンタン支持者のアヂテーションは、具體的に行はるべきであり、また具體的事實に立脚すべきである。社會ファシスト的政策の暴露を除いては、このアヂテーションはなほまた資本主義的社會秩序におけるプロレタリアートの一般的諸事情と、所與の政治的情勢及びプロレタリアートの革命的任務と結び付けられてゐるべきである。

労働者と企業家との「同額」の保険料を主張し、保険機關の平等の管理等を主張するアムステルダム派のブルジョア的改良主義的綱領に對しては、アヂテーションに際して、社會保險の問題に關するプロフィンタン諸大會の諸決議と關聯させて、サヴェート聯邦の社會保險が對比さるべきである。

プロフィンタン支持者は、社會保險機關によつて据え置かれた積立金に全く特別に注意を拂はなければならぬ。この積立金の中から、資本主義的企業に補助金が與へられ、またそれは新しい帝國主

義戦争の準備のためにも使用されてゐるのだ。プロフィンタン支持者はかやうな積立金の使用に對して斷々乎として闘争しなければならぬ。彼等は保險金が残らず被保險者の状態を改善するために使用されることを要求しなければならない。

結 論

社會保險のための労働者の闘争はプロレタリアートの革命的闘争の一構成成分である。資本主義諸國の社會政策は資本主義的階級支配を維持するための手段に外ならない。社會保險の分野においてブルジョアジーが何らかの讓歩を餘儀なくされ得るのは、たゞ執拗なプロレタリア的闘争によつてのみである。

けれども、プロレタリアートの要求に合致せる社會保險の如きは、ブルジョア的階級國家の範圍内では考へ得られないことだ。かゝる制度はたゞブルジョア的階級支配の除去の後、すなはちプロレタリアートの勝利の後においてのみ施行され得るところだ。サヴェート聯邦の社會保險がその證據だ。サヴェート聯邦では、資本主義諸國とは反對に、賃銀は引き上げられ、労働日は短縮され、失業はこの世から姿を消し、そして社會保險の分野においては決定的な進歩が確認される。それ故、「效果のある労働者改良を欲するものは、誰でも、何よりも先づ、勝利に輝ける××××××××××闘争」しなければ

らない(レーニン)。

世界經濟恐慌と『國際粗鋼聯合』(一九三〇年九月・十月)

一 『組織化された資本主義』

國際粗鋼聯合 Internationale Rohstahlgemeinschaft (イー・エル・ゲー IRG) の創立後間もなく、本誌(一九二六年十一月、第一年第四號)は、ヨーロッパのこの最も強大な國際的なカルテル形成の價格釣上作用と生産絞殺作用とを指摘したのであつた。

同時に、イー・エル・ゲー、すなはち當時三千二百萬噸の生産力を有し、フランス、ベルギー、ドイツ、ルクセンブルグ及びザール地方の決定的な粗鋼生産者を残らず結合し、またオーストリア、ハンガリー及びユーゴスラヴィアの生産をも統制してゐるこのマンモス組織は、社會ファシスト共によつて、經濟上の平和工場すなはち『工業のロカルノ』の如きものとして賞讃された。彼等はこのカルテルの中に、競争、恐慌及び軋轢を除去する組織を認めた。一言でいへば、『超帝國主義』の組織を認めたのであつた。

ヒルファディング氏はそれをかやうに考へ、そして第二インターナショナルのブラッセル會議の決

議は、カルテル及びトラストが形成された結果無政府的生産を克服するための前提條件が形成され、そして世界經濟の計畫的規律への移行行きがはじまつたと述べてゐる。

世界經濟恐慌はイー・エル・ゲーの活動の第一期にその結末を準備した。そして『計畫經濟』がいかなる状態にあるか、それが競争の回避にいかん役立つか乃至は恐慌が全組織の機動能力にいかん影響を及ぼしたかを、事實に基いて検討することが適當である。

以下において描寫されるイー・エル・ゲーの構成とその最近の發展とは、ヨーロッパ大陸の各個々の國々に對する生産の割當並にその價格をも幾年間か決定し、しかも現在恐慌の結果動搖に陥つてゐる一資本家組織の實例として興味があるばかりではない。それに劣らず、興味があるのは、イー・エル・ゲーによつて設けられた『清算金庫』の活動乃至は失策を追究することである。この清算金庫においては一生産噸に就き一弗を乃至は決定された割當の超過に對しては五弗を支拂ひ、また割當を利用し盡さないとき——不景氣のためもしくは恐らくストライキの結果として——にはこのカルテルの過小生産的加入者は割當に相當する補償を金庫から受くべき規定であつた。

イー・エル・ゲーの協定は一九三一年四月一日まで、従つて四ヶ年半の期間有效であつた。これは實際には、この工業の一切の問題を個々の點にいたるまで統一しようとする協定である。

第一條(1)は次の如くはじまつてゐる、『各國は毎月その實際に生産した粗鋼一噸につき一弗を共

同金庫に納入するものとす』と。

(1) バウル・ウーファマン Paul Ufermann, 『ドイツ鋼鐵トラスト』 Der Deutsche Stahltrust (一九

二七年、頁一一六—一一九) 所載、原文通り。

第六條には次の如くある、『或る國の四半季の生産がその國に屬する割當を超過する場合には、當該國は、第一條による納入に拘はりなく超過噸當り四弗の賦課金を支拂ひ、この賦課金は共同金庫に流入するものとす』と。第七條には次の如く述べてある、『或る國の生産がその國に屬する割當よりも少額に止まる場合には、この國は不足高に對して、殘留一噸につき二弗の補償を一般組合から受取るものとす。けれどもこの場合、補償は最高、當該四半期に對して有效な割當の一〇%で與へられることを要するといふ制限が適用されるものとす。……勢力がより高度な場合には、様々な集團の總會が補償額に決定を與ふべきものとす』と。第八條は、組合が三ヶ月毎に計算すべきことを述べ、そして拂込總額が加入者に拂戻される方法を規定してゐる。

二 割當鬭争——競争鬭争の新形態

さて、このまことに廣汎な協定によつて、競争が除去され、組織化された生産がつくられたか？

仲々どうして。世界市場のための闘争は割當の分配に向つて相變らず猛烈に繼續された。闘争が前には市場のための競争闘争として行はれたとすれば、それは今や割當のための闘争の形態を採つた。その結果、適時相手方の背後を襲撃し得るために、合理化において、また生産性の増大において狂暴な競走が行はれた。

割當總噸數二千五百二十八萬七千噸と決定された一九二六年第一四半期は、割當決定の基礎として役立つた。この割當は直ちに二千九百二十八萬八千噸に増大された。しかし、その際、引き下げの場合に對しては元の割當規定が再び效力を生ずることになつてゐた。

諸國の割當は次の通りであつた(2)――

國名	最初の割當決定による		第二の割當決定による	
	年當り (單位千噸)	四半期當り (單位千噸)	年當り (單位千噸)	四半期當り (單位千噸)
ドイツ	一〇二二七	二五五七	四〇四五〇	一一六四五
フランス	八〇六六	二〇一七	三一・八九〇	九一三二
ベルギー	三一八〇	七九五	一一・五七〇	三三八六
ルクセンブルグ	二一六〇	五四〇	八・五五〇	二四三二
ザール地方	一六五四	四一四	六・五四〇	一六九三
	二五二八七	六三三三	一〇〇――	二九二八八
				七三三三
				一〇〇――

(2) バウル・ウーファマン『ドイツ鋼鐵トラスト』(一九二七年)頁一二四。

ドイツは不利な條件で協定を結ばざるを得なかつた。フランスとベルギーとは當時インフレーションの徴候の中に立つてゐた。彼等の競争がドイツの輸出を脅かした。

しかし、ドイツの協定加入者の勢力が強くなるに連れて、彼は生産割當乃至は罰金について新しい條件をも獲得した。ドイツの生産は、労働者の負擔で、合理化の結果低廉となつた。それは今や競争に成長してゐた。今日にいたるまで割當の變更が絶えず繼續されてゐるが、このことは勢力の發展が不均衡であることを、「勢力の自由な角逐」を、換言すればカルテルの内部においても普通の資本主義的な無秩序があることを暗示するものである。

罰金もまた絶えず變更を蒙つた。ドイツはイー・エル・デーの成立以來三千六百萬乃至三千八百萬ライヒスマルクの罰金を支拂はなければならなかつた。その中、千八百五十萬ライヒスマルクだけはイー・エル・デー成立直後の三四半期における罰金であつた(3)。

(3) 『ウイルトンシャフツディンスト』Wirtschaftsdiens 一九三〇年九月五日の第三十六號。

以上の如く、組織化された資本主義の理論家達の期待に反して、協定加入者間の軋轢が除去されるどころか、割當を争ふ闘争が絶え間なく行はれてをり、同時にこのカルテルの局外者たる北アメリカ合衆國、イギリス及びイタリアとの闘争が高まつてをり、従つて戦争の危機が激化されてゐるのを見

るのだ。

労働者階級がこの組織から受取つたものは不利益ばかりだ。一つは搾取と合理化との増大であつた。これは割當の内部で利潤率を高めるために行はれるのだ。他は、ダムピングであり、高い国内価格の高維持であり、輸出の金融化であつた。その結果生計費が増騰した。

ドイツの生産に取つての国内価格と輸出価格との間の開きは、一九三〇年十月のはじめには次の如くであつた――

世界市場において (アントワープ船渡し)		国内において (工場渡し)	
	マルク		マルク
棒 鐵	八一		一三七
帶 鐵	九〇		一五九
壓 延 針 金	一二〇		一四二
一 般 鐵	九八		一四二
厚 鐵	一九〇		一五三
中 鐵	一〇二		一六〇
薄 鐵	一〇五―一五五		一七八―二五五

国内市場における重工業のこの獨占利得は、經濟の全部門へ價格鈞上作用を及ぼした。究極するところ、労働者階級が、賃銀の購買力の減退によつて並にまた失業の形態で、この差額を支拂つたのであつた。

三 恐 慌

恐慌において調節作用はいかなる状態にあつたか？ カルテルが、不均衡な發展の法則に對應して、いかにその全存續期間中絶えず動搖に曝らされてゐたかはすでに見たところだ。けれども恐慌においてはじめて、それが爾餘の「組織化されない」全資本主義的生產方法の無政府的な特質と本質上異なることが完全に暴露された。調節作用どころか、カルテルそのものが最も廣大な恐慌現象を示してゐる。

(イ) 生産の減退

恐慌の結果、一般的な生産減退が起つた。けれどもそれはまた「計畫的に」振り當てられたのではなくて、個々の國々ですでに達せられた恐慌の深度に従つて形成されたのであつた。

イ・エル・ゲーの四半期生産高(單位一千噸)(4)

年 度	第一四半期	第二四半期	一九二九年の最後の四半期に比較して見たる一九三〇年第二四半期における生産低下(%)
一九二九年	一九三〇年	一九三〇年	
第四四半期	第一四半期	第二四半期	
三八一九・〇	三六五二・〇	二九二六・〇	一一三・四
ド イ ツ			一一五

世界經濟恐慌と「國際粗鋼聯合」

フランス	二四五〇、〇	二四二六、〇	二四二二、〇	一、三
ザール地方	五四六、〇	五四三、八	四九四、四	一〇、六
ベルギー	九九三、四	九八九、七	八三三、二	一六、二
ルクセンブルグ	六八九、〇	六五六、三	五三七、四	一一二、〇

(4) 『金屬市場』 Der Metallmarkt 一九三〇年八月二十一日、第百五十九册。

その際、イー・エル・ゲーに加入せる諸國は爾餘の諸國ほど甚しく恐慌によつてなやまされなかつたのである。

一九三〇年十月二十日の『エコノミスト』Economist(5)は、北アメリカ合衆國における鋼鐵の二一%、鐵の一八%の生産制限が、鋼鐵の平均制限一八%乃至は鐵の平均制限一三%を超過してゐることを擧示してゐる。

(5) 『エコノミスト』一九三〇年九月二十日。

一九二九年十一月には、イー・エル・ゲーにおいて公然たる方策が行はれた。すなはち生産の制限がそれだ。前月の生産量の一〇%減少がその基礎として採用された。上掲表からハッキリ分るやうに、生産はなほ一層甚しく收縮した。

(口) 公然たる競争の激化

イー・エル・ゲーの價格形成は以前にも競争から決して免れてはゐなかつたが、恐慌が更に進んだとき、それは危殆に瀕せしめられた。一九三〇年二月初旬、粗鋼カルテルの指導部が價格を一般的に引き上げた時、輸出を唯一の頼りにしてゐたベルギーのグループが主として、協定價格を秘密裡に低下することに移つた。

その結果、イー・エル・ゲーも實際上的諸事情を斟酌して、輸出價格を同様に低下するの止むなきにいたつた。

例へば、棒鐵にあつては、イー・エル・ゲーの輸出價格は、一九二九年六月から一九三〇年七月までに約二〇%低下した。

輸出のために高く維持された國內價格も同様に脅威をうけた。……これらの外國への販賣價格の低下は様々な理由に基いてゐる。なぜかといふに、ドイツの鐵價格はヨーロッパのすべての同種の相場をはるかに凌駕してゐるから。さながらすべての國民の鐵工業がドイツへの鐵輸出の始ど危険のない機會を利用し盡さうと試みてゐるかのやうに見える。ドイツ共和國の様々な地方には、フランスやベルギーから注文がある。これらの注文は、關稅と運賃とを含めて、百五乃至百十五ライヒスマルクの倉庫渡し價格に相當してゐる。しかるに、ドイツのシンヂケート價格は百四十三ライヒスマルクである(6)。

(6) 一九三〇年九月五日の『マガジン・デル・ウルトシヤフト』Magazin der Wirtschaft 第三十六號所載の論文『ドイツの鐵獨占の破壊』。また、國內價格と國外價格との差違に關する註を見よ。

一九二九年の下半期になつて漸く、従つて恐慌の只中になつて漸く、ドイツの粗鋼生産ははじめてその最後に決定された國別割當三百十六萬噸の中二百九十三萬噸を生産したに止まつた。けれども清算金庫がドイツの加入者に役立つべき現在では、全般的な恐慌の結果金庫は空つぽである。

補償規定は廢止せざるを得なかつた。一九二八年ドイツの鐵道王達がルールの労働者に閉出しを食はしたとき、清算金庫はその第七條に規定された企業家のストライキ支援金庫としての機能を發揮しなかつた。なぜならば、ドイツは一九二八年にも割當を超過したから。組合から補償を受けることよりも、景氣を利用し割當を超過することの方が全く一層よい儲けであつたのだ。そして恐慌時には金庫は全然役に立たなかつた。

割當決定、清算金庫、價格決定——その何れも恐慌の前には一溜りもなかつた。事實は「超帝國主義」「組織化された資本主義」等々の一切の豫言に反して、恐慌回避作用の如きはかやうな大國際カルテルにおいても問題になり得ないことを立證してゐる。

四 再建の試み

恐慌が「組織化された資本主義」をその最も強大な一代表者において（ドイツ鋼鐵聯合 *Der Deutsche Stahlverein* だけでも、ウーファマンによれば、一九二七年に四十五億五千五百萬ライヒスマルクの自己資本を自由にしてゐた。そしてこの鋼鐵聯合の自由になる銀行は二十億八千萬ライヒスマルクの資本を處理してゐた）無慈悲に粉碎したことは、吾々の見る通りである、けれどもこの粉碎がすべてのカルテルにおいて既に一樣に擴がつてゐると考へることは誤りであらう。かくて例へば、すでに一九〇七年以來存續せるルール・カルテル（國際ルール製造業者聯合 *International Railway Manufacturers* すなはち「イルマ」*Irma* の名で有名である）——これは目下恐慌の影響をあまり受けてゐない國家への調達をなさねばならない——や導管カルテルは鞏固にさへなつてゐる。イー・エル・ゲーも、一時資本主義新聞において噂されたやうに完全に崩壊しはしなかつた。

九月中旬、ルユッチヒ *Lutch* で開催されたイー・エル・ゲーの總會では（7）たしかに價格決定（殊に半成品と梁とに對する）は放棄されるには放棄されたが、しかし、生産割當は再び決定されそして罰金納附所に關する廢止された決定は、より効果の著しい形式においてさへ更新された。總割當は一五%の再制限に従はさせられた。その結果、總輕減は一九二九年十月に比べて二五%に達する。

生産高は本年度に對しては二千七百十九萬噸に、すなはち第二四半期における七百二十萬二千噸に對して、この四半期は六百七十九萬七千五百噸に輕減された。

(7) 九月十七日と十八日の『フランクフルト新聞』、一九三〇年九月二十六日の『フォツシツシエ・ツァイトウンク』Vossische Zeitung。

一噸當り四弗の罰金は生産されなかつた噸に均一に分配された。それ故、もはや以前の様に、過少生産一噸當りつねに二弗が支拂はれるのではなくて、可變金額が支拂はれるのだ(8)。

(8) 一九三〇年九月二十八日の『フランクフルト新聞』。

五 労働者階級に對する攻撃の激化

労働者を犠牲にして恐慌から脱することが、いつでも企業家の最後の分別であつた。カルテルの再建が出来ようが出来まいが、そんなことはどうでもよいのだ。賃銀切下げの決定には國際カルテルは全然必要なのだ。すべての資本家が、できる限りにおいてそれを實施してゐるのだ。利潤率の増加はカルテルの内部における彼の地位を強化しさへするのだ。けれども、恐らく、加入者達がロツクアウトやストライキの場合に賃銀に全國的攻撃を加へるに當つて自分達相互の間で相互供給について提

携するであらう、ことばあり得ることなのだ。

清算金庫の機能を強めようとする試みも、この點で注目に値ひする。企業家の總攻撃がたゞに差し迫つてゐるばかりでなくすでに開始されてゐることは、ベルリンの金屬爭議と關聯させて、ベルリンのデーメンス・コンツェルン Siemens-Konzern が鋼鐵聯合の大株主であり、鋼鐵聯合が又デーメンス・コンツェルンの大株主であること、^{アーネーゲー} AEG が中部ドイツの鋼鐵工場によつて、またリンケーホフマン工場 Linke-Hofmann-Werke によつて鋼鐵聯合と喰付き合つてゐること、上述の諸工場を通じて再びアメリカの資本家團の間に横の結合があること等々を述べさへすれば明々白々だ。

かやうに、ベルリンではすでに鬭争がおつばじまつてゐるのに、左翼社會ファシスト共は親切な勸告をして『危機に瀕したドイツ經濟』を救済しようとする。十月三日の『ライプツヒヒ民衆新聞』Leipziger Volkszeitung 紙上に、クルト・ツエツプ Kurt Zepf は『鐵の價格を引下げよ』といふ題名の論文を寄稿してゐる。彼は、ドイツの鐵價格が世界市場價格よりも高位にあることを非難し、そして『かやうに價格が凌駕せる結果、最近すでに外國の、分けてもベルギーの鐵が尨大に輸入されるにいたつた……』ことを、その事實として報告してゐる。

『この危險がドイツの鐵工業を自覺せしめ、従つて差し當り價格を輕減せしめることをしないとすると、今や、經濟上有害な價格形成を變更するためにカルテルの指令を適用することを眞面目に考へる

潮時であらう、さもなければドイツの鐵工業は、社會總體の利益にとつて必要なその價格の實際の市場關係への適應を餘儀なくされるであらう。』

企業家はこの親切な勸告を受け入れないのだ。『フ、オ、ツ、シ、ツ、シ、エ、ッ、ア、イ、ト、ウ、ン、ク』（一九三〇年十月二十五日）はエツセンから、十月二十三日に開催されたドイツ粗鋼聯合の月次總會について報告してゐるが、商人仲間と鐵加工工業の憤懣の結果二三の真相が暴露されてゐる。

『鐵價格問題は新に提起されはしないであらうといふ先の取消にも拘はらず、鑛區では、殊に商人仲間、のあいだでも、鐵聯合が更に價格低下を準備するであらうといふ推測が行はれてゐる、殊に本年夏に行はれた價格切下げの費用は大部分労働者階級によつて負擔されたのだ。』

それ（この工業——編輯者）は合衆國における粗鋼生産の減退を指摘し、鑛業は、自分が儲けるためには、賃銀を切下げて製造費の免除を行はざるを得ないといふ希望を表明してゐる。兩基本製造業における價格低下は國有鐵道にも輕減をもたらしざるを得なかつたのだ。更に、國有鐵道の運賃を戦前運賃よりも二〇〇%高くすることが決定され、そして最後に政府の手によつて決定された費用の低減が要求されるのだ。

それは總てのことについて述べてゐる。たゞ、市場報告では鐵消費者の免除の必要が極めてハッキリと現はれてゐるのに、緊急に必要な鐵價格の低下について述べてゐないだけだ。次に、一労働日の

粗鋼生産は、一月には四萬九千噸であつたが、七月には三萬三千五百噸に、九月には三萬一千三百噸に減退したとさう書いてある。展鐵工場の生産はこの増減に應當してゐる、と。鐵加工業はその外國の競争よりも六〇%も高い價格を拂はねばならぬが、この鐵加工業の苦情については特に一言も述べられはしないのだ」と。

企業家の戦術は全く明瞭である。粗鋼の價格には決して手が觸れられないのに、攻勢は金屬工業においても鑛業においてもおつばじまつてゐる。金屬工業のお次ぎは鑛業の順番だ。ルール炭坑夫三十三萬五千の賃銀率はそれ自體すでに有害なものであり、有効聲明の結果十二月三十一日まで延期されたが、この賃銀率にはすぐさま攻撃が加へられるのだ。鑛業は、地均らしのために、十二月一日から有効な六〇%の價格低下を決議した。彼等はこの六〇%の低下を一〇%の賃銀掠奪によつて餘分に差引かうと欲してゐるのだ。

しかし石炭を低廉にすること——これは賃銀が掠奪される結果數倍も償はれるはずだ——によつて、鐵生産と鋼鐵生産とは著しく低廉にされるのだ。

石炭消費は、粗鋼生産費の三〇%、流鋼鐵生産費の二五%、展鐵生産費の二%及び電氣工場生産費の二〇%乃至三〇%を占めてゐる（9）。

（9） 景氣研究所週報。一九三〇年十月十二日。

ルール金屬工の賃銀率は一九三一年九月三十日まで有効である。それ故、高い鐵價格の固執、鑛業における「大規模な價格低下」の固執、他方では金屬工業における闘争、鐵道従業員の賃銀等々への攻撃。

さて、吾々が賃銀低下への傾向のみならず、企業家の攻撃の戦術上の順序をも確認し得るとすれば、防衛にのみ立ち止まらない防衛の道もまた見出されねばならぬ。純粹な防禦は斷じて階級闘争におけるプロレタリアートに取つての適當な陣地ではない。現在もブルジョアジーは攻勢に出てはゐるが、彼等はその歴史的地位のゆえに、軍事的概念を階級闘争に適用して言へば、疲勞戦争（敵を困憊せしめる戦争——譯者）を遂行しうるにすぎないのだ。ブルジョアジーは、一切の負擔を脊負ふ弱い軟弱なプロレタリアートを欲してゐる。けれども、彼等は、ブルジョアジーとして生活しうるためには、プロレタリアートを必要とする、これに反し、階級としてのプロレタリアートは、革命的な絶滅戦争を遂行する、すなはちプロレタリアートは自ら生活し得るために、決してブルジョアジーを必要としないのだ。

恐慌はブルジョアジーの攻撃慾ばかりを高めるに過ぎないが、その力を増大しはしない。ブルジョアジーを恐慌から救はうと欲してゐる改良主義者共にとつてのみ、恐慌は逆襲と攻撃にとつての「不利な時點」なのだ。けれども、恐慌は、ストライキが敵の最急所を探し出し、そして打撃が資本主義の心臓を打たうとする意志を以て遂行されるならば、事情によつては最も有利な時點ともなり得るのだ。

貨銀と恐慌 「資料」 (一九三〇年七・八月)

世界恐慌は絶えず益々尖鋭化しつつある。新聞や雑誌は毎日、恐慌の深化と絶えず益々激化しつつある階級闘争とに關する新しい事實、數字及び報導を載せてゐる。それらは、吾々が本誌においてつねに發展させたところのあの原則の正しさを立證してゐる。一九三〇年の前半年における最重要な資本主義諸國の經濟的結果に一瞥を投ずれば、吾々はそのことをなほ一層確信せざるを得ないので。

ドイツから始めよう——一般的な生産高は本年の第二四半期には昨年と同該四半期におけるよりも二〇%だけ少い。労働市場における普通の季節的な春の好轉は、本年は景氣の悪化によつて著しく追ひ越された。失業者數は、職業紹介所の報告によれば、六月に約三百萬に達した。昨年よりも百五十萬多いのだ。『すでに存在せるあの客觀的な景氣報告によれば——とドイツ景氣研究所は書いてゐる——秋に現はれる失業者數の増加は労働市場においても全幅の力を以て認められるであらうことが期待される』と。

イギリス——一般的な生産高は「ケムブリッジ・エコノミック・サーヴイス」Cambridge Economic Service の報告によれば、本年の第二四半期には昨年におけるよりも一〇%だけ少い。殆どあらゆる産業部門において生産制限が行はれてゐる。繊維工業、石炭工業、製鋼業及び製鐵業における生産

の低下は特に甚しい。生産制限と關聯せる失業は、官廳報告によれば百二十六萬一千(一九二九年における月平均)といふ數を突破して、本年七月には二百萬に達してゐる。

アメリカ合衆國——好景氣を「指令」しようとするフーヴァーの試みは何にもならなかつた。一九三〇年の前半年の経過の中に、恐慌はなほ一層激化した。その生産が空前の制限後の最初の月に、すなはち一九二九年末にやゝ増騰したが、昨年のもそれに應答せる數字よりも遙かに減退した。自動車工業と製鋼業とにおける季節的な好景氣を除けば、生産制限はあらゆる生産部門において間斷なく進行した。生産指數は「アナリスト」によれば、昨年の五月には一九二九年五月の一〇八・八に比べて八八・六——すなはち約二〇%の低下である。ブルジョアの經濟家の注意深い評價によれば、六百萬と見積られる失業者數は、状態が悪化してゆくに連れてなほ一層増大した。

フランス——景氣悪化への決定的な轉向は現在にいたるまでなほ現はれてゐない。本年の最初の六ヶ月間における生産高の總指數はなほ、昨年未到達された高い水準に止まつてゐる。けれども指數が一九二八年及び一九二九年にそうであつたやうに増加するどころか停滯してゐるといふ事情は、フランスの國民經濟が轉向點に立つてゐること「逆轉的」運動がはじまつてゐることを證明するものである。繊維工業、贅澤品の生産、自動車工業はすでに恐慌に襲はれてをり、そして他の現在までは「甘

く行つてゐる』諸部門においても——ブルヂョア新聞によれば——今後の發展の見透しは世界恐慌と
關聯して絶えず益々惡化しつつある。鑛業（石炭、鐵鑛及び加里）の指數はこの點で特徴的である。
それは本年の二—三月以來一三一—一三〇から五—七月の二二—一一九に低下した。

世界恐慌の影響は外國貿易の數字にもハッキリと現はれた。五大國の外國貿易は本年の前半年には
昨年の當該期に比べて、一九二九年を一〇〇とすれば、次の如くであつた——

國 別	輸 入	輸 出
ド イ ツ	八六〇	九九・五
イ タ リ ー	八〇〇	八六・五
フ ラ ン ス	八七・五	九〇・〇
イ ギ リ ス	九〇・〇	八五・〇
合 衆 國	七六・三	七九・〇

すでに述べた如く、これらの報告はすべて恐慌の激化を證明してゐる。さて、どこに恐慌からの出
口は見出さるべきであるか？ つねの如く、ブルヂョアジは恐慌からの出口を労働者階級の犠牲に
求め、そしてプロレタリアートの賃銀と生活關係とに對する突撃を全線に亘つて行ふのである。

昨年の秋以來、ドイツの資本家共は労働者階級の生活狀態に對して決定的な攻勢を開始した。最も
必要な必需品に對する莫大な増税、市町村税等々の引上げ、保險補助金の荒廢と社會保險に基く補助

金請求權を有する人員の制限、最後に大衆的性質を採る名目賃銀の直接的な切下げ——以上がこの攻
勢がとるところの最重要な諸形態である。

次に、最近現はれた賃銀低下の方面における最も重要な諸事實を立ち入つて論じたい。

五月末に、西北工業地方の二十三萬人の坑夫に對して、一〇%の賃銀低下に關する仲裁判決が下さ
れた。これは、労働者一人について、改良主義者の計算によつてさへ、年平均二百八十六マルクに達
するのである。企業家等は、この手段を取つた理由は生産費を低下する必要——でなければ世界市場
で競争することができない——からだと言つてゐる。けれども、總資本高十三億八百萬マルクを有す
るこの地方で最も大きな六工場は、償却金一億三千萬マルクを控除した後、九千七百萬マルクの純益
を擧げたのであつた。

六月には労働大臣、シユテゲルワルド、Siegerwald は、企業家に金屬工の出來高賃銀率を低下する權
利を與へるところのルール地方仲裁委員會の決定を強制的なものだと聲明した。これはとりも直さず
ルール地方二十萬の金屬工の賃銀の七・五%の低減であり、一労働者家族の家計を毎週五マルク乃至六
マルク截り取ることであり、また一金屬工の年所得を二百七十一マルクだけでもしくは九一ヶ月分の所
得だけ截り取ることなのだ。

七月の後半には、激烈な闘争の後、マンスフェルトの一萬四千の金屬工に對して一二%の賃銀低下

が行はれた。この金屬工の平均所得は僅かに週二十三マルク乃至二十八マルクに達するに過ぎない（ドイツにおけるすべての銅鑛山は、國際銅カルテルに加入してゐる「マンズフェルト・アー・デー」に屬してゐる）。面白いことには、最近三年間にマンズフェルトの諸工場における生産の價値が三百五十萬マルクだけ増加したのに、支出はたつた二百萬マルクしか増加しなかつたのだ。労働者數は一九二二年以來七千人すなはち三分の一だけ減少した。一九二九年だけで、純益はアー・デーの營業報告によれば、三百五十萬マルクに達した。

同時に賃銀は低下し、そして一聯の大小諸工場においては賃銀低下への試みがなされてゐる。新しい低下が日程に上つてゐる。第一步が成功するであらうならば、とブルジョア的な「ケルン新聞」Kölnische Zeitung は宣言してゐる。それは金屬工業だけには限られないであらう、それどころかこの例に、全鑛業が、鐵道業が、建築材料の生産がそして原料工業が追隨するであらう、と。

全土に氾濫した賃銀低下の波浪にも拘はらず、官廳統計は賃銀總額の殆ど完全な安定を物語つてゐる。官廳報告を基礎にして、だが完全失業及び部分的失業の結果である賃銀暴落をも顧慮して、有名な統計家クチンスキイは一九二九年の後半期におけるドイツ労働者階級の賃銀崩落を二三・六%と決定してゐる。一九二九年六月から一九三〇年一月にいたるまでに、それは一六・一%に達してゐる。一九三〇年の上半期に、工業労働者一人當りの平均所得は、失業補助金をも算入して、二人の成年と三人の子供から成る一家族に必要な支出總額以下に二〇%だけ低下した（一九二九年にはこの百分率は一五%、一九三〇年一月には一八%に達した）。賃銀の購買力は一九三〇年の上半期には一九二九年の上半期におけるよりも四%低く、そして一九三〇年六月には一九二九年六月におけるよりも一〇%低くかつた（クチンスキイによる）。

労働者階級の賃銀状態に對する資本の攻勢は、合衆國においても經濟恐慌の激化の結果高まりつ、ある。多數の工業部門と農業とにおいて景氣の立ち直るのが普通である春夏季の開始にも拘はらず、失業は停止しなかつたし、就業労働者の賃銀は相變らず下落しつゞけてゐる。

一九二九年一月と一九三〇年一月における自動車工業の就業労働者數を比較すれば、一年間に二七・六%の減退が認められる。同時に、支拂はれた賃銀の總額はなほ一層すなはち三五・四%減少した。護謨輪の生産に對するそれらに應答せる數は夫々二四・五%と二五%とに達した。

纖維工業で支拂はれた賃銀の總額は一九二九年四月から一九三〇年四月までに一七・三%低下し、就業纖維労働者數は一〇・二%減少した。

製鐵業及び製鋼業においては、労働者數は一九二九年四月から一九三〇年四月までに八・五%、支拂はれた賃銀の總額は一三・六%、そして殘餘の金屬工業においては一八・六%乃至二六・四%減少した。

これら總てはアメリカの労働者の平均所得が明白に低下せることを示してゐる。

一九三〇年五月から六月までに、自動車工業に就業せる労働者は六・五%切り棄てられた。その際、支拂はれた賃銀の総額は一二・二%減少した。製鐵業と製鋼業においては、労働者数は一ヶ月間に三・三%、支拂はれた賃銀の総額は五・五%低下した。木綿工業では、就業労働者数は同じ月に三・二%減少した。

一九二九年六月から一九三〇年六月までに、疑ひもなく素晴らしい官廳報告によつてさへ、就業労働者の指數は一三・五%減退し、そして支拂はれた賃銀の指數は一八・二%低下した。實收賃銀の指數は週賃銀資金と完成品工業の五十四の最重要な部門に就業してゐる労働者及び使用人との關する官廳報告に基いて算出されたのであるが、それは一九二九年十月から一九三〇年六月までに七%の減退を示してゐる。失業の範圍をも考慮に入れると、アメリカ労働者階級の實收賃銀の低下率は一八・五%になる。

イギリスでは、全産業における週賃銀額の動きは、低下する傾向を示してゐる、すなはち減少額は一九二七年には三十五萬八千六百ポンド・スターリング、一九二八年には十四萬二千ポンド・スターリング、一九二九年には七萬九千五百ポンド・スターリング、そして一九三〇年の上半期には十萬二千五百ポンド・スターリング。

一九二四年から一九二九年までに、坑夫賃銀は一九%以上減少したのに、石炭工業における労働生

産性は二三%増大した。木綿工業においては、一九三〇年六月における平均週賃銀の低下は一九二四年十月の週賃銀に比べて一九%に達し、羊毛工業では同じ期間に一一%に達した。一九二九年に木綿工業の織維労働者五十萬の賃銀が六・五%低下され、そして羊毛労働者のそれは最近九%低下された。イギリス工業の最重要な諸部門における實收賃銀の高さについては、次の報告から大體のことが分る――

一九二九年における實收賃銀指數（一九一四年＝一〇〇）

鑛業	八五
機械製作(熟練労働者)	九〇
造船	八六
木綿工業	九〇

戦前水準に對する右の如き後退は吾々が官廳報告に基いて行つた計算からさへ出て來るのであるから、主要産業部門に就業してゐるイギリス労働者の壓倒的多數の生活水準がいかに低劣なものであるかは、容易に想像し得られるところである。

最近イギリスのブルヂョア新聞では、賃銀と失業補助金との荒廢のためのカムバーニアが開始された。近頃、商業會議所聯盟はその覺書の中で、運輸労働者、食料品労働者及び國家の使用人の失業補助金と賃銀との荒廢を要求した。『タイムズ』Times、『デーリー・テレグラフ』Daily Telegraph 及び『モ

「*Morning Post*」は彼等の社説においてこれらの要求に對して賛成意見を發表した。フランスでは、労働者の實收賃銀は官廳報告によれば、一九二九年の下半期に四%低下し、そして一九一一年よりも九%低減してゐる。パリ地方における實收賃銀指數は、労働組合の生計費指數に基いて算出すれば、一九二九年十月には戰前水準よりも一九%低くかつた。

イタリアでは、一九二九年の下半期に賃銀の一般的な低下は一〇%に達した。

日本では、東京における賃銀指數の低下は一九三〇年五月には一九二四年八月に比べて一〇・四%に達した。諸種の經營では、賃銀の切下げは二〇%乃至四〇%に達した。

賃銀の著しい低下は植民地や半植民地、すなはち支那、印度、ラティン・アメリカにおいても起つた（ブラジルでは恐慌の結果三五—五〇%、キューバの甘蔗栽培地では一九二八年から一九二九年までに三五%、ポリヴィアでは二〇%、その際、工業家達は失業保險及び疾病保險に對する彼等の保險料をおさめることを拒んでゐる）。

一九三〇年における世界經濟恐慌の發展、その結果生じた一聯の國々では労働者に對する需要を凌駕せる失業の繼續的な増加、資本主義的合理化の新しい波、労働條件に對する資本の狂氣ぢみた攻勢は労働者大衆の高まりつゝある抵抗にぶつ突かつてゐる。ストライキ、デモンストレーション、失業者の戰闘、植民地暴動の波浪は一國又一國と氾濫してゐる。労働者は防衛に開踏せず、逆襲へ移つて

ゐる。これら總ての戰闘は、經濟恐慌の影響、資本の攻勢、失業、大衆の破滅と窮乏化とから發する階級闘争の最初の小前哨戦にすぎないのだ。これらの闘争に向つて準備してゐること、大衆を社會ファシズムの勢力から解放すること、日常要求のための闘争を政治的要求のための闘争と結び付けること、プロレタリアートの多數を獲得すること——これが現在の瞬間における革命的プロレタリアートの任務である。

『労働者階級に對する前進』(一九三〇年七月・八月)

—ドイツにおける賃銀攻勢について—

ドイツのブルジョアジーは、現在、このスローガンを掲げて、三百萬の完全失業者と三五%の利用されてゐない生産装置とに現はれてゐる經濟恐慌を彼等の手段を以て克服しようと試みてゐる。賃銀切下げ、新しい租税負擔の賦課、労働者階級のための社會保險の荒廢、これが攻撃の直接の目的である。この闘争において、ドイツ企業家階級の指導は重工業のシツカリと掌握するところである。

この闘争が實現すべき經濟目標は、根本的には、世界經濟恐慌を前にしてやゝ溫和な手段で到達されるかに思はれるものと同じものだ。すなはち、世界市場の獲得！

重工業家連もまた、勿論、賃銀掠奪と租税強奪との結果なほ一層深刻な労働者大衆の窮乏がますます増大せざるを得ないこと、この窮乏が今日すでに消費品工業における重大な危機に對して主要責任を持つてゐることに就いて思ひ違ひをしてはゐないのだ。けれども、かやうな展望が、恐らくは經濟的政治的に權力を掌握し、そしてドイツ市場を絶えず益々彼等の世界市場への投資輸出の金融的基礎としてのみ考へてゐるに過ぎない石炭王や鐵王を驚異せしめ得るであらうか？

ドイツ資本主義の労働者階級に對する突撃は世界市場へのダンピング突撃の發端にすぎないのだ。絶望的な格闘が、世界市場における分前を擴張するために、いかなる代價を拂つても競争を驅逐するために、新しい利潤地域を獲得するために開始されるであらう。これらの諸理由から、ドイツにおける諸事件は、全體の世界ブルジョアジーからも世界プロレタリアートからも、最大の緊張と注意とを以て研究されてゐる。

すべての資本主義諸國において、實に、ブルジョアジーは國內市場が購買力の缺乏の結果消費し得ないものを、外國市場で荷下し、得るための手段と方途とを絶望的に捜し求めてゐる。ドイツのブルジョアジーが彼等の攻撃を以て部分的成功だけでも收めるならば、彼等の先例は直ちに他の諸國において模倣されるであらう。

けれども、それ故にこそ世界プロレタリアートも警戒してゐるのだ。労働者階級の或る上層に對する偽讓歩の時代は今日過ぎ去つてゐるのだ。高い賃銀による國內市場の金融化に關する、「經濟民主主義」等々に關する『新資本主義的』—改良主義的饒舌は物が言へなくなつてゐる。恰も霜柱のやうに、恐慌は改良主義者共が労働者階級の中にその土臺を造らうと試みたこれらすべての幻想の上に倒れかゝつたのだ。今日、すべての國々の労働者は、マンスフェルトにおいて、ルールにおいて、沿岸地方において、オーベルシュレジアにおいて、ベルリンにおいて彼等自身の未來もまた決定されるこ

『労働者階級に對する前進』

とを知つてゐるのだ。ドイツにおける労働者の決定的な勝利、彼等の防衛闘争の成功はドイツの先例を模倣しようとする他の國々の資本家達の勇氣と氣持とを幾分か殺ぐであらう。けれどもドイツの企業家の攻撃の成功は、すでに明日には「競争條件の均等」を復活しようと欲してゐる彼等自身の資本家の攻撃を招来しようなのだ。

簡単に、ドイツにおける出來事の概観を與へよう。攻撃の中心を成すものは賃銀切下げ攻撃である。マンズフェルトの銅鑛業の労働者に對する突撃につづいて、ルール地方の冶金工と金屬工とに對する攻撃が起つた。次に、木材労働者と船渠労働者との賃銀率の解約、オーベルシュレジアにおける仲間への攻勢等々がやつて來た。新聞が企業家の賃銀切下げ行動について報導しないやうな日は殆ど一日もない位だ。これら總てのことはブルジョア新聞が吾々に教へるやうに、恐らく利己的な利潤慾から起るのではなくて「生産の曲轉」の前提たるべき「價格の低落」のために起るのであることは言ふまでもない。生産の曲轉とは新しい労働者の雇傭、失業の荒廢を意味する。そして企業家が彼等の労働者に對する攻勢をたゞ單に労働者自身の利益のためにのみ行ふことが白日の如く明白に分るのだ。

さて——價格形成の問題に二言三言及するならば——賃銀要因が合理化増進の結果（約二百萬の労働者が生産から絶縁された）、そうでなくてさへこの二三年間に生産費の構成に對する意義を失つてしまつたことはたしかに事實だ。更に、他の少くとも同様に重要な生産費の要因がすなはち世界市場

の原料價格が最近十二ヶ月間もしくは十五ヶ月間に著しく安くなつたことも事實である。資本主義的過剰生産とそれに續く世界經濟恐慌の結果、次のものゝ價格は一九二九年四月から一九三〇年四月までに左の如く低落した——

銅	二〇%
錫	三〇%
羊	毛.....	四二%
木	綿.....	二〇%
護	模.....	三一%

けれども、生産費中の非常に重要な一因子のかやうな絶大の暴落もドイツの物價には奇妙なことに全く何の影響も與へずにしまつた。一九二九年四月から一九三〇年四月にいたるまでに、他の國々における運動とは反對に、工業完成品に關するドイツの卸賣指數はその上やゝ増加した。生産費と價格とは正しく企業家利潤の追加によつて相互に區別される。そして「價格の低下を可能ならしめるために」労働者に賃銀切下げを要求するドイツの企業家は、同時に、原料價格のガタ落ちから生ずる超過利潤を喜んで擱みとるのだ。

吾々が、この方面における企業家の論辯から出發して、價格形成の問題をなほ先に追究してゆくなれば、吾々はなほ他の奇怪事を發見し得るのだ。即ち、いはゆる「規整された」すなはち獨占によつ

て決定された價格の發展と『反應』すなはち『自由』價格の發展との間に、明確な相違が現はれてゐるのだ。次表を觀よ——

月 別	ドイツにおける價格發展の不均衡	
	自由な商品價格 (一九三〇年四月)	工業用の原料と半成品 規整價格
一九二九年四月	一二六、八	九四、七
一九三〇年四月	一〇二、六	八五、二

工業の獨占資本によつて統制された部分が正にいかにも價格政策を守つてゐるか、こゝに全くハツキリと見られるのだ。この價格政策は、獨占資本自身の理論に従へば、恐慌克服の途上に最大の妨害物を置くものなのだ。重工業が價格低下を眞に恐慌を克服するための有効な手段と考へるならば、彼等は價格の決定を、工業のまだ『組織化されてゐない』部分の實例に従へさせさへすればよいのだ。吾々は補足的に、經濟同盟の割當鬭争において不生産的に消耗された數百萬の資本を思ひ起すことができやう。これらの資本は高い利潤率から突き離されたのだ。吾々はまた補足的に、莫大な資本逃亡を思ひ起すことができやう。これらの逃亡資本は、ブルジョアの見積りによればすでに總額約百億に達し、そしてそれによつて直ちに安定化以來の外國資本の輸入を立派に測りうるのだ。けれども、吾々の仕事は、多分企業家に親切な勸告を與へることではなくて、資本主義經濟が自己の口に賃銀を

壓迫せず、價格を低落するに足るだけの準備資本と積立利潤とを持つてゐるのに、資本主義がいかに労働者を恐慌の受難者にしようとかゝつてゐるかを労働者に示すことであるから、吾々はこゝで極く簡単にこのことを示さう。

一九三〇年六月二十日の『ウ、イ、ルト、シ、ヤ、フ、ツ、デ、イ、ン、ス、ト』(頁一〇四六)は、企業家が現在努力してゐる賃銀理想の典型的な描寫を與へてゐる。そこには次の如く讀まれる——

『收入使用の最低の限界目的が物質的な營養必要品の保證であること、その次に住宅、交通機關及び衣服が加はることを顧慮するならば、それによつて直接の現在にとつては一聯の計算された使用目的が完結したものと考へられねばならない……個々の優遇された労働者層のための或る種の低廉な大量的奢侈を出現させるやうな特殊な機縁は斷じて存在してゐない』と。

これが企業家の賃銀理想であることはたつた今述べたところだが、それは社會ファシスト的官僚の企業家階級との合成の過程を適切に説明するものであるから、吾々は社會民主主義者で『ハムブルゲル・エコー』Hamburger Echo の編輯者であるエゴン・バンドマン、Egon Bandmann がこの特殊な論文の筆者であることを附言しなければならぬ。

さて、改良主義者達は労働者階級に對する正面攻撃に面していかなる態度を採るか？ 改良主義的諸新聞も熱心に價格引下げを主張してゐる。その際、彼等はたゞ内氣に、——けれども吾々は労働者

『労働者階級に對する前進』

の讀者を少しばかり考慮しなければならない——價格は賃銀を低下せず引下げられなければならないといふ意見を表明するに過ぎないのだ。けれどもすでにそうであるやうに——吾々が一度四分ノ三までお互に諒解し合つたならば、残りの四分ノ一が繼續的な分離の理由を成すことは稀なのだ。それ故、かやうに、ドイツの労働者もまた、企業家階級の攻勢の眞只中で彼等の『有名な指導者達』が恐らく彼等の先頭に立つて闘争するのではなく、彼等指導者が企業家の首領とひどく慣れ／＼しく『責任を意識した經濟政策』をなす喜ばしい光景を見たのである。

吾々自身の不骨な言葉で言へば、この討議においては、社會ファシスト的指導者共がいかにして最もよくプロレタリアートの組織化されつゝある抵抗を打ち破り得るかの問題が眼目なのだ。ブルジョア・チャーナリズムの鄭重な言葉では、それは恐らく次の如く言はれるのだ——

「人々は、工業家側の發議によつて、七年間の休止（協働の終了以來——編輯者）の後はじめて、その上に立つて經濟的危機を克服するための共通の努力がなされ得る信頼の基礎を見出さうとする試みを再び企てようと欲した……労働組合は、國家の社會政策、殊に社會保險の道徳的保證と實收賃銀の維持に對する道徳的保證とを期待した。企業家は、労働組合の幹部聯合の指導部が個々の部門聯合をそのかして労働争議の際油断なくこれを抑制せしめ、すなはち實際には殆ど或る種の城下の誓をなさしめ、かくして賃銀率の景氣への順應を容易ならしめるであらうといふ約束を期待したのだ。」

であつた（傍註は吾々の加したものである——編輯者）

そして上述の雜誌は、得意げに次の如く附け加へてゐる——

「吾々が兩派の六人と數週間のあいだかゝる事柄について實際に協議し得たこと、すなはち参加者が報告した様に、全く胸襟を開いて何の敵意もなく協議し得たことは、何ものにもまして、兩派に正直な意志と……相互の信頼とが存在したことの證據である……」と（マガヂン・デル・ウイルト・シヤフト）。

このことが國際的に繰返されることは非常にありそうなることであるから、ドイツにおける賃銀討議の經過と社會ファシスト的指導者のマナーバーとをこゝで簡単に確めることは無益ではないであらう。企業家は、卒直に、簡単にそして公然と、賃銀切下げ！の要求を以てはじめた。これに對して改良主義者達は勇らしく胸をたゝいて、次の様に聲明した、労働組合は斷じて賃銀切下げを承諾しないであらう、よしそれが絶対絶命の場合に立ちいたるべき必至の大勢にあるときでも、と（ドイツの労働組合官僚の脳髓が想像しうる『絶対絶命の場合』とは、周知の如く、狹隘な經濟的目的のためのストライキなのだ）。それ以上の談話は既に述べた遠慮のない會議の暗室で行はれたのだ。そこでは『全く胸襟を開いて』そして『何らの敵意もなしに』その策略が取極められたのだ。社會ファシスト共にとつてこの取極めで重要であつたのは、もはや決して企業家の攻勢に對して労働者を擁護するこ

『労働者階級に對する前進』

とではなくて、巧妙な屈服の形式を見出すことであつた。「吾々はそれを吾々の労働者にどう言つたらいいのか？」これが問題であつたのだ。

然るに、國家の裁判所も懶けてはゐなかつた。仲裁機關は活動しはじめた。打算的な公式が発見された。「賃銀切下げとそれに應當せる價格切下げ」、労働者を瞞着すべき合言葉はかく言つてゐる。この公式は額に社會的公正の印を帯びてゐないか？ ノルトウエストの冶金工と金屬工すなはち二十萬の重工業労働者が、新しい處方書に従つて取り扱はれた最初のものであつた。國家の仲裁々定によつて彼等に七・五%の賃銀切下げが宣告された。けれども、多數の労働者にあつては、實際の賃銀損失は、後に見るやうに、この百分率を遙かに凌駕してゐる。企業家は價格を「彼等の節約に應じて」低下する義務を課せられてゐる。これら全體が「實收賃銀を擁護し維持するための賃銀減額」と呼ばれるのだ。

形式がどうかのと言つて改良主義者達はなほこの仲裁々定に反對を表明したが、しかし原則においては労働組合官僚は同意してゐるのだ。も一度彼等は勇らしく胸をたいて次の如く聲明する。労働組合は、たとひそれが絶対絶命の場合に立ち到るべき必至の大勢にあるときでも、實收賃銀の減額は斷じて承認しないであらう！ と。彼等は、彼等が企業家を促して事實上價格の切下げをなさしめることができるかぎりにおいて、恐らく賃銀の減額に同意しうるのであらうことを労働者に確信せしめようとする。

めようと努めてゐる。社會民主主義的指導下の政府がそれを最もよくなし得ることは言ふまでもない。と。この公式は、と彼等はおそらく言ふのだ、全くよろしい、と。たゞ、ブルヂョアの指導下ではその施行は悪くなるであらう、と。

さて、労働者が往々彼等自身で製造する生産物によつて生活する場合でさへ、この計算は合はないであらう。しかも石炭價格の（實行されさへした）低下は、坑夫の家計に對しては殆ど何等の意義をも持たない。機械の價格が引下げられるからと言つて、それは金屬工には殆ど役に立たないのだ。また鋼鐵や管が「賃銀節約に應じて」安價にされるからと言つて、それはそうでなくてさへ不充分的な彼の賃銀が減額される鋼鐵工場や展鐵工場の労働者をヨリ以上満腹させはしないのだ。労働者は彼の家計において生活資料以外には専ら工業的完成生産物を消費する。彼の生計費が安くなり得るのは、たゞ生活資料、工業的消費品の價格、運賃、家賃、文化的支出その他が引下げられる場合ばかりだ。卸賣價格の引下げ、工業用原料の價格引下げは彼等にとつては全く無意味である。その恩恵は彼等にまでは決して及ばないのだ。あらゆる地方から彼に届くものは、たゞ價格引上げばかりだ。かやうにして「賃銀減額と價格減額——實收賃銀の維持」といふスローガンが、意識的な欺瞞であることが暴露される。たしかに疑ふことのできない證人である「ドイツ礦業新聞」 Deutschen Bergwerkszeitung (一九三〇年第七十一號) には、この聯關において次の如く書いてある——

『労働者階級に對する前進』

『吾々は、今後、賃銀低下と價格低下との全行動の成果を、この重大な恐慌のあらゆる場合における個々の労働者の實收賃銀が價格低下の結果依然維持されうると書くことを危険だと考へてゐるし、また吾々にはそれは不正直だとも思はれる。窮極目的としては、この實收賃銀の維持は勿論すべての黨派の念頭を離れぬところである。しかし、少くとも一時的には實收賃銀の低下は避けられないであらう。實收賃銀の低下といふこの一時的な不利益は……しかし全行動の最後の目的のために、すなはち再びヨリ多くの労働者を雇傭し、かくすることによつて分配に當てられる賃銀總額を増加するために我慢されなければならない』と。

重工業家の中心的な新聞は右の如く書いてゐる。

それとは反對に、社會民主黨と労働組合との社會ファシスト的指導者共が氣にかけてゐるのは、労働者のあいだに吾々は單に賃銀を擁護しないでも實收賃銀を維持しうるといふ印象を喚びおこすだけなのだ。だからこそ『賃銀は減額されない』といふスローガンが『實收賃銀は減額されない』といふ虚偽の不正直なスローガンによつてデマゴグ的に置き換へられるのだ！ だからこそ、資本主義的な價格低下の約束等々が正直か不正直かに就いて、意味深い考察がなされるのだ。

社會ファシスト的指導者の『實收賃銀を減額するな』といふスローガンへの移りゆきは、プロレタリアートの香中でその重大な恐慌を克服するための試みを企てることを、ドイツのブルジョアジーに

許す彼等の好意を明々白々に證明するものだ。

けれども、改良主義的官僚の一切の善き意志にも拘はらず、資本主義の攻勢はプロレタリアートの抵抗に、そして部分的にはその逆襲にぶつ突かつてゐる。すでに今日の賃銀では、ドイツの労働者は赤貧と面を突き合せて生活してゐるのだ。有名無實な賃率賃銀は殆ど何の役にも立たない。労働者が彼の就業期間中に儲けるといふことではなくて、彼が短時間労働と失業の時儲けないといふことが、彼の生計水準にとつて絶えず益々決定的となるのだ。彼は、彼が仕事にありついでゐるときでさへ彼に丁度なほ素裸の生存を可能ならしめるところの賃銀に降りてゆくことはできないのだ。

それ故、労働者のあいだにはまた、抵抗への絶對的意志も廣く擴がつてゐる。改良主義者共の裏切的態度、彼等の曖昧な舉動、彼等の屢々急進的な言葉及び彼等自身の——これは改良主義にとつては當り前なことだが實踐における裏切的態度は、この抵抗の組織化にとつて非常に困難な情勢をつくりだしてゐる。どこにおいても労働組合がその組合員の闘志にも拘はらず、大衆的抵抗の擔當者となり指導者とならないであらうことは、殆ど確信を以て考へられるところだ。このことは、たゞ革命的労働組合反對派が改良主義的官僚を完全に除去することができやうな場合にのみ起るであらう。

一萬三千の労働者が一五%の賃銀切下げを蒙つたと言はれるマンスフェルトでは、労働者の激昂が改良主義的同盟をさへ強制して闘争を引受けるの餘儀なきに到らしめた。九週間に亘つて、労働者は

『労働者階級に對する前進』

企業家の攻勢に英雄的な抵抗をなし、すべてのストライキ破りの試みを水泡に歸せしめ、そして國家社會主義的なストライキ破り團を驅逐した。この全期間中、官僚共は極めて熱心に罷業者の集會と革命的勞働組合反對派とをその中央ストライキ指導者とを妨碍しようと試みた。彼等は全力を擧げて、ストライキが工業地方の他の諸企業へ擴大することを阻止した。そして彼等は、未組織勞働者をしてストライキを支持することを不可能ならしめるために、いかなる應急方策をも講じなかつた。明らかに、紳士諸君は、これらの勞働者が困窮に驅られて闘争戦線から脱退し、そして彼等に屈服のため口實を與へるであらうと高をくゞつてゐた。この期待が當にならないことが曝露されたので、社會ファシストの官僚共には、全力を竭して行はれた闘争を公然と背中打ちする外に方法はなかつた。彼等は九・五%の賃銀減額に同意し、そしてマンسفエルト・アー・デーに月五百萬マルクの額で國家補助金を供給した。

官僚共がマンسفエルトではなほ闘争の指導に對する要求を掲げたとすれば、彼等はノルトウエストの運動では、前以て一切のかやうな請求權を放棄したのであつた。エインハウゼン Oeynhausen の仲裁々定は、周知の如く企業家に六・五%の賃銀減額を承認した。けれども實際には、多數の勞働者にとつてはこの率さへ甚しく凌駕された。多數の工場集會やその他の聲明において、勞働者は七月一日に効力を發生すべき賃銀掠奪に對する闘争の引受けを要求した。勞働組合反對派にデマゴグ的攻撃を加へる以外には、改良主義的指導者共は絶對に何もしなかつた。二十萬の勞働者に、賃銀引下げの通告が發せられた。勞働組合はこれらの勞働者の闘争を組織しようとする極く僅かな試みさへしなかつた。『勞働者が工場で賃銀引下げに對して抵抗をなす場合には、同盟は彼等を支援するであらう』と、改良主義的敗北戰略家の破廉恥な一聲明書にかゝれてあるのだ。

革命的勞働組合反對派は全力を盡して勞働者闘争を指導した。そして改良主義者共によつて喚び起された組織解體にも拘はらず、一聯の工場をストライキにおいて指導することに成功した。革命的勞働組合反對派の指導の下に、七月のはじめ約四萬乃至五萬の勞働者がノルトウエストで賃銀掠奪に反對して闘争した。工場の一部では闘争は成功裡に終らされ得た。他の部分では、勞働者は彼等が改良主義者から見放されたのを知つたとき元氣を失つて、二三日後工場へ歸つて行つた。けれども、ドイツにおける革命的勞働組合反對派と將來の闘争とにとつては、ノルトウエスト運動は歴史的な意義を持つてゐる。かやうな規模の運動において改良主義者共が恰かも彼等が闘争しようとするかの如き外觀をさへ放棄したことは、これがはじめてであつた。ルール地方の二三の最重要な工場においてただ革命的勞働組合反對派によつてのみなされたこの闘争の惹起と成功的な指導とは、吾々がドイツにおける獨立的な闘争指導のスローガンを携へて理論から成功的な實踐へ移りゆきつゝあることを示してゐる。

ノルトウエスト運動の終結はプロレタリアートになほ決して息抜きの暇を與へなかつた。すでに、織維工業において、鑛業において、中部ドイツ及びベルリンの金屬工業その他において、新しい紛議が發展してゐる。又もや、企業家の戦術は労働者戦線に向けられてゐる。ノルトウエストでは攻撃は形式上、就中、超過賃率の出來高—及び割増賃銀受領者に加へられた。ベルリンでは、仕事を一週間中の五日に集中することによつて彼等の賃銀及び俸給の六分ノ一を労働者と使用人から掠奪しようとする最初の突撃が使用人に對して行はれた。大衆的解雇は労働者を従順ならしむべき抑壓手段として廣汎に行使されてゐる。

従來、ドイツの労働階級は資本家の攻勢を、重要ではあるけれども二三の箇處において支へ得たにすぎない。そして企業家共が著しい成功を記録することは疑ひないところである。

プロレタリアートがその現在の闘争において遂行すべき任務は、全く専ら革命的労働組合反對派に歸屬するのである。革命的労働組合反對派は、企業家の分散戦術をプロレタリアートの集中戦術によつて防止すべき任務の前に立つてゐる。彼等の指導下に立つてゐる防衛闘争は「賃銀を完全に補償して七時間労働日を施行せよ」といふ統一的な綜合スローガンの下に、プロレタリアートの攻勢的戦闘へと發展させられなければならない。

資本形成と賃銀 (一九三〇年七・八月)

—ドイツに於ける經濟恐慌について—

—

ドイツは現在非常に苦難な恐慌におち入つてゐる。この事實は格別論證するまでもないことである。生産の一般指數は、ドイツ景氣研究所の算出によると、本年四月に一〇八・四（一九二八年—一〇〇）から九一・五への低下を示してゐる。鋼鐵生産指數は同じ期間に一一九・七から九一・〇へ低下した。

ドイツにおける失業者の總數は、短縮時間労働者を除いて、昨年の當該諸月におけるよりも多い(1)、すなはち—

	増加數
一九三〇年一月末	三九八、〇〇〇
一九三〇年二月末	三一六、〇〇〇

資本形成と賃銀

一九三〇年三月末 五五七、〇〇〇
 一九三〇年四月末 一〇七五、〇〇〇
 一九三〇年五月中旬 一二〇六、〇〇〇

(1) 景氣研究所週報。一九三〇年第十號。

求職者の絶対数は、職業紹介所の報告によれば、二月末の三百三十七萬から四月末の二百八十萬へ低下しただけである。景氣研究所はこの数を引用し、この根據から次の様な意見を述べてゐる――

「最近數ヶ月における勞働市場の季節的閑散のために、失業が現在これまでの總ての範圍を凌駕せる範圍を持つてゐることに就いて思ひ違ひをしてはならない」(景氣研究四半期報、第五年、第一冊、A部、頁三六)と。

求職者の数は次の如くであつた――

一九二四年四月末	七十萬
一九二五年同	五十萬
一九二六年同	二百二十萬
一九二七年同	百五十萬
一九二八年同	百二十萬
一九二九年同	百七十萬
一九三〇年同	二百八十萬

右の數は、勞働市場に通常現はれる季節的な春の好轉が今年は景氣惡化のために相殺されたことを證明してゐる。

失業と恐慌との問題は、現在、ドイツの政治と經濟との關心の中心點に立てる問題となつた。現在全ブルヂョア新聞と全社會民主々義新聞とが没頭してゐる最重要な問題は、畢竟するところ、恐慌の繼續的な發展がいかにして形成されるであらうか、またいかなる方途により、いかなる手段を以て失業は克服されるべきであるかといふに歸する。これらの問題に對する解答は、言ふまでもなく、恐慌の診斷に、すなはちその根柢に横はつてゐる諸原因の解明と失業の性質の規定とに依存してゐる。

ドイツの恐慌も將又恐怖を惹き起しつゝある失業(すでに昨年百十五萬を突破してゐる)も、突發した世界恐慌によつて説明され得るものではない。ドイツの外國貿易はなるほど最初の四ヶ月間に或る惡化を、すなはち輸出の僅かな減退と原料輸入の減少とを示してゐるが、しかしそれは寧ろ、世界恐慌が直接的には(外國貿易を通じて)暫くの間ドイツをなほあまり同じ苦境に引摺り込まなかつたことを證明してゐる。それ故、恐慌と失業の諸原因に對する説明は、ドイツ資本主義の內的傾向と法則性との中に求めらるべきであつて、その作用が丁度今感じられはじめてゐる外的諸原因(世界恐慌)の中に求めらるべきではない。

すでに一九二七年に、ブルジョア國民經濟學の「權威」カッセル教授は、デュネーブの國際經濟會議に「諸國民の窮乏の諸原因について」*Über die Ursache der Armut der Nationen* といふ大げさな題目のついた覺書を提出した。この覺書の中で、カッセルは、失業が労働組合の獨占的地位と賃銀があまりに高いことの結果であることを立證しようと試みた。あらゆる時代に對して、またあらゆる景氣關係の下で妥當し、そして企業家によつて擁護されるこの「啓示」は、現在全ブルジョア經濟學をわがものとしてをり、そして今やドイツの企業家が賃銀額に向つて開始した戰役に際して理論上の楯持ちの役を演じてゐる。彼等は、資本形成を不可能ならしめるところの「高過ぎる賃銀」を、恐慌と同時に失業の最重要な原因と觀てゐる。すべての他の諸問題におけると全く同様に、社會民主主義者達はこの問題においてもまた「複式簿記」の政策を行つてゐる。一方では彼等は、なほ彼等に追従してゐる労働者の信頼を害はないために、その廣汎な公衆を自あてにした雑誌において、また日刊新聞において賃銀の低減に反對意見を發表し、そしてこれが理由として賃銀の低下は購買力の縮少と同じことであり、國內の景氣を悪化し、その結果は恐慌と失業との激化となると論じてゐる。彼等がその大衆的普及を目的とする機關紙においてこの論據を展開するとすれば、彼等は、彼等がその官僚の幹部のために言は、自己教育を目的として書くところのその理論的機關紙において同じ論據を擧げ、そしてブルジョア理論家達の立場に結び付けてゐる、すなはち彼等は、資本形成を根本問題と考へてゐるのである。すでに昨年末以來「労働」*Die Arbeit* 誌は各號において、資本形成の問題を論じ、そしてそれを失業と結び付けてゐるのだ。

すでに述べたやうに、社會民主主義的な大衆的機關紙は國內における購買力の縮少に對して反對意見を述べ、そして反對派であるかの様に企業家の機關紙に攻撃を加へてゐる。けれども彼等は、その理論的機關紙においては——一方は公然と、他方はヨリ隠然と——「高過ぎる賃銀」を失業の原因だと指摘してゐる。ドイツ労働組合總同盟ADGBの理論的機關雜誌「労働」は、その第四號に「最近數ヶ月の討論において絶えず繰り返し提起せられたところの」ドイツの現在の失業に對する次の二つの説明の試みを引用してゐる——

「一、「政治的」賃率制度が賃銀を最高額以上に追ひ上げ、その結果所與の價格においては企業家を無収益へと導き、そして彼等に經營縮少と經營休止とを強ひると主張される。二、他の見解は、失業が無収益企業からの解雇の結果であるよりも、寧ろ戰前年の人口増加(2)と合理化の結果と

しての、充分に収益を擧げてゐる企業からの労働者の放逐との結果であるといふに歸する。けれども、これらの増加した人口の再編入は高い利率にぶつ突かつて失敗するといふのだ」(『労働』一九三〇年四月、第四卷。ゲルハルト・コルム博士 Dr. Gerhard Colm 『賃銀、利子、失業』 Lohn, Zins, Arbeitslosigkeit)。

(2) 戦争直前の年に生れたものは現在職業生活に入つてゐる。

最初の説明の試みは公然と高い賃銀を恐慌の原因だと説明してゐるが、第二の説明の試みはこれを遠廻しにやつてゐる。もつと詳しく説明すれば、第二の説明の試みは次のやうに言はうと欲してゐる、すなはち一九二五年から一九二九年末にいたるまでに、十五歳以上六十五歳以下の生業能力ある人口数は約百六十万人増加した、と。合理化のために約五十万の人間が解雇された。その結果、總計二百萬人の豫備軍がつくり出された。

「人口増加の結果加はつたものと合理化過程によつて放逐された二百萬の生業能力あるものとの新しい生産装置への編入は、見積りによれば、百億マルク乃至百五十億マルクの資本を必要とするであらう。増加せる生業者数の編入は、戦前時代においては、吾々が現在経験する程度の困難とはならなかつた。相違は明らかに、以前に比べて現在、利率が非常に高過ぎること、資本が缺乏せることとにある。これが生産装置のそれに應當せる擴大を阻止してゐるのだ」(同上、頁二四四及び二四五)。

従つて、失業の理由は資本の缺乏に含まれてゐるのだ。高い利率はこの資本の缺乏の一結果であるにすぎない。そしてブルジョアの國民經濟學者共は、この資本の缺乏そのものを説明するに、すでに最初に述べたやうに、資本形成を不可能ならしめるところの「高過ぎる賃銀」をもつてするのである。たつた今引用した論文の筆者は、一石を以て二鳥を打つために、就中卒直に次のやうに説明してゐる、すなはち「かやうに一方は賃銀の高さを、他方は利率の高さを失業の原因と認めてゐる。しかるに吾々は、次に、失業の原因が賃銀と利子との同時的な高さのうちにあることを示すやうに努めたい」(傍點は筆者——同上、頁二四三)と。

根本的に見れば、も一人の改良主義者にして理論家であるブラウンタール Braundtal も、同誌次號の論説において同じこと述べてゐる。そこに、彼は次のやうに書いてゐる——

「一定の限界内における資本形成の必要に就いては少しも意見の相違はないが、この資本形成はあらゆる場合に消費品のための市場から購買力を奪ひ去るのである……資本形成がたとひどんな形態で行はれるにせよ、あらゆる場合にその唯一の源泉は依然として國民所得の一部の直接的な消費を放棄することである」(傍點筆者、『労働』第五卷、一九三〇年五月、頁二八六。アー・ブラウンタール博士『新に形成された資本の源泉と使用』 Die Quellen und die Verwendung des neugebildeten

恐らく、どんな企業家でもこの詳論と同意見であることを聲明するであらう。彼がこの意見を讀めば、彼はたしかに次の如く叫び出すであらう、「それこそ私が必要とするものなのだ！」と。ドイツ工業全國同盟がその不評判な覺書において、賃銀の低減を要求し、そして「最大可能なる經濟性を舉げ新しい地位をつくり、廣汎な大衆の生活必需品を充たすためには、何よりも先づ資本形成が促進されねばならない……それが生産の増大のための前提であり、それ故にドイツ國民のすべての利益である(3)」と書いたとき、それは單に改良主義者共の現在の詳論を先取したものに過ぎなかつたのだ。

(3) 『興隆か没落か』、ドイツ工業全國同盟の覺書。

『高い賃銀の國民經濟理論』は現在屑として投げ棄てられた。それに代つたのは、『ドイツ國民のすべての諸層の利益で』あるところの消費の制限による資本形成のスローガンであつた。賃銀の引上げと購買力の増大との要求の基礎の上ではなく、右のスローガンの基礎の上に、改良主義者達は『産業平和』 Industrie-frieden に關する彼等の現在の商議に際して、企業家との共通の地盤を見出したのだ。けれども消費の放棄は、それが自發的であるにせよ強制的であるにせよ、すなはち節約又は國稅の引上げ又は賃銀の低下が中心問題であるかどうかはどうでもよいことだが、購買力の縮少を伴ふのだ。それなのに『フオールヴェルツ』や改良主義者の労働組合機關紙が、賃銀の低下は資本家がすはつて

る枝を挽き切るものであることを證明しようとする躍起になつてゐるとき、ブルジョアジーはこのことを眞面目に考へてはゐるのだ。なぜかならば、彼等は、このことがアヂテーションの目的すなはち口實としてのみ行はれ、心の底では社會民主主義者や労働組合官僚が彼等と同意見であることを察知してゐるからなのだ。それ故、ドイツ雇主同盟聯合の營業報告は、全く正當にも、次のやうに意地悪く書いてゐるのだ――

「吾人は、『労働』や『社會』 Die Gesellschaft のやうな雑誌で書いてゐるあのグループの社會政治的見解と、素晴らしい部數を發行してゐる職業組合のあの週刊新聞との間の絶えず激化してゆきつつある對立を確認しなければならぬ。週刊新聞では指導的な労働組合雑誌に現はれてゐる經濟的見解は決して見出されないのだ。『社會』や『労働』が考へられてゐるのだ、S.M.——ドイツ雇主同盟聯合の營業報告、頁三一四)。

四

改良主義者共の上述の見解に對立させて、吾々は問題の提起全體が誤れるものであることを力説しなければならぬ。失業と恐慌との原因は(差し當りドイツ經濟に僅かな影響しか與へなかつた世界恐慌の影響を無視すれば)、ドイツの資本家と改良主義者とが説明しようと試みてゐるやうに、賃銀が

高過ぎるために資本形成が不十分な點にあるのでもなければ、賃銀が高過ぎるために經營が無収益な點にあるのでもなければ、賃銀が高過ぎるために經營が無収益な點にあるのでもなく、「過剰蓄積」にあるのだ。工業に投資された數千億が利用されずにあることに、生産装置が空廻りしてゐることに、擴張された生産能力と實際の生産との間のおそろしい不均衡にあるのだ。そしてこれら一切のことはまたそれで、廣汎な大衆の購買力が縮少しつゝあるのに生産力がおそろしく増大せることの表現にすぎないのだ。

ドイツ工業は最近數年間におけるその發展に際して販賣市場の缺乏に逢着してゐる。現在の瞬間においてこの状態は全く特別に激烈な形態を探り、その結果基本工業全體における生産の制限となつた。消費されない生産物は莫大な量に騰つてゐる（生産用具並に消費資料と原料の）。しかもなほ、この量が増加するヨリ大きな可能性があるのだ。

ドイツ景氣研究所によつて現在極めて興味のある調査が行はれてゐる。その成果は上述の行論に對する立派な説明を成してゐる。この調査には、現在、大約三百萬の労働者座席を有する二千五百工場が含まれてゐる。その成果は「景氣研究四期報」 Viertel Jahrsheft Zur Konjunkturforschung 第五年第一册A部頁四四にはじめて報告された。特に、この調査では次の事項が確認されてゐる——

一、報告月に就業せる平均労働者數。

二、すべての工場設備が完全に利用される場合使用され得る労働者數（労働者座席收容能力）。

三、規定外の労働時間を含めて、報告月に實際に工場でなされた労働時間の數。

かやうにして調査された數は、能力の百分率で労働者座席別及び労働者時間別に工場設備の利用を示してある。個々の工業部門別に算出された利用數字から、諸種の工業グループのための大數的平均がつくり出されるのだ。

吾々は、次にこの統計の最も重要な成果を個々の月別に引用しよう——

(イ) 労働者座席收容能力の百分率において觀たる經營の操業率

(ロ) 労働者時間能力の百分率において觀たる、爲された労働者時間の數

年	工業總體		生産手段工業		消費資料工業	
	(イ)	(ロ)	(イ)	(ロ)	(イ)	(ロ)*
一九二八年七月	七七、九	七四、三	八〇、五	七八、〇	八〇、八	七二、八
一九二八年十月	七五、八	七三、〇	七七、九	七四、八	七八、三	七四、一
一九二九年一月	六七、九	六四、二	七七、三	七四、〇	七八、一	七二、四
一九二九年四月	七三、六	七一、六	七七、五	七五、六	七七、二	七三、二
一九二九年七月	十六、一	七二、七	七七、三	七四、六	七六、八	六九、一
一九二九年十月	七三、一	七一、二	七五、九	七四、〇	七六、九	七三、六
一九二九年十一月	七一、〇	六八、九	七五、九	七四、〇	七六、七	七二、九
一九二九年十二月	六八、一	六五、五	七四、九	七二、七	七五、九	七二、五

資本形成と賃銀

一九三〇年一月	六五、六	六二、二	七三、七	七〇、六	七三、九	六九、一
一九三〇年二月	六四、二	六〇、四	七二、五	六七、七	七三、六	六八、八
一九三〇年三月	六四、一	五九、七	七一、四	六六、〇	七三、〇	六六、八
一九三〇年四月	六四、三	五九、七	七〇、八	六五、三	七二、三	六六、八

*景氣集團、すなはちかなる高度な季節的動搖にも従つてゐない工業集團のみを包括せるもの。

この報告から分るやうに、操業率は労働者時間について見れば本年四月に僅かに五九・七%、また労働者座席收容能力に就いて見れば六四・三%を占めてゐるに過ぎない。けれども景氣が本年よりも一層よかつた昨年においてもそれに應當せる生産數は夫々七一・六%及び七三・六%にすぎない。かくして經營操業率は實際そうでなくてはならない割合よりもつねに殆ど三〇%だけ低いのである。そして現在の瞬間においては生産装置はその上六四%までしか運轉されてゐない。(この機會に吾々はこれらの經營が収益を擧げてゐること、もしそうでなければそれらは一般に作業をしないであらうことを述べておきたい)。このことは、更に現在就業してゐる労働者の五〇%がそこでなほ雇傭され得ることを意味する。そしてこのことは生産が思ひ切つて倍化され得ることを意味する。なぜかといふに、資本の有機的構成が高度な近代の資本力ある企業は、ツウ、イ、ド、ネ、ツ、ク、ア、ズ、ウ、デン、ホルスト、Zwischen-Sudenhorst (4) が全く正常に力説せるやうに、労働者數が僅かに増大する場合には生産を高度に増大し得るからだ。このことが起らずにゐるのは、たゞすでに過剰生産が存在する、すなはち販賣

が缺けてゐるがために過ぎないのだ。

(4) 景氣研究四期報、補充號。

資本形成の實際の過程はどこに含まれてゐるか？ 新しい工場や製造場の設立の中に、新しい機械新しい電機工場の生産の中に、鐵道や大街道の敷設の中に、住宅の建設等々の中にあるのだ。一般的に言へば、擴大された再生産の中にあるのだ。ところで次の問題が起る、ドイツで行はれたしまた現に行はれてゐる資本形成が不充足なものであるとすれば、これを充分にするためには、生産に参加した總ての人々の消費は賃銀の低下によつて縮小されねばならないのか？ 所與の消費の基礎の上でヨリ多數の人々が働くことが必要であるか、すなはち失業者を生産に引入れるためには、この生産の中で就業してゐる人々の消費を減少することが必要なのか？ 吾々はこれに對して、斷乎として否と答へる。恐慌がドイツで猩蹶を極めてゐるのは大衆があまりに多く消費しすぎるからではなくて、彼等があまりに僅かしか消費しないからなのだ。

最近數年間におけるドイツの景氣の發展は圖式的には次の如く説明される――

生産手段の生産は消費資料の生産の擴大に奉仕すべきであり、またそれに寄與すべきである。けれども生産手段の生産が決定的な意義を有するのであるから、それは消費資料の生産を自己に服従させた。消費品の生産は高い程度において重工業部門の賃銀受領者から出て來る需要によつて決定され

る。従つて消費資料の生産は重工業の發展の後をのろ／＼とついでゆくのである。

工業に設備更新の過程が起ると、舊い機械は新しい機械によつて取り代へられ、新工場や電気工場が設立され、古い仕事臺は新しい仕事臺によつて取り代へられ、そしてそれと關聯して多數の労働者が生産に引き入れられ、完成品工業の振興もまた行はれる（ドイツでは一九二七年）。さて、この過程が終了するや否や一般的な繁榮がはじまらざるを得ないと思はれかも知れない。莫大な量に上る労働が生産用具をつくるために使用された。そして現在では生産手段は、絶えず益々大量となりつゝある消費資料をつくる際に助けとなるであらう。あらゆる産業部門一般と消費資料生産との飛躍的な伸張が期待される。それどころか、過剰生産が認められ、あらゆる産業部門に亘つて生産制限が開始され、失業が増大し、恐慌が發展する。

五

ドイツのブルジョアと社會民主主義者とは恐慌の主要原因を「資本形成の缺乏」に認め、そして彼等の一切の期待を、外國資本の流入による甦生に、國內における資本形成の成長に、そして新しい投資活動の時代に賭けてゐる。他方、彼等は、本來、資本が投資されうる何ものも無いことを隠すことができない。かくて例へば、ドイツ景氣研究所は重工業における状態に關聯して次の如く書いて

る。

「製鐵工業の生産物のための國內市場の消化力は、最近數ヶ月間は極く僅かにすぎなかつた。現在の工業的生産は設備の不十分な使用を許すにすぎない。信用市場の前進的な發展も依然として全經濟の投資活動に持続的な影響を及ぼさなかつた。最重要なドイツの工業諸部門における技術的合理化が高度であるために、信用市場が繼續的に緩漫であるときでさへ、新投資の急速な増大は殆ど見込まれないのだ」〔景氣研究四期報〕第五年、第一卷、B部、頁一七〇。

機械製作における状態について次のやうに書かれてゐる——

「一九二六年における發展とは反對に、顧客工業における生産振興は、多分、その結果として直接的にはまた同一の範圍においては、新投資を持たないであらう。なぜなら、一九二六年及び一九二七年には生産装置總體が甚しく擴張され合理化された結果投資が多望となるかも知しくは全く必要となる前に、先づ當時擴張された能力の著しく高度な利用が達成されねばならないであらうから」〔同上、頁一五〕。

かやうな新投資の過程の終了と新しい投資への可能性の缺如とは、ドイツにおける景氣の繼續的な發展にとつて決定的な意義を持つてゐる。なぜかといふに、これら總てのことはこの點で所與の發展段階においては可能性が著しく無くなつてゐることを意味するからなのだ。

さて、これらの諸事情の下における今後の發展の見込みはどうか？ ドイツ景氣研究所は概して情勢と見込みとについて非常に悲觀的な態度を採つてをり、そしてその總ての期待を國際信用市場における諸事情の好轉（短期信用の豊富と低廉）による外國資本の流入と新投資とにかけてゐる。これに、「阻止的要因」として對立せるものは次の如くである、すなはち「一、廣汎な大衆の所得の減少、二、景氣状態が悪いことによる企業家の投資心の萎縮及び三、外國市場の發展が思はしくないこと」「景氣研究四期報」、第五年、第一冊、A部、頁一一）。

第一の要因について見れば、企業家の現在の攻勢が成功する場合にはたと現在の事態を悪化するばかりであること、すなはち恐慌が激化するであらうことは全く明瞭だ。外國市場について言へば、現在のところ悪化が期待されるばかりである。何れにせよ、好轉の見込みは差し當り全然無いのだ。かやうにして景氣研究所の見るところでは、恐慌と失業との克服は、「信用市場における諸事情の好轉はいつか景氣のために新しい投資を行ふことを怖れてゐる企業家の投資心の「萎縮」を克服するであらう」といふ心理的な問題に歸着するのだ。

吾々は、外國資本の流入がドイツ經濟へ何らの作用も及ぼさないであらうなどと主張しようとは思はない。けれどもその影響は極めて制限されたものであつて、工業における投資の増大とはならないであらう——なぜなら工業がそれを必要としないのだから——もしくは工業がそれを必要とするにし

ても僅かな程度においてだけであらう。企業家の投資心の缺如ではなくして、現に存在せる資本が完全に利用され得ないことが、こゝに、あらゆる投資にとつての客觀的な限界を成してゐるのである。

ドイツ資本主義は、その結果袋小路に追ひ込まれた。なぜならば、最近數年間の合理化と投資との結果として生産力がおそろしく増大したのに、工業の新設備が行はれた數年間（一九二五年と一九二八年）における廣汎な大衆の支拂能力ある需要の増大は緩慢であり、そして一九二九年の後半以來需要は相對的にばかりではなく、絶對的にも著しく減退したから。「一方の側には、とマルクスは言つてゐる（『剩餘價值に關する諸學說』、第二卷、第二部、頁三〇三）あらゆる再生産條件の過剰と市場で賣れないあらゆる種類の商品の過剰。他方の側には、破産した資本家達とすべてのものを奪はれた餓死しつゝある勞働者大衆」と。

吾々は莫大な基礎資本を必要とするのだ、とドイツの資本家達が言ふ。そして社會民主主義者共は數百萬の失業者に仕事を與へようと資本家共の口眞似をしてゐる。しかも時も時、現に存在せる生産手段は僅かに六〇%乃至七〇%しか利用されてゐないのだ！生産されるよりもヨリ以上に消費し得ないことは言ふまでもなく正しいが、しかし多分ドイツでは商品が缺乏してゐるのであらうか？恐慌は資本主義にとつては決して新しい現象ではない。けれども未だ會つて、生産力の増大と他方における失業及び貧困の増大との間における矛盾は、丁度現在ほどおそろしい範圍に達したことはなかつ

た。「資本形成の缺如」と「過剰生産」——この言葉の組合せは、やゝ馬鹿臭くないか？

「過剰生産」といふ言葉はそれ自體誤謬へと導く。社會の大部分の最も緊急な需要が充たされないうちにおいて、もしくはその最も直接的な需要だけが充されるかぎりにおいては、生産物の過剰生産といふやうなことは言ふまでもなく——生産物の量がそれに對する需要に比べて過剰であるといふ意味において——絶對に問題となり得ない。逆に、資本主義的生産の基礎の上では、この意味においてはつねに過剰に生産されると言はなければならない（同上、頁三〇九）。

生産能力が尨大であるのに、生産装置が技術の最新の成果に従つて整備されてゐるのに、ドイツの労働者階級の約二五%が全く仕事を持つてゐないのだ。このことは工業に投下されてゐる數十億數百億が利用されずにねかされてゐることを意味する——こゝに失業と恐慌との主要原因があるのだ。

改良主義者共は、ブルジョアジエの思想に曳きづられて、最大限の資本形成の必要に對する彼等の「科學的な」理由づけによつて、企業家の賃銀攻撃に理論上の是認を與へようと努めてゐる。彼等は恐慌を「資本形成の不充分」で説明することによつて、恐慌の眞實の原因——資本主義の非經濟性と資本主義社會における分配の矛盾だらけの特質——を陰蔽しようとしてゐる。プロレタリアは誰でも、恐慌と失業との原因は「べらぼうに高い賃銀」の中に求めらるべきではなくて、貧弱な賃銀と最近數年間における合理化の空前のテンポ及び労働の強度化——それらのために尨大な労働者軍が生産

から投げ出された——の中に求めらるべきであること、これに反して生産力——またそれによつて生産増大の可能性——が非常に増大したことを知らねばならない。プロレタリアは誰でも、生産装置が殆どすべての産業部門において（生産手段並に消費資料）六〇%までしか利用されないこと（景氣研究所報告）を知らねばならない。プロレタリアは誰でも、ドイツに計畫的な社會主義的經濟が樹立されるならば賃銀が著しく引上げられ、また労働時間が——少くとも七時間に（サヴェート聯邦におけるやうに）——短縮され得、そして失業がなくなることを知らねばならない。かくして經濟恐慌の克服はブルジョアジエの支配の體制に突きあたるのだ。この支配は階級闘争の途上において××××ねばならない。

サヴェート聯邦における七時間

労働日の成果

(一九三〇年七月・八月)

労働の生産性の増大——災害の減少

十時間労働日への移行の實現は、中央執行委員會の記念祝賀會議の決定によれば、「工場における新設備と合理化との経過及び労働の生産力の増大に應じて」遂行されねばならない。

サヴェート聯邦共産黨第十六回大會の決定によれば、工業と運輸業とにおける七時間労働日への完全なる移行は、五ヶ年計畫の最初の四年間に、すなはち確定された期間の一年前に終了してゐなければならぬ。

本年七月一日に百三十萬の労働者が七時間労働日を持つた。その中百三萬は工場労働者であつた。それは即ち最高國民經濟會議によつて豫定されてゐる工業の労働者總數の四〇・一%に當つてゐた(1)。

(1) 七時間労働日へ移されたものゝ數はこゝ及び以下においては下級官吏や使用人を除いて引用される。これらの下級官吏や使用人は工場労働者と同時に七時間労働日へ移されるのである。最高國民經濟會議の統制數字に對する百分率は、こゝ及び以下においては絶えず(季節的にではなく)運轉されてゐる企業に就業せる労働者の數について引用される。

一九二七—二八年に七時間労働日へ移されたのは殆ど専ら繊維工業ばかりであつた。

一九二八年十月に十三億二千の労働者が七時間労働日を持つた。一九二八—二九年末に、最高國民經濟會議によつて統制された調査工業では、四十萬三千七百人が七時間労働日を持つた(一九二八—二九年の統制數字によれば、労働者數の二二%)。他の經濟機關の工業と運輸業とにおいては、それは三萬六千三百人の労働者であつた。

七時間労働日施行計畫の豫定によれば、一九二八—二九經濟年度の終りには調査工業の労働者百九萬九千人(すなはち統制數字による労働者の五〇%)が、そして一九二九—三〇年の終りには總労働者數の八〇%が七時間労働日へ移されるはづである。一九三〇—三二年には七時間労働日への移行は、電氣工業と化學工業とにおいて、また農業機械製造工業において、完全に終了してしもふであらう。石油工業においては七時間労働日は總労働者數の九五%までに、冶金工業(黑色金屬)においては九〇%までに、また石炭工業においては八五%までに達するであらう。

運輸業においては、七時間労働日は一九二八—二九年には主要な修繕工場と水運業の經營においてのみ施行された。一九二九—三〇年の始まるとともに、七時間労働日への移行は鐵道においても開始された。

水運業における七時間労働日の實現は、追加交代就業労働時間の施行と結び付いてゐる諸困難に逢

着してゐる。七時間労働日は、試験的に、ヴォルガ航行や西北の國營船舶業において曳船人五人毎に施行された。

本年末には、鐵道運輸における七時間労働日は六鐵道線において實施されるであらう、すなはち十月鐵道、モスクワ—カザン鐵道線、白ロシア—バルチック鐵道、西南鐵道、ドネツ鐵道線、ムーロム鐵道線及び二十四鐵道仕事場及び工場において。

鐵道運輸において、七時間働いてゐる労働者と使用人との數は、この場合二十三萬二千人すなはち不斷に仕事をもつてゐる労働者總數の三二・三%を包括してゐる。七時間労働日施行計畫は一九三〇—三一年に對して、仕事場や工場の最終決定的な移行と十鐵道線（エカテリン鐵道、ヘルム鐵道、南部鐵道、北部鐵道、トランスコーカシア鐵道、モスクワ—クルスク鐵道、西部鐵道、リヤザン—ウラル鐵道、北コーカシア鐵道及びウスリー鐵道）の移行とを豫定してゐる。

一九三〇—三一年末には、鐵道運輸業で七時間労働してゐる労働者の總數は七七・三%に達するであらう。

昨年は、自治體經濟の企業と交通業の仕事場において七時間労働日への移行がはじまつた。一九三〇—三一年には、最高國民經濟會議に直屬してゐない諸工業において七時間労働日の全般的な移行がはじまる。

工業企業、運輸業及び交通業における七時間労働日への完全なる移行は一九三二—三三年には終了してしもふであらう。

サヴェート聯邦のプロレタリアートはこの任務の遂行を以て、社會主義經濟の生産力の發展の増大における巨大な進歩を記録しなければならないであらう。そしてこの基礎の上に立つて綱領から出て來るところのそれ以上の任務、すなはち労働日の六時間への短縮といふ任務を提起し得るのである。すでに今日、新聞では、不休労働時間を有する工場の七時間労働日への移行の問題が詳細に論じられつゝある(2)。

(2) 石炭工業では、労働者の四二%が六時間労働日で働いてゐる。從來八時間労働日を有した労働者も今や六時間労働日をうけてゐる。

七、時間労働日の施行による工業の活動

労働日短縮の目的は、組織的及び技術的方策の結果、達成された工業の發展能力の増大を廣汎な労働者大衆の活動化によつてより高い段階に引上げるべき刺戟を與へることにある。工業の前に立つてゐる任務は——合理化の進展と労働強度の増大とに應じて——生産量を減少せずまた労働者の所得を低下せずに勤勞者の労働時間を短縮することである。

さて、これらの任務はいかにして實現されるか？

吾々は今日、七時間労働日へ移つた工場が彼等に課せられた任務を大體において成し遂げたと充分な確信を以て言ひ得るのだ。七時間労働日の實際の實現は實質的な經濟的及び政治的結果を示してゐる、すなはち生産の増大、労働賃銀の引上げ、職業病の減少、新しい労働力の生産行程への編入と労働者階級の文化的水準をヨリ急速に向上させるための諸條件の形成がそれだ。建設に着手された社會主義經濟の條件下の合理化によつて伴はれる短縮労働日の施行は労働生産性の減退どころか増大を喚び起すといふ原則は、七時間労働日へ移つた工場の實際によつて證明される。一九二八—二九年に七時間労働日へ移つた諸種の産業部門の八十工場においては、労働者数は絶えず増加した。移る前には労働者数は十二萬二千二十五人であつたが、七時間労働日に移つてから三ヶ月間にそれは四千七百十人すなはち三・三％増加した。一年後には、七時間労働日を有する工場の労働者数は移行前の労働者数に比べて、二萬三千八百三十人すなはち一六・七％増加するであらう。

個々の労働者の生産力は、工場の七時間労働日への移行直後にもこの工場のその後の労働行程においても高まつてゐる。移行前における労働者一人の日生産を一〇〇％とすれば、それはすでに最初の三ヶ月間に四・五％増大してゐる。労働時間を短縮した結果、一年間に、この工場の生産は一三・四％増加した。

労働賃銀は、七時間労働日への移行後には、爾餘の指數と全く同様に、不斷の且つ體系的な増大を示してゐる。移行前の時期における労働賃銀を一〇〇％と假定すれば、それは三ヶ月間に一〇二・五％に達し、しかも一年後にはすでに前の労働賃銀の一〇七・〇％に達してゐる。

労働者数が増加し生産性が増大するに連れて、生産量もまた増加する。

金屬工業では、一九二八—二九年の上半期に七時間労働日へ移つた十工場の一グループにおいて一年間における労働者の増加は移行前の時期に比べて一五・七％に達してゐる。一九二九—三〇年の第二四半期には、右の諸工場における労働者の増加は十五ヶ月間にすでに一八・三％に達してゐる。すなはち就業労働者数は移行前の四萬三千二百人に對して五萬一千人になつた。

移行前の時期における労働生産性を一〇〇％とすれば、それは七時間の労働時間における最初の労働年度の中に一〇七・二％に、十八ヶ月後に、すなはち一九二九—三〇經濟年度の中葉までに一一六・一％に増大した。

労働賃銀も絶えず増加し、労働日が短縮された年には、七時間労働日へ移る前の労働賃銀水準の一〇六・三％に達した。十五ヶ月後には労働賃銀は一〇八・七％に達した。

一九二八—二九年初頭に七時間労働日へ移つた化學工業の十二企業は、四半期毎に、労働者数並に労働生産性及び労働賃銀の著しい且つ體系的な増大を示してゐる。十八ヶ月後、すなはち一九

一九二七—二八年中葉、こゝでは移行前の時期に比べて、労働者数は一四六・七%、労働生産性は一三二・二%、労働賃銀は一一九・四%に達した。

繊維工業は、その企業の七時間労働日への移行については、他の産業部門に比べてやゝ特殊な状態にある。

一九二七—二八年の上半期に七時間労働日に改変された木綿工場の最初のグループは、この改変に備へる餘裕をあまり持つてゐなかつた。それらの七時間労働日への移行は、こゝでは同時に第三の交代労働時間が施行されたから、その結果として多数の労働者をあらたに雇傭するにいたつた。このことが移行後の労働指数に影響を及ぼしたのだ。紡績業では、移行直後の時代に生産標準の或る低下が起つた。けれども織物業では、移行直後の時代には生産標準は安定したまゝであつた。生産の著しい増大は紡績業においても織物業においても九ヶ月後、すなはち一九二八—二九年の中葉以來漸くはじまつた。上述のグループにおける労働賃銀は間斷なく増加し、そして労働の生産性を凌駕した。一九二七—二八年及び一九二八—二九年に七時間労働日に改変された繊維工業の他のグループでは労働、生産性及び労働賃銀の指数は移行前よりもヨリ高い。しかも労働賃銀の増加が生産性の増大を凌駕してゐる。労働者数、生産性、労働賃銀及び生産高の増大はすべての爾餘の産業部門においても示されうるところである。

七時間労働日の施行による災害の減少

七時間労働日への移行と同時に、強度な保険方策と工業上の衛生方策とが施行された。七時間労働日への移行とともに實施される労働條件の救済手段と労働時間の短縮とは、その結果としてすべてのそれに概當せる産業部門における災害を減少せしめる。かくして、繊維工業においては一九二七—二八年及び一九二八—二九年には、労働日が短縮されたために災害件数が減少した。一九二七—二八年の第二四半期に七時間労働日に移り、少くとも百人の労働者を使用せる木綿工業の十八工場に關する報告は、一年三ヶ月間に災害件数が移行前の時期に比べて四・六%だけ減退したことを示してゐる。

災害の結果これらの工場に生じた損失は、同じ期間にそれに先立つ一年半に比べて二・二%減少した。その結果、非常に思はしからぬ事情——不熟練労働者の雇傭と充分な準備をせずに七時間労働日へ移つたこと——にも拘はらず、一年半のあひだに労働日の損失は六・五%の減少を示した。

一九二八—二九年に七時間労働日へ移り、そしてこの移り行きが普通第三の労働交代の施行によつて、従つて何らの新しい労働者の大衆的雇傭によつても伴はれなかつた木綿工業の諸工場に關する報告は、木綿企業の第一のグループにおけるよりもヨリよい様相を示してゐる。かくして、一九二八—二九年の第二四半期に一萬三千の労働者数とともに七時間労働日へ移つた工場のグループにおいては、

九ヶ月間に七時間労働時間施行の結果、移行前の九ヶ月間に比べて、災害が二四・二%減少すると同時に、労働不能期間は三四%短縮された。

一九二八—二九年並に一九二七—二八年に七時間労働日へ移つた羊毛工業の諸工場においては災害件数は移行前の時期に比べて一〇%乃至一五%減少したことが確められる。

職業災害の克服において最善の成果が挙げられたのは、化学工業の諸工場である。五千人の労働者を有するあるグループの工場においては、災害件数は九ヶ月間に七時間労働日施行の結果、それに先立つ九ヶ月間に比べて二七・六%低下した。「クラスヌイ・ツレウゴルニク」Krasny Trugolnikと「ボガティル」Bogatyrの兩護謨工場においては、災害は二九%減少した。

その他のヨリ小さな工業諸部門においても工場災害は多かれ少かれ非常な減少を示してゐる。

七時間労働日の施行による文化政治的活動

労働者階級の敵は七時間労働日の失敗を期待したが、七時間労働日施行の企圖は彼等の期待が徒勞に歸したことを示した。

サヴェート國家の諸事情の下における七時間労働日は、合理化方策の遂行を刺戟し、かくして社會主義的建設の遂行を刺戟し、そして經濟的意義以外にもなほ素晴らしい政治的意義を持つてゐる。それは、工場における労働時間の短縮によつて、また休息時間の延長によつて、労働者階級の文化的水準を向上せしめ、社會の社會主義的建設に労働者を大衆的に参加せしめるための諸条件をつくりだすのである。

労働者階級の總数の増加とプロレタリアートの文化的諸要求の増加とによつて伴はれた七時間労働日の施行は、文化施設や啓蒙施設の數と住宅建設の數との著しい増大を要求した。

七時間労働日の實際の遂行は、繊維工業の住宅建築のための著しい金額を要求した、なぜならば新しい労働交代の施行とともに住宅の缺乏が甚しく激化したら。一九二八—一九二九年度に工場における住宅建築費として決定された一千七百萬ルーブルの中、五百六十萬ルーブルは、繊維工業における住宅建築のために使用された。

一聯の諸工場においては、七時間労働日への移行と關聯して、炊事室や食堂、クラブ、外來患者治療室や「醫療所」が建築され、改築され、もしくは擴張された。かくしてベトロヴスキイ工場が七時間労働日へ移つた際には、同時に大炊事室が開かれた。この工場の労働者住宅の設備のために二十萬ルーブルが支出され、更に外來患者治療所が新設され、二つの「醫療所」、食堂その他が開設された。住宅の修繕は他の場處においても行はれた、例へばルーベレヅの農業機械製造工場、ヤロスラウ、コロムナ等々の諸工場において。

物質的狀態の改善と同時に進行はれる労働時間の短縮は、労働者大衆の文化的及び政治的水準を向上させるための有利な諸条件をつくりだす。

普通教育的な性質を持つてゐる仲間の講習は、技倆の向上に役立つ他の講習と共に、その活動の分野を擴大する。文盲はツァール・ロシアの遺産である。それ故、七時間労働日への移行とともに文盲退治のために大きな努力が傾注されるのは全く當然なことである。通信教育に参加せる労働者の、工場図書館で請求された書籍数は、絶えず増加してゐる。

けれども知識への飢餓は非常に大である結果、七時間労働日の工場における労働者の文化的教育のための活動は極めて不十分であると言はなければならない。

労働者はその文化的水準や技倆を高め、一般的な教育と技術的な知識とを獲得しようとして努力してゐるが、この努力における労働者の素晴らしい創意と活動性とは、「クラスノエ・スナミヤ」Krasnoje Sh-anija 繊維工場の實例によつて説明されるところだ。この工場には労働者大學と繊維工業學校とが存在し、婦人のための初等講習會と特殊講習會とが設けられてをり、従業員の七〇—八〇%と多數の農民や農村労働者がそれに参加してゐる。

労働時間の短縮は、労働者を産業と國家との實際の指導にヨリ大規模に引き寄せる可能性を開いてゐる。プロレタリアートの獨裁の諸条件の下では、労働者階級は最も好んで指導的なサヴェート活動

や經濟活動に参加せしめられる國民層である。彼等は、農業を社會主義の基礎の上に組織するために彼等の最良の代表者を村落へおくるのである。彼等の代表者は、知識の武器で武装し、新しいエネルギーを以て、工業と農業との改造を社會主義的基礎の上に續行するために、より高度な技術學校に通學するのである。労働者の文化的水準と職業的技倆の向上とは今日特に大きな意義を持つてゐる。

共産黨中央委員會は、文盲の完全なる絶滅、大衆的教育制度による労働者の一般的把握、諸種の學校や講習會の形態における補習教育や通信教育を行ふべき任務を労働者大學等に課したのであつた。不休労働週への移りゆきと關聯せる度々の休養と、労働時間の短縮とはこの任務の解決を容易ならしめてゐる。

労働者階級の一般的な水準の向上は疑ひもなく生産性のヨリ以上の増大によつて伴はれ、そして六時間労働日への移りゆきを促進するであらう。

サヴェエト聯邦における失業の絶滅

(一九三〇年九月・十月)

サヴェエト聯邦の労働者階級は年毎に、月毎に、この國の經濟生活のあらゆる分野において新しい成功を収めつゝある。サヴェエト政權の不倶戴天の敵もしくは絶望的な日和見主義者だけがサヴェエト聯邦存続の十三年間において労働者がどんな素晴らしい成功を収めたかを見ないのだ。いや一層嚴格に言へば、見ることを欲しないのだ。

社會主義的工業化の強大な普及、集團化を基礎とする農業の生産力の伸展、新しい社會主義的な土臺の上における全國民經濟の再建、労働者階級の勢力の固定と勤勞者の物質的状態の改善、賃銀の絶え間なき増加——以上が、現在サヴェエト聯邦の極悪の敵すらも、もはや否認することができないところの事實なのだ。

一九二九—三〇年における全工業の生産の増加は二五%、そして重工業の増加は四〇%、播種の増加は——七百四十萬ヘクタール、諸種の地方において集團經營へ移つた貧農及び中農の經營數の増加は四〇%以上——以上が一九三〇年だけについて見たサヴェエト聯邦の成功の主要な數字である。

經濟恐慌によつて腐蝕されつゝある資本主義諸國では、數十數百の工場や經營が休止され、労働者の状態が劣悪となり、失業軍が増大し、そして階級對立が絶えず激化しつゝあるのに、——わがサヴェエト聯邦においては社會主義の組織的な前進、資本主義の殘滓の根絶が見られる。新しい工場や經營が建設され、階級としての富農層が完全な集團農場經營化に基いて根絶され、労働者階級の状态は改善され、そして失業は完全に除去された。

二つの數字を——外國における二千萬以上の失業者の現存とサヴェエト聯邦における失業の完全なる根絶とを——比較しさえすれば、はじめてサヴェエト聯邦の全き強さと力が分るのである。この唯一つの事實が×××××として資本主義經濟の内的諸矛盾が解決され得ないことを力説してゐるのだ。

サヴェエト聯邦における失業の根絶の主要原因は何か？ 最も本質的な原因はわが國經濟の發展の空前に急速なテンポである。すなはち先づ第一に社會主義的工業の發展である。わが國の社會主義的工業化は、すべての自由な、生産に使用されてゐない労働力を吸収したばかりではなく、それはなほわが國の經濟、特に工業が當面してゐる主要任務を保證しそして生産綱領——五ヶ年計畫を四ヶ年で——を實行するためには無條件に一九三一年中に準備されねばならない一、百萬以上の廣大な熟練労働者を要求してゐる。

サヴェート聯邦では昨年すでに、労働力の缺乏が認められた。職業紹介所は一九二八—一九二九年にサヴェート聯邦の全工場の労働力に對する要求を、平均して僅かに二八・二%しか叶へることができなかつた。昨年すでに、工場は毎日のやうに、彼等が労働力が缺乏せるために生産計畫と財政計畫とを實行し得ない危険を受けてゐると訴へた。工場の要求毎百人に對し、職業紹介所は平均三十人しか送ることができなかつた。同時に、労働人民委員會が報告してゐるやうに、數十萬の「失業者」が職業紹介所に登録されてをり、そして補助金やその他すべての失業者の特權を享受してゐた（彼等は家賃を少しも支拂ふを要しなかつた等々）。

労働市場に對する需要は一九三〇年のはじめにはすでに供給よりも遙かに大であつた。従つて實際本年のはじめにはすでに、職業紹介所が百萬に近い「失業者」を登録してゐるにも拘はず、サヴェート聯邦には少しの失業もはや存在してゐなかつた。吾々は、正確に考へれば勿論、労働力の供給と需要との間の差を本來の意味における失業と觀なければならぬのだ。

一九二八—二九經濟年度には、サヴェート聯邦における失業者数は百七十四萬人を數へたけれどもこの數は一九三〇年九月には六十萬人に減少した。同時に、サヴェート工場の需要は一九二八—二九年にはもはや七一・八%まで乃至は本年には四二・七%まで充たされ得なかつた。現在、工場における労働力の缺乏は五十萬人に達してゐる。

資本主義諸國における狀勢はそれとは全く異なる。ドイツでは一九三〇年九月に、要求毎百人に對して、失業者の供給は一千八十一人に達した。そこで、職業紹介所は労働力に對する需要を殆ど残すところなく、すなはち九五%まで充たすことができた。けれどもまだ三百六萬七千人の登録失業者が残つてをり、彼等は何らかの仕事を見出す見込みを全然持つてゐない。

一九三〇年には職業紹介所で清掃運動が行はれ、それは労働者に敵對せる分子（以前の王侯、將軍等々）の分離にまでなつた。彼等は失業者としては厄介者に外ならず、不正手段で失業補助金を享受するために虚言と欺瞞とを弄して職業紹介所の登録を詐取した連中である。

労働人民委員會の新指導部は、一方では労働力の缺乏と他方では失業者數に關する統計數字との間の矛盾を追究し、そして職業紹介所がどうして時もあらうに國民經濟が労働委員會の報告によれば五十萬人の労働者不足を告げてゐるときに六十萬人の失業者を抱えてゐるかを確めるために、職業紹介所の調査を企てた。調査の結果、公表された「失業者」の數字が非常に官僚的な方法で作成され、實際の事情が決して表現されなかつたことが分つた。第一に、これらの數字は職場の轉換すなはち労働者の或る工場から他の工場への移動の表現であつた。最近數年間には、かやうな職場の轉換は特に甚しかつた。そして職業紹介所の統計は大部分これらの轉換を反映してゐるのであつて、斷じて實際の失業を反映してゐるのではない。第二に、調査の結果、總失業者の半數以上が一般に雇傭を頼りにし

てゐなかつたことが判明した。彼等は職業紹介所に通知せずに長いあいだ仕事を持ち、その結果彼等は相變らず職業紹介所に登録されてゐたのか、もしくは彼等はいつもくゝあらゆる申込を拒否してゐたのか、その何れかであつた。例へば、モスクワでは、調査期間中の「失業者」八千人の半数以上が一般に出頭しなかつたのだ。請求に應じたものの中、七百五十人の男子は申込みの仕事に絶對的に拒否し、他のものは直ちに工場に送られた。モスクワのクラスナヤ・ペレスニヤ地區では「失業せる」補助金受領者五百四十八人の中、三百四十九人はあらゆる仕事を絶對に拒み、他のものは全部仕事を世話された。サヴェート聯邦の他の諸都市でも、多少の例外はあるが同じことが起つた。

この調査の結果、サヴェート聯邦には實際には、失業者が少しも現存しないこと、働く意志を持つてゐるすべての登録「失業者」は直ちに仕事をうけるか乃至は労働者が非常に缺乏してゐる他の職業のために教育され得ることが分つた。

この調査に基いて、労働人民委員會は、失業者補助金が今後中止され、職業紹介所によつて提議された仕事の引受けを拒むものは名簿から削除されるといふ指令を發布した。職業紹介所の機能は今後たゞ労働力の養成と計畫的な分配との方面にのみ置かれるにすぎない。この指令に従つて、労働しようとする意志のあるものはすべて工場に送られ乃至は學校の講習會や教育講習會に送られた。この指令は全ブルジョア新聞及び全ファシスト新聞に、あらゆる論調でサヴェート聯邦における「強制労働」を罵倒し、誹謗の潮流に門戸を開くためのこの上もなく好都合な機縁であつた。

ファシストの新聞や社會ファシストの新聞は、この決定を、サヴェート聯邦では熟練労働者が不熟練労働をなすことを餘儀なくされてゐるといふ意味に解釋してゐる、なぜかといふに職業紹介所は彼等に不熟練労働を紹介しうるからだといふのだ。これは言ふまでもなく全然誤謬である。第一に、サヴェート聯邦には失業せる熟練労働者は一人もゐないのだ。反對に、一般に熟練労働者が甚しく缺乏してゐる。従つて、熟練労働者が不熟練労働へ送られないばかりではなく、反對に數十萬の不熟練労働者が技倆を獲得するために講習會へ送られてゐるのだ。

第二に、職業紹介所の名簿からの削除は斷じて労働權の剝奪だとは解釋されない。職業紹介所による雇傭は強制的なものではない。労働者は職業紹介所によらずに仕事を探すことも出来れば、雇はれることもできるのだ。職業紹介所が充分に労働力を仲介し得ない時代には、かやうな求職者にはそれは全く可なり容易にできることなのだ。労働人民委員同志チツホン Zichon はこれについて、新聞代表者の集りの前で次のやうに聲明した、「わが國には強制労働が存在するといふ反革命者の主張は全く笑ふべきものだ。この主張が斷じて實際に一致してゐないことは言ふまでもないのだ。わが國には自由な労働者が生活してゐるのだ。何人もわが國では労働を強制されはしないのだ。反革命的諸新聞は失業者補助金の中止が社會保險局の財政的困難に基くものだと主張してゐる。これも同様に虚構にす

ぎない。一九三〇年の社會保險豫算は、一九二九—一九三〇年度の豫算よりも六十萬ルーブルだけ多くなるであらう」と。

工場から離れる労働者に急速に仕事を紹介するためあらゆる方策がとられたにも拘はらず、サヴェート聯邦では、労働力一般、殊に熟練労働者の極めて甚しい缺乏が認められる。一九三一年度には國民經濟は二百萬の新しい労働者を必要としてゐる。その中百三十萬は熟練労働者なのだ。労働者階級が社會主義的建設の分野で當面してゐる任務は、一九三〇年九月三日のサヴェート聯邦共產黨中央委員會の檄によつて次の如く公式化された、「五ヶ年計畫の第三年はサヴェート聯邦の工業化の分野における廣汎な巨人的進歩を意味する。一九三〇—一九三一年における生産の増大は、戦前時代の總工業生産高と同じ大いさであらう。五ヶ年計畫の第三年度には、スターリングラードのトラクター工場、完成及び開業と同時に、ロストフ等における農業機械製作工場と同時に、一年間に二億ルーブル以上が投資されたマグニストストロイ Magnistostroi、クズネツコストロイ Kuznezkostroi、ニジノヴゴロドの自動車工場、ハルコフ及びチェリヤビンスクのトラクター工場、ウラルの大機械工場、第一位の大化學コンビナート等々の如き巨大建設工事の完全な發展が保證されねばならない。この國が從來冶金學及び機械製作の分野において持つてゐた一切のものを、その規模から言つてもその作業能力から見ても顔色なからしめるこれらの諸工場の作業は五ヶ年計畫の第三年度に開始されなければならぬ。

なほその上に、來年度にはニジニ・タギルスク Nizhni Tagisk やウリポリル Maupol の冶金工場、堂々たる最大の新工場が所屬するドニエブルーコムビナートの如き工場の建設がはじまる。一九三〇—三一年には、吾々は、第十六回黨大會の、サヴェート聯邦における新しい石炭—及び冶金中心地の建設に關する指令を實行し、ウラル—クズネツク—コムビナートを建設して最初の大成果を達成しなければならぬ。

本年度の計畫に對しては、次の數字が標準的である、すなはち鑄鐵七百五十萬噸、石炭七千四百五十萬噸、新機械二十五億ルーブル、その外農業機械八億四千五百萬ルーブル及び新トラクター總計七十四萬五千馬力。

重工業の發展と農業的原料中心地の建設（耕作面積の擴大、木綿—及び甜菜收穫高の増大、爾餘の技術的耕作の收益の増大）とにおける從來の成功は、前の數年間におけるよりも遙かに大なる輕工業の發展を保證してゐる」と。

こゝに問題が持ち上つて來る。すなはち、労働人民委員會の機關は、もしも失業者が一人もなく、労働力の恐しい缺乏が擴がつてゐるとすれば、これらの大きな社會主義的計畫を遂行するための労働力をどこで募集したらいいのか？ 或る人々は、國內の源泉はすでに底までとりつくされてゐるの

サヴェート聯邦における失業の絶滅

だ。が、このことは外國からの労働者の大規模な輸入の道が切り開かれなければならないといふことだけを意味するものだといふ意見に傾いてゐる。この問題の提起は誤つてゐる、なぜならばそれはサヴェート聯邦の經濟を全然誤認してゐるからだ。

サヴェート聯邦における労働力は次の諸源泉から獲得される。すなはち、(一) 農業(第一に社會化された扇形)は集團化を基礎とし、労働を節約する農業機械を使用する結果、年々労働力を解除しつつあるが、これらがわが國の工業にとつて必要とされる労働力を供給するであらう、(二) 婦人労働、(三) 青年、老年労働者及び勞務不能者の労働。最後に、労働力は、職場が不足であつたかぎりにおいて最後になつて漸く仕事を紹介されたか又は全然職業を仲介されなかつた人口中のグループにおいても獲られるのだ。吾々は次の諸範疇の労働の使用を考へてゐるのだ、すなはち(イ) 何ら労働組合員ではない労働者や使用人の家族員(例へば妻)、(ロ) 労働者家族や使用人家族の青年、彼等がたとひ特殊な教育を持たず、また賃労働をしたことがない場合でも、(ハ) 前に賃労働をなしたことのある小營業—協同組合の組合員と、獨立の小營業者達の、労働能力ある年齢の子供、(ニ) 労働組合に屬してゐない農村労働者、貧農及び集團經營の労働者。

任務は、これら總ての豫備軍を最大限に利用し、そこから必要な労働者数を動員することを實際に理解し、これらのものを工場學校、大衆的職業學校及び熟練労働者のその他の諸準備を形態によつて

用意し熟練労働者化することにある。

工業の労働力に對する需要の充足を著しい程度において保證するところの非常に重要な一任務は、労働力の移動に對する闘争のための方策である。國民産業の全部門における労働力の移動は許し難いほど高い程度に達してゐる。移動の主要原因はサヴェート聯邦における階級闘争の激化にあり、全戦線にわたる社會主義的攻撃の展開と結びついてゐる。労働者の最も重要な大衆が活潑に社會主義的競争と突撃隊とに参加し、生産熱の輝ける實例を與へ、労働生産性を高め、そして労働規律を強化しつつあるのに、労働者階級のおくれた層、特に村落と結びつき、工場内に多くの個人的な所有—氣分をもち込み、致富傾向を示してゐる層は、たえず工場から工場へと移動してゐる。彼等を移住させる動機は、個々の産業部門、業態、労働者グループの賃銀が多種多様であつたことに存した。前の中央労働組合評議會指導部と前の労働人民委員會指導部とは、この賃銀の多種多様を許容したのであつた。最後に、移動が激しくなつた第三の理由は、労働力の誤れる使用に、ヨリ高い技術への前進が弱かつたことに、多くの個處で住宅關係や生計事情、就中生産事情が不満足であつたことに求められねばならない。それ故、サヴェート聯邦労働人民委員會もまたその方策を先づ第一に、社會的に無關係な、偶然生産の中に入つて來た分子の隔離に向けられ、各労働者の彼の労働に對してのみならず工場全體の労働に對する責任感の向上に向けられてゐるのだ。それはまた労働規律を強化するための政策を遂

行してゐるのだ。掠奪者—氣分に對する闘争、「遊撃」勞働力と勞働逃亡兵とに對する闘争が強められ、あらゆる方法を盡して五ヶ年計畫終了までの工場内における自己の希望に對する勞働者の契約的義務の思想が獎勵され、立派な生産勞働者として頭角を現はした最も進歩せる突撃隊参加者を技術學校やその他の高等學校へ派遣することによつて幹部團の増大が準備されつゝある。二ヶ年以上に一ヶ處で働く勞働者には優先權が與へられ、勞働者の住宅状態や生計状態並に勞働者の保護、給養等が改善されつゝある。これらの勞働者は休養所における坐席要求權を第一番に持つてゐる。第二に、經濟組織と勞働局との間の契約制度が施行されてゐる。勞働局は、所與の工場にとつて必要な勞働者數、必要な専門家及びその準備期限を決定するものである。また、住宅状態や生活状態も調節されてゐる。第三に何れかの産業部門が國民經濟總體にとつて有する重要性に應じて、賃銀の相違を除去するための決定的な改良が行はれる。

一九三一年は、社會主義的建設の確立の一年たるに止まらず、またそのテンボの強化の一年となるであらう。それはわが國の經濟總體のための、そしてまづ第一には最重要な經濟部門——冶金、化學、石炭、建築等々のための、勞働力のなほ一層大なる計畫的な募集活動の一年、その勞働力の準備と分配との一年となるであらう。

勞働機關の、特に社會保險の方策は、主として主要問題——幹部團問題——の解決に向けられてゐる。

る。勞働者幹部團の準備と熟練化のための支出は約二倍半増加されて、その額は一億ルーブルに達した。豫防施設の設立と組織化のためには、六千四百二十萬ルーブル、勞働者住宅建築のためには二億四千三百萬ルーブル、被保險者の醫療のためには四億九千萬ルーブルが支出された。今度はじめてこれらの基金の中の著大な額が幼稚園、託兒所、幼兒給養等々のために準備されてゐるのだ。

最後になほ重要な一條件を指摘しなければならぬ。この條件は、わが國工業のための幹部團の熟練化と分配といふサヴェート政府當面の任務の實現を保証してゐるものなのだ。この條件は、生産を基準として勞働局と職業紹介所との全活動を根柢から改變することを意味するのだ。機械的に僞—失業者を登録してこれらの「失業者」に二三千萬ルーブルの失業補助金を支拂ふ代りに、勞働局はサヴェート・ロシアの全公衆とよもに、百三十萬の新しい熟練勞働者を工業に提供し、三百萬以上の季節、建築勞働者を募集し準備する義務があるのだ。一九二九年には國民經濟の恒久的諸部門において賃銀勞働で雇傭された人數は一千七十七萬四千二人であり、一九三〇年にはそれは一千二百十九萬四千二人であつたが、暫定的な報告によれば、それは一千四百十九萬四千二人に達するであらう、すなはち一九三〇年に比べて一一六・二%となるであらう。

勞働機關の全活動はこの任務の實行に従屬させられねばならない。なぜかといふのに、五ヶ年計畫の實現と國民經濟の發展とはかゝつてこの幹部團問題のボルシェヴィキ的な解決にあるのだから。

以上述べたすべてのことから、失業問題はサヴェート聯邦には現今存在してゐないことは明白だ。一般に労働力が缺乏してゐるのだ、たゞに熟練労働者ばかりではなくして、不熟練労働者も。サヴェート聯邦における社會主義的經濟の建設の規模は一九二九—三〇年に二百萬の賃銀労働者の参加を要求した。すぐ次の經濟年度には、それよりも少くない新しい労働者數が必要とされるであらう。

サヴェート聯邦における状態と、深刻な經濟恐慌に見舞はれてをり、また二千五百萬の失業者を抱えてゐる資本主義諸國における状態とを比較すれば、サヴェート經濟制度の資本主義經濟に對する優越がハッキリ分るのだ。

植民地諸國及び半植民地諸國における プロレタリアートの状態〔資料〕——プ ロフィンタン第五回大會の代議員の描 寫によつて觀たる（一九三〇年九・十月）

プロフィンタン第五回大會の代議員五百三十八名の中、四百五十三名乃至は八四・二%は工場からの労働者であつた。その中には、植民地諸國と半植民地諸國とのプロレタリアートの代表者も入つてゐた。労働者運動、ストライキ闘争等に關する演説には、プロレタリアートの状態を強い光のやうに照明せる描寫が含まれてゐた。工場から送られた労働者であり、プロレタリアートの息子である彼等は、資本主義的搾取の恐怖を見聞からではなくして、この搾取の犠牲者としての自分の經驗から描寫したのであつた。

こゝではたゞ個々のモーメントだけが問題であるにすぎないことを前置きしておく。で、その演説を再掲するに當つて、吾々は決して帝國主義によつて搾取された國々における労働者階級の状態の完全な特徴付けを要求するものではない。

植民地諸國と半植民地諸國とからの代議員達の報告を聞かう。そのプロレタリアートと彼等の状態とについては、普通非常に乏しいバラ／＼の報告しか得られないのだ。

ラティン・アメリカから始めよう――

ブラジル。珈琲市場における價格激落は――珈琲栽培はブラジルの最も重要な國民經濟部門である――珈琲栽培地の農村労働者を特に激しく苦境に引摺り込んだ。八〇%が解雇され、残つたものゝ賃銀は四〇%乃至五〇%引下げられた。ブラジル代表は次のやうに語つてゐる、「ブラジルの最も富んだ州であるサン・パウロ州の國道を、無数の労働者が流浪してゐる。彼等は、仕事を求めて、この國の最も僻遠の地方にまでも徒歩で遍歴してゆく。多くのものが疲労と飢餓のために死ぬるが、しかも何處にも救済はないのだ」と。

織維工業では――この工業がそこでは一番よく發達してゐる――多數の工場が閉鎖された。残りの工場も一週に三日間しか作業してゐない。約二十萬の労働者が失業してゐる。失業者は少しの救済も受けてゐない。工業労働者の賃銀は平均三五%低下した。二三の工場では賃銀低下は五〇%までに達してゐる。

労働者は普通郊外に住んでをり、そして職場に達するには時間を要するし、もしくは彼等の賃銀の著しい部分を工場への日々の往復に支出しなければならぬ。彼等の住居は板張りの小屋又はブリキでつくつた貧弱な小屋である。かやうな「住居」で、屢々二人以上の家族が暮してゐるのだ。食事は朝早くつくられて、携帯されるのだ。肌衣も靴も持たない労働者に出くわすことは珍しくない。

工業における労働日の長さは九時間乃至十一時間である。農業では、労働日は日の出から日没までである。社會立法は有名無實に止まつてをり、そして農村労働者はこの法律から一般に除外されてゐる。

キューバでは、農村労働者は最近の甘蔗收穫に際して、他の國々におけるよりも五〇%少い賃銀をうけ取つた。すなはち、キューバの労働者階級の最大部分を占める季節労働者の平均賃銀額は、日々八十セントである（キューバにおける既婚労働者一人の最低生活費は週十五弗と見積られる）。この貧弱な賃銀さへも、労働者は僅か四ヶ月間しか受け取らなかつたのだ。これらの諸事情はサン・ドミンゴ、ポルトリコ等の如き爾餘の産糖地方にとつても典型的なのだ。一萬五千の労働者が働いてゐるキューバのバナナ栽培地では、賃銀は公然と二五%だけ引き下げられた。

グワテマラでは、人口の八〇%を占めるインディアンが全く貧弱な食物の外にうけるところの平均賃銀額は、十二時間乃至十六時間の一労働日において二・二五乃至四アメリカカ弗である。

パラグワイにおける労働者状態は堪え難いほど劣悪である。賃銀が極めて低劣であるのに、生計費は日々騰貴してゐる。その結果、所得は労働者の最も端初的な要求を充たすにも足らないのだ。栽培

植民地・半植民地におけるプロレタリアートの状態

地では、労働者は最も悪質な搾取に委ねられてをり、そして奴隷のやうな待遇をうけてゐるのだ。逃亡を企てた場合には彼等は追跡され、暴力的に栽培地へ送りかへされるのだ。

ウルグワイでは、熟練労働者の日給は二・二〇乃至二・八〇アメリカ弗であり、不熟練労働者のそれは一・二〇乃至一・八〇弗であり、そして黒人労働者のそれは一乃至一・四〇弗である。婦人や青年の収入はもつと少い（しかるに最低生活費は、官廳報告によれば月五十五弗二五乃至は労働組合の決定によれば七十弗である）。労働者は極めて劣悪な諸事情の下で生活してゐるのだ。四五人の男が四平方メートルの一室に住居してゐる。生産の機械化、合理化及びいはゆる標準化の結果、失業は日一日と増加してゐる。ウルグワイには現在二萬五千以上の失業者がある。社會保険は有名無實の状態にある。この分野で現存してゐる僅かばかりの法律は稀にしか適用されてゐないのだ。或る産業部門ではすべての労働者は、この法律に基いて、彼の賃銀の五乃至八%を養老保険のために納付する義務を負はされてゐる。けれども彼は決して年金を享受することはできない。災害法も全く同様に嚴守されないのだ。

ファイリツピンでは、耕地の最大部分は外國人のものであつて、農民は僅かに猫の額ほどの過小農地をもつてゐるか又は一般に全然自分の土地を持つてゐないか、その何れかだ。彼等は、小作人として地主に收穫の半分を、いな彼等が農業器具を利用する場合には三分ノ二さへも提供しなければならぬ。

い。官廳統計は二百三十萬の農村労働者を數へてゐる。彼等の日給は三十五セントタヴオと八十五セントタヴオとの間を上下してゐる。支那や國內の高利貸は無産農民に金を貸與し、そして收穫物を非常に安い價格で販賣するといふ契約を彼等と結ぶのだ。妻子のある數千の農民は奴隷生活を送つてをり、そして彼等の生活状態は堪え難いほど劣悪である。

賃銀は一〇%乃至二〇%低減され、そして屢々なほ一層深く低下された。これに反し、労働日は延長されたのだ。マニラの船荷積人足の収入は、十八時間乃至二十時間の一労働日で一・五〇ペンス乃至一・七五ペンスである。しかるに、労働者は家族を維持するためには、少くとも一日七十ペンス乃至百ペンスを支出しなければならない。従つて、妻や子供も共稼ぎせざる得ないのだ。

印度支那では、帝國主義者共は莫大な利潤を收めてゐる。労働者はそこでは半奴隷でつて、多數の州では人口の六〇%乃至七〇%は自分のために仕事しうる時間はせいふく一食事時間位のものだ。栽培地における彼等の収入は十三時間の労働日で四十ソウスである。休日は全くない。死亡數字はそこでは五〇%に、いな護謨栽培地では六〇%乃至七〇%にさへ達してゐる。工場労働者も同様に極めて劣悪な状態の下で生活してをり、そして多數の災害が起つてゐる。災害の結果死亡したときには、遺族は補償として總計僅かに十五ピアスター乃至二十ピアスターを受けるにすぎない。補助労働者の日給は四十ソウス、婦人は二十五ソウス、子供は十五ソウスだ。現行懲罰制度の結果賃銀が著しく減ぜ

植民地・半植民地におけるプロレタリアートの状態

られると断定されるのだ。例へば或る労働者が一日工場に出勤しなかつたとすれば、罰金額は日給の二倍に達するのである。

1100

世界経済恐慌の結果、印度支那のプロレタリアートの状態はなほ一層悪くなるばかりであつた。賃銀低下と労働日の延長が日程に上つてゐる。男子は給料の悪い婦人や子供によつて代置されつゝある。失業は増大しつゝある。印度支那の全労働者の五分の一が現在失業してゐるのだ。

朝鮮では、賃銀は十二時間の労働日で四十錢乃至六十錢よりも高くない。労働日は最近半時間乃至一時間半延長された。諸種の天引きや罰金のためにこの貧弱な賃銀も著しく引き下げられるのだ。特に堪え難いのは労働婦人の生活だ。彼女等は男子と同一の労働をしながら月僅かに三圓か四圓しか受けてゐないのだ。彼女等は、その上、劣悪な待遇、嘲弄及び屢々親方や監督の慘酷極まる虐待の犠牲者である。子供は毎日十二時間労働してをり、夜業にも使用されてゐる。朝鮮には、労働立法の痕跡さへもないのだ。最近、××××××××朝鮮のプロレタリアートの労働状態に對する彼等の戦役を激化した。その結果は、すなはち賃銀低下、失業の増大、プロレタリア大衆の飢餓生活だ。面白いことには、日本人労働者の賃銀が朝鮮人の賃銀に比べて二倍乃至三倍高いのだ。

支那からの一代議員は、支那における坑夫生活の極めて恐ろしいものであることを報告した。かやうな労働に對する日給は、ドイツの貨幣に換算して八十ペンニツヒ乃至一マルクである。賃銀が非常に低劣である結果、労働者は三交代労働時間を継続的に、すなはち三十時間乃至三十三時間をぶつ通しに、石炭の前に立つことを餘儀なくされてゐるのだ。労働状態が戦慄すべきものである結果、屢々一寸負傷しても死んでもふほどである。鑛山にはどこでも巨大な共同墓地があつて、そこに労働者が埋葬されるのだ。樁事のために非業の死をとげた労働者の遺族は四十弗の代償金を受ける——これは牝牛一頭もしくは馬一頭の價格の四分の一だ。帝國主義の植民地におけるプロレタリアの生命は非常に安い。

社會經濟評論 第四輯

ベルリンの金屬労働者罷業

—プロフインタン第五回大會の

戦術に照して見たる—

(一九三〇年十一月・十二月)

エフ・エムメリツヒ

プロフインタン第五回大會は階級闘争の激化を合圖した。この合圖は階級闘争の發展によつて餘すところなくその證明を受けた。第五回世界大會以來、經濟的及び政治的危機のテンボは、特にヤング—案ドイツにおいて、極度に増大した。ヤング—案共和國における恐慌要因の成熟、激烈な販賣恐慌、賃銀に對する資本主義的攻勢、失業者軍の約四百萬への膨脹は、改めて革命的労働組合反對派がヤング—案の承認前になした分析の正しさを證明し、そしてドイツ社會民主黨の政策と社會ファシスト的労働組合機關の政策との破綻を全く明瞭に示してゐる。社會ファシスト共はヤング—案の承認を資本主義世界に均衡を復活すべき一成功であると賞讃した。だが、ヤング—案の結果こそ正にアムステルダム派の戰略家共を粉碎する底のものなのだ。プロレタリアートをして絶えず益々ハツキリと識別せ

しめ、彼等の状態を絶えず益々劣悪化せしめつゝある資本主義制度のあらゆる諸矛盾の激化は、ヤング―案承認時數百萬の労働者が持つてゐた改良主義的諸幻想を破壊した。アムステルダム派の政治的大詐欺師の諸理論は正に彼等の『民主主義的母國』ドイツにおいて類例のない破産を経験しつゝある。職業的社會ファシスト的労働者欺瞞者に特有なあらゆる手段を竭して、彼等は彼等の破産を隠蔽しようとかゝつてゐる。労働者は急進化しつゝある。彼等は資本攻勢に向つて攻勢的に闘争しようとして欲してゐる。労働者を欺く徒がその破産を隠蔽しようとするのは、これらの労働者に對する彼等の勢力を失ふまいとする魂膽からなのだ。

ベルリンの金屬労働者ストライキはアムステルダム派労働組合官僚の機動力の範例である。けれども、このストライキは同時に、階級闘争が尖鋭化するにつれて社會ファシスト的労働組合機關が絶えず益々巧妙に且つ計画的に資本主義國家を維持するために盡力しつゝあることを示してゐる。

『改良主義的労働組合機關はストライキ破りの中心組織へと發展しつゝある。このことはストライキ運動の絞殺を目的とする複雑な老獪な一組織にあらはれてゐる。』

これは第五回大會によつて作成されたテーゼだ。ベルリンの金屬労働者のストライキはこのテーゼが正しいことを證明した。闘争そのものは革命的労働組合反対派によつて、プロフィンタン第四回大會及び第五回大會の諸決定を基礎として、準備され、遂行された。その際、反動的労働組合機關のストライキ破りが甚しくなることが顧慮されてゐた。このストライキは、政治的に見れば、ドイツ一般では最近數年間における最も重大な闘争の一つであつた。このストライキの教訓は、甚だ多種多様である。で、プロフィンタンのすべての支部はこのストライキにおける經驗總體を、闘争形態と闘争方法とを注意深く研究しなければならない。それは反動的労働組合機關に抗して反動的労働組合官僚の勢力下になほ立つてゐる労働者を獲得するための闘争を遂行し、そして切迫しつゝある階級闘争において指導を有効に掌握しうるがためにである。

この闘争の政治的意義

その數十三萬に達する金屬労働者のこのストライキはその勃發の最初の日から明確な政治的性質を帯びてゐた。ブリュニン政府の賃銀切下げ綱領はドイツ労働者階級の最も強大な一部隊であるベルリンの金屬労働者に對して先づ第一に遂行されるはずであつた。ドイツ・プロレタリアートの前衛の壊滅が先づ以て劃策されたのは、ベルリンの金屬労働者が一敗地にまみれた以上賃下げ反對のストライキによつて防衛したつて何の役にも立たないといふ氣運を、ドイツの労働者階級の内部に醸成せしめようといふ魂膽からであつたのだ。『三角同盟』Dreibund はありとあらゆる方法を竭して、労働組合官僚との祕密交渉の道によつて、また仲裁々判所によつて賃銀掠奪を行はうと試みた。經濟恐慌

と大衆的失業とのために、ブルジョアジーは經濟平和を危くすることなしに彼等の目的を達することが出来ると思つてゐた。けれども、ベルリンの金屬労働者は闘争の承認によつて企業家と彼等の社會ファシスト的協働者との企圖を徹底的に粉碎した。ベルリンにおける十三萬の金屬労働者のストライキは階級闘争の巨大な激化と労働者の急進化との證明であり、そして同時に、反動的労働組合官僚と結ぶるブルジョアジーのあらゆるマヌーバにも拘はらず、労働者大衆が積極的に攻勢的に資本攻勢に反対する闘争を引受ける意志を持つてゐることを示すものである。恐慌が成長し大衆的失業が増大しつゝある場合には經濟闘争は不可能であるといふ、革命的労働組合運動の列中にも支持者を持つてゐる改良主義的理論は、労働者によつて一致採用されたストライキによつて、最終決定的に駁撃された。ベルリンには五十萬——その中約十萬は金屬労働者である——の失業プロレタリアが現存してゐるのに、十三萬五千の労働者はブリュニング政府の飢餓綱領に、企業家の破廉恥な賃銀掠奪命令にストライキを以て答へたのだ。七年間の長きに亘つて闘争一行はなかつたベルリンの金屬労働者のこのストライキは、プロレタリアートの闘争の今後の發展にとつて甚大な意義を持つてゐる。企業家と、労働者の列中にある彼等の社會ファシスト的及びキリスト教的代理人とは、彼等が目指したことは反対の結果を得たのであつた。

労働階級はこの闘争の経過の中に、國家、企業家階級及び労働組合官僚が完全に三位一體であること、資本主義に新しい息抜き時間と與へるために恐慌の負擔が残らず労働者に轉嫁されることを見て取つたのであつた。この闘争は、資本主義經濟の状態を顧慮せず労働者の利益のために闘争を組織し指導しうる労働組合的勢力はたつた一つしかないこと、即ちかかる勢力は革命的労働組合反対派のみであることを示した。資本攻勢に奉仕せる反動的労働組合機關の切迫せる闘争における役割が非常にハッキリとドイツ労働者階級の眼前に現はれたといふ事實は、革命的労働組合反対派が差迫れる經濟闘争をヨリ計画的に組織し指導するならば、反動的労働組合は決定的な政治的組織的敗北を喫せざるを得ず、また改良主義系労働者は革命的労働組合運動のために獲得され得ることの保證を與へるものである。

準備期における二三の戦術上の誤謬と缺陷

ベルリンの金屬労働者ストライキはストライキ破りの増大を顧慮して革命的労働組合反対派によつて準備され遂行された。プロフインタンの中心的スローガンはかうだ、——一ペンニツヒの賃下げも許すな！ 一時間につき二〇ペンニツヒ賃銀を値上げせよ！ 完全なる賃銀支拂を伴ふ七時間労働日を施行せよ！ 同一労働に對して同一賃銀を支拂へ！ 等々。これらの中心的スローガンと並べて、

ベルリンの金屬労働者罷業

なほ特殊な、經營の諸事情に適應した工場的闘争綱領が掲げられた。特殊な要求は多數の工場において徒弟や青年のためにも掲げられた。ストライキ前の時期には、革命的労働組合反対派は工場内における闘争準備委員会の選挙を組織した。革命的労働組合反対派はベルリンの金屬労働者の間に大きな政治的勢力を持つてゐたのに、彼等がストライキ勃發直前に闘争準備委員会を選挙し得たのは、ベルリン金屬工業家同盟に加入せる二百七十八工場の中たつた四十工場においてだけであつた。吾々がストライキの初日に百六十工場において革命的ストライキ指導部を選挙することが出来たといふ事實は工場内における活動が従來の運動におけるよりも一層よかつたのに、闘争前の組織的準備がなほ不充分であつたことを證明するものなのだ。

この闘争における革命的労働組合反対派の經濟的要求は一般的には正しかつた。けれども掲げられた經濟的要求の中には、労働者にわからないものがあつた。革命的労働組合反対派は一時間あたり二〇ペンニツヒの賃銀値上げの要求を掲げた。この要求はドイツの全企業家階級が全線に亘つて賃銀切下げに取り掛りつゝあるやうな情勢においては不適當なものであつた。二〇ペンニツヒの賃銀値上げ——この要求はなるほど急進的に聞えるには聞えるけれども、労働者誰一人としてこの要求が有効に闘ひ抜かれ得るなどとは信じなかつたことも確かである。第五回大會はその決定の中で次の如く述べてゐる、労働者を動員し強固な闘争戦線を形成するためには革命的労働組合運動はポブツラ一な要求を

掲げねばならない、これらの要求は労働者が成功するといふ見込みを以てそのための闘争を遂行することが出来ると思ふやうなものでなければならぬ、と。

も一つの戦術上の誤謬は闘争喚起の期限を公式的に定めたことであつた。革命的労働組合反対派はベルリン金屬工業におけるストライキの開始を賃率が満期となる十月六日に定めた。この時點は、革命的労働組合反対派がこの期限決定の當時金屬工場において全く微弱な組織的地位を持つてゐるにすぎなかつたのに、選ばれたのであつた。十月六日には、企業家と労働組合官僚との種々様々なマヌーバーのために、革命的労働組合反対派は闘争を惹き起すことが出来なかつた。次に十月十日に仲裁決定が八割賃銀切下げを以て臨んだとき、革命的労働組合反対派は労働者に、賃銀切下げが効力を發生すべき日である十一月三日にストライキに入ることを要求した。

十月六日に期限を定めたことが自己の勢力の過大評價であり労働組合機關の機動能力の過小評價であつたとすれば、ストライキの開始を十一月三日に定めたことは大衆の闘志の過大評價であり改良主義的な敵一般の無視であつた。期限の決定といふ誤謬のために、改良主義的労働組合官僚は極めて易々と革命的労働組合の聲價を落しこれを侮辱することが出来たのであつた。たしかに前以て、屢々幾週間にも亘つて、闘争を喚起しようとする期限は決定されるであらう。けれども、かやうな場合には、定められた時點において闘争を惹き起すことが出来るといふ或る自信を與へる一定の保證がなければ

ならないのだ。かやうな保證がないとすれば、公式的に期限を定めることは正に第五回大會の諸決定において烙印された左翼宗派主義であり、組織上の保證を伴はない猪突である。

革命的労働組合運動は經濟闘争の準備に從來よりも遙かに大きな注意を拂はなければならない。まさに經濟恐慌が激化しつつある時期においてこそ、労働者の闘争の政治的組織的準備に、客觀的主觀的な阻止的要因の故に、最大の意義が與へられなければならないのだ。プロフインタンの支持者が獨立の闘争を組織し指導しようとするとき、そのことは取りも直さず、幾週間にも亘る宣傳煽動によつて工場をいつでもストライキに入りうるやうにすることなのだ。政治的組織的に工場の全従業員をその最後の部門にいたるまでシツカリとその掌中に握る統一戦線機關としての闘争準備委員會の選舉は、闘争を成功的に發展させるための前提の一つなのだ。

ストライキ中における缺陷と弱點

革命的労働組合反對派はこのストライキにおいて經濟的要求を政治的要求と巧に結びつけることを理解した。ブリューニング政府に對して闘争せよといふスローガン、調停制度の不信用化及び工場の前から警官を追拂へといふ要求はどの労働者にも解り易いものであつた。けれども、革命的労働組合反對派はこの闘争の全政治的意義を廣汎な労働者大衆にたいき込み、このストライキを全國の金屬工業及びその他の諸工業へ普及させることが出来なかつた。ストライキを普及させることが出来たのはベルリン金屬工業家同盟に加入してゐないベルリンの十七金屬工場——労働者數總計五千——においてだけであつた。

罷業團に對する労働者階級の連帯行動は殆ど専ら物質的救援にあつた。國內労働者及び國外労働者の物質的精神的救援は闘争期間が短かゝつたために確かに成功であつた。殆ど専ら小農及び小營業者のところだけで、二千ツェントネル以上の生活資料が調達された。ストライキの終りには、その家族を併せて約四萬に達する労働者に八十頭の牝牛が與へられた。けれどもストライキを言ふに足るほど擴大することが出来なかつた事實に鑑みて、革命的労働組合運動は、工場の闘争要求の基礎の上に連帯ストライキを組織することによつて闘争戦線を擴大するといふ問題を、從來よりも一層明確に労働者の闘争の中心點に置くやうに心懸けねばならない。

改良主義的労働者同盟の内部における革命的活動が不充分であつたことも、闘争前及び闘争中における阻止的要因の一つであつた。この組織には數千のプロフインタン支持者があるが、彼等は改良主義的労働者同盟の内部において反動的労働組合機關に對する闘争を動員し組織化するについて何の役割も演じなかつた。労働組合活動の拒否は、第五回大會の決定の意味とは何の關係もないのだ。なぜかといふに、同決定には活動の中止と改良主義的同盟からの自發的脱退との傾向に對して最

も激烈な闘争を行はねばならぬとあるからなのだ。

革命的労働組合反対派はまた自己批判を行つてストライキの指導に一聯の缺陷があつたと断定してゐる。改良主義的同盟は止むを得ずストライキを喚びかけたが、この事實は革命的労働組合反対派の支持者のあいだに大きな驚異を惹き起した。この驚異は反対派の指導部にさへ起つたのだ。革命的労働組合反対派の間には、社会ファシスト的労働組合機関は闘争することも出来ないしまた闘争もしないであらうといふ考へが廣く存在してゐた。吾々は一般に社会ファシストの機動能力を過少評價した。ところが、それは正に金屬労働者のストライキにおいて非常な弾力性を示したのであつた。闘争がもはや防害されなるとき、それを適當な情勢の下で絞殺するために先頭に立つことは、勿論古臭い方法であつた。労働組合機関の闘争性と闘志とに關する改良主義的労働者の幻想は、労働組合官僚の老獪な戰術によつて途方もなく強められた。

闘争中、ストライキ指導の問題においてプロフィンタン支持者の陣列中にも日和見主義的偏向が現はれた。二、三の工場では、プロフィンタンの支持者は「統一」のために、従業員の前でのストライキ指導のための公然たる精力的な闘争を放棄し、そして政治的妥協の基礎の上に改良主義者との共同のストライキ指導部をつくつた。彼等がストライキ中央指導部の干渉によつて闘争戰術の問題を提出することを餘儀なくされるにいたつたとき、これらの「統一的」ストライキ指導部は次々に碎け散つ

た。けれども、日和見主義的偏向があつたにも拘はらず、闘争の發端から大部分の工場においては指導のための激烈な闘争が行はれた。ベルリン金屬工業家同盟所屬の二百七十八工場の中、決定的な最大の百六十工場に革命的指導部があつた。これらの革命的指導部は従業員によつて選舉されたものであつた。革命的労働組合反対派が他の諸工場——たとひ中小工場だけが主たるものであつたにしても——へ近付き、そこでストライキ指導部をつくることが出来なかつたといふ事實は、革命的労働組合反対派がこれらの諸工場と結び付けてゐないことを曝露した。改良主義的金屬労働者同盟の指導部は、ストライキの開始に當つて、工場委員會とドイツ金屬労働者同盟の役員とがストライキ指導部に任命されると聲明した。改良主義的ストライキ指導部はどれ一つとして、工場の全従業員によつて選舉されたものではなかつた。闘争そのものにおける社会ファシスト的機關の強味は工場内の改良主義的役員幹部であつた。

すべてこの比較的大きな工場には闘争が終るまで二つのストライキ指導部があつた。その中、改良主義的指導部は勿論専ら破壊的な行動を行つたのであつた。革命的ストライキ指導部の仕事は極めて多種多様な係りへ分割された。例へば、政治部、組織部、兵站部、アチ・プロ部等々の如きである。かやうな仕事の分割が有効であることはこの闘争においてこの上もなく實證された。勿論、かやうな仕事の分割がすべてのストライキ指導部において行はれたわけではない。闘争中大衆を把握し組織す

ることを理解しなかつた一聯の革命的ストライキ指導部もあつたのだ。

青年や失業者や婦人がこの闘争に引入れられたが、彼等が極めて活潑な闘士であることが分つた。彼等を闘争に引入れたことは、この闘争の最も大きな政治的成果の一つと観られ得るのだ。これらの諸層の編入はストライキ組織總體において、すなはち工場のストライキ指導部からストライキ中央指導部にいたるまで行はれた。革命的労働組合反対派は大規模に社会民主主義的労働者をストライキ指導部に引入れることに成功しなかつた。このことは革命的な統一戦線政策の遂行が不充分であつたと、部分的にはまた、社会民主主義的労働者の間に——彼等もまたストライキ指導部を持つてゐた——なほ改良主義的労働組合機關の闘志についての幻想が存在したことゝに基くのである。

改良主義的なストライキ破りの方法は様々であつた。社会ファシスト共は就中、ベルリン金属工業家同盟に所屬してゐない工場の數萬の労働者をストライキに引入れることを拒んだ。六十歳以上の老年労働者、戦傷者及び徒弟はすべて、彼等によつて同様に工場に送り込まれた。それどころか、『非常』労働が大規模に許容された。闘争そのものゝ間、労働組合官僚は労働者を欺瞞するために彼等に相談もせずに種々様なスローガンを提出した。彼等は就中、十分ノ一ペンニツヒと雖も賃銀を切下げさすな！ 一時間につき賃銀を八ペンニツヒ値上げせよ！ 四十時間週を施行せよ！——勿論時間の短縮に應じて賃銀を減額しないで——と要求した。そして彼等はなほ最後に従來の賃率契約の延期を

要求したにすぎなかつた。これらのスローガンは勿論示威的な性質を有するものに過ぎなかつた。なぜかといふに、社会ファシストの官僚は賃率の解除通告を拒んだのであつたから、けれども彼等が非常に屢々そのスローガンを變へたといふ事實は、彼等が労働者に対する勢力を失はないためにいかにマヌーバーすることを餘儀なくされたかを示すものであつた。

ベルリンの金属労働者の革命的同盟の創立

この巨大な闘争の最も重要な成果の一つは、闘争中適當な時に行はれたベルリン金属労働者の革命的同盟の創立である。ストライキがベルリンの金属工場に勃發した時、革命的労働組合反対派はその組織的建設の最初の段階にあつた。ストライキ勃發後日ならずして、革命的労働組合反対派に屬する二百四十八工場グループを組織することに成功した。これらの工場グループのMEMBERは實に一萬四千人以上であつた。これらの工場グループは闘争中すでに自己の組織生活を發展させ、MEMBER集會を開催し役員團等を選擧した。ストライキの經過中、社会ファシスト共の破廉恥な裏切りが絶えず益々明らかになつて行つた時、激昂した金属労働者は絶えず益々嵐のやうに、反動的ストライキ破り機關を一層よく克服するために、自己の革命的同盟を創立することを要求した。第五回大會の諸決定は、ベルリン金属労働者統一同盟(CEYMB)の創立に際しても、革命的労働組合反対派の行動の規準

であつた。第五回大會の決定には次の如く書いてある——

「新しい労働組合を機械的につくることは何らの問題ともなり得ない。それは労働者階級の階級意識に目覚めた部分を廣汎な労働者大衆から引き離すであらう。新しい労働組合の建設はたゞ、ストライキの波が高揚しはじめたときにのみ、すなはち階級闘争が非常な激烈さを加へ、プロレタリアートの著しい大衆が改良主義的な労働組合官僚の裏切りの役割を洞察し、そして新同盟の創立を積極的に支持する場合においてのみ可能である」と。

これら總ての諸條件は新しい革命的同盟を創立する際に現存してゐた。統一同盟の形式は同時に、革命的労働組合反対派が目的意識的に、左右何れの動搖もなく、また改良主義者の叫びや自己の陣營内の日和見主義的見解によつて迷はされることなく、斷乎として第五回大會の決定の實行に邁進するといふ保證である。ベルリンの金屬労働者ストライキは國際的革命的労働組合運動總體にとつて一の模範であり、獨立の革命的組合が存在しない大部分の國々において、いかにしてまたいかなる發展段階に赤色同盟が発生するかを明確に示すものである。

ベルリンの金屬労働者の革命的大衆同盟の設立は、ドイツの獨立的革命的工業同盟の形成における新しい一段階への進入を意味するものだ。

闘争の中絶と革命的労働組合反対派の戦術

十四日間に亘るストライキの後、社會ファシスト的労働組合機關は、企業家——彼等は元の八%の賃銀切下げ仲裁々定を棄て、新しい仲裁々判の形成を準備してゐた——との申合せに基いて、闘争を絞殺するための情勢が到来したと考へた。改良主義者はこの目的のために、申合せを承認するか又は拒否するかについて投票を組織した。この投票には未組織のものも参加することが出来た。これは言ふまでもなく卑劣なマヌーバーであつた。なぜかといふに、改良主義者はすでに豫め、約五萬の労働者を就中ジーマンス及びアー・エー・ゲーにおいて再び仕事に就かせることを、企業家と申し合せしてゐたからである。改良主義的な處方によつて闘争の續行に必要な罷業者の三分ノ二の多數はもはや獲得できなかつた。なぜかといふに、約五萬の罷業者が申合せの賛成者に數へられてゐたからである。十三萬五千の罷業者の中、約七萬三千が投票に参加した。その中約四萬が申合せの承認に賛成であり約三萬がストライキの續行を主張した。

革命的労働組合反対派は罷業者に投票への参加を要求した。ストライキかそれとも仲裁々定かの問題に關する最初の投票が絶対に正しかつた——なぜかといふに、革命的労働組合反対派は闘争のはじめにはなほ組織的に何ら強固な闘争機關を持つてゐなかつたのであるから——とすれば、第二の投票

への参加は疑ひもなく一の戦術上の誤謬であつた。なぜかといふに、勢力が増大してゐたし、百六十工場には強固な組織上の闘争機関があつたのであるから。投票の結果は社會ファシズムの破壊マヌーバーがその目的を誤らなかつたことを證據立てゝゐる。十一萬五千の金屬労働者は投票後工場に入つて行つた。たつた二萬五千人が革命的反対派の指導の下に二日間ストライキを續行した。それは大體において赤色役員團の處分に反対してゐた。

ストライキ中央指導部はなほストライキを續行してゐる労働者に結束して再び仕事に就くやうに要求した。かゝる情勢において、革命的労働組合反対派は同様に第五回大會の決定に則つて行動した。すなはち、反対派は闘争しつゝある労働者の一部が有耶無耶になることを防止するために結束して闘争を中止した。一部の労働者を以て闘争を續行することはたしかに革命的労働組合運動にとつてのマルヌ戦となり、そして言ふまでもなく正に同盟を新設する際に革命的労働組合反対派に破局的な影響を及ぼさずにはおかなかつたことであらう。それ故、革命的労働組合反対派が結束して闘争を中止したことは絶對に正しく且つ戰術的に賢明であつた。

革命的労働組合反対派の當面の任務

革命的労働組合反対派の最重要な任務は、今や労働者が彼等の生活水準の向上のために闘ふ經濟闘

争の組織化と指導である。ベルリンの金屬労働者ストライキの教訓に則つて、切迫しつゝある闘争においては、數百萬の労働者を反動的労働組合官僚の勢力下から解放し、そして組織的にも、アムステルダム派の破産を促進すべき絶好の機會があるのだ。ベルリンの實例が示したやうに、大衆闘争の過程において、獨立の革命的な労働組合的闘争組織が発生するであらう。そのための前提は、就業労働者と失業者との闘争の組織化に向つて斷乎として邁進することである。ベルリン金屬労働者統一同盟は今や全プロレタリアートに、賃銀掠奪反対闘争における革命的な闘争指導と活動との輝かしい模範を與へなければならぬ。ベルリンの金屬工業における八%の賃銀掠奪に反対する組織的な闘争はプロレタリアートの逆襲の今後の發展にとつて甚大な意義を持つてゐる。闘争そのものにおいて、赤色金屬労働者同盟はベルリンの金屬工業におけるすべての階級意識ある分子の集中點となるであらう。

經濟闘争は資本主義制度に對して政治的大衆闘争を捲き起し、今日なほ社會ファシズム及びファシズムの勢力下にある労働者を獲得するための槓杆である。ファシズムとその工場への侵入とは、たと労働者の生活水準のための活潑な闘争によつてのみ有効に克服され得るのだ。經濟闘争を行つてゐるプロレタリアートには、資本主義的解決策が從來よりも一層強く示されなければならない。サヴェート聯邦における社會主義的建設の巨大な成功、失業の根絶を生々と示して、革命的労働組合反対派は、經濟闘争を意識的に資本主義制度に對する政治的闘争へのヨリ高い段階へ高めるために、最大の努力

を拂はなければならぬ。

この闘争の組織化と獨立の革命的な闘争労働組合運動の形式とは相互に不充分に結び付いてをり、そして第九回大會の諸決定は大膽な適用を要求してゐる。これが國際的革命的労働組合運動にとつてのベルリンの金屬労働者ストライキの主要な教訓である。

労働者階級に對する攻勢の道具としての

「労働黨」—政府（一九三〇年十一月・十二月）

マクドナルドの労働黨—政府は一九二九年六月に政權を掌握した。選挙カムバーニアの間、労働黨の指導者達はボールドウィン—政府に對する労働者階級の憎惡を利用した。このボールドウィン政府は坑夫の英雄的な闘争を鎮壓し、労働組合撲滅法を施行し、サヴェート聯邦との國交を斷絶した政府であつたのだ。彼等労働者の指導者共は、保守黨の政府とキツバリ絶縁し、彼等が政府を組織すれば直ちに労働者に親切な諸改良を實行すると誓つた。イギリスの労働者大衆は彼等の労働黨的幻想をまだスツカリ克服してゐなかつた。そこで、彼等がマクドナルドに投票したとき、彼等は労働黨の指導者が政府を組織すれば、労働者階級の狀態が變化し、賃銀條件や労働條件の改善が行はれるであらうと信じてゐた。

一九二四年の「労働黨政府」の就任は資本主義の部分的安定の開始と一致してゐた。この一九二四年の「労働黨政府」とは異つて、一九一九年の労働黨—政府は「第三期」に政權を掌握した。「第三期」と言へば、階級對立が特に激烈に現はれ、社會民主黨の發展が今日の資本主義國家との社會ファシス

ト的融合の方向に向つて、絶えず益々大なる進歩をなしつゝある時期なのだ。

それは初めつから、「産業平和」と資本主義的合理化との政府として政權に就いたのである。スワンシーの労働組合會議が階級協働政策を承認したとき、總評議會の一員であるミリー・ベリリー Milly Baily は、これを機會に次の如く書いた——

「この重要な決定の意味は何か？ この決定は、イギリスの労働組合運動が絶對的にコンムニストの政策に、労働組合運動の戦前の政策に終りを告げることを意味するのだ。労働組合運動は、急速に、前進しつゝある國家の經濟的再建に協力し、そして現在進行しつゝある諸變化にその勢力を及ぼし、合理化と進歩とにあらゆる貢獻をするために出来る限りのことをしようといふ願望に燃えてゐる」と。

労働黨—政府の政治的綱領は、マクドナルドの總理大臣就任演説において可なりハッキリと論述せられた——

「吾々は産業における平和を、國內的問題における平和を、そしてまた國境の彼方における平和を達成しなければならぬ。吾々は重要な産業部内の兩派——企業家と賃銀受領者——の代表者が、わが國民の一般的福祉のために吾々を支持することを望むものである」と。

この聲明は、イギリスの労働者を無理矢理に従順ならしめ、合理化を全國に亘つて平穩無事に遂行

することを保證する一の約定であつた。

選挙カムバーニアにおいて、労働黨の指導者共は、國內政策の分野においては、イギリス經濟の「繁榮」の約束を除けば、その主要な目標を失業とその克服とに集中したのであつた。資本主義的合理化の促進と並んで、この問題は選挙カムバーニアの中心點に立つてゐた。労働黨の失業克服綱領はブルデョア諸黨の綱領と、言ふに足る相違を示しはしなかつた。

失業を克服するための主要方策としては、失業者を領土へ、殊にカナダへ移住させることが計畫されてゐた。更に道路敷設、運河開鑿及び架橋工事等々の永久的非常労働の企劃が計畫されてゐた。

失業の克服は一九二九年七月二日の御前演説においては重要な地位を與へられてゐた、即ち、次の如くである——

「……わが内閣の最初の事業は現存の害惡、すなはち失業の害惡に對する有効な闘争であるであらう。すでに、運輸を改善し、英國植民地の經濟的發展を促進し、農業の状態を改善し、漁業を奨励し、農産物及漁撈生産物の販賣方法を改善するために、計畫の作成に着手されてゐる。吾々は、植民地政府と共同して、領土及植民地への移住を増進するために、その方策の作成に取りかゝつてゐる。わが政府は炭坑業の再組織、特に労働日の長さ及炭坑所有の問題にたづさはつてゐる。この問題に關する草案は適當な時に提出されるはづである。鑄鐵生産及び鋼鐵生産並に木綿工業における調

二二一
查は直ちに開始されるはづである。この調査はこれらの産業部門を補助しその状態を改善するための手段と方策とを、世界市場に見出さうとするために行はれるのである」と。

かくして吾々は、労働黨—政府がその就任に際してイギリスの労働者階級に先づ第一に失業の減少を約束したのを見るのである。政府は失業の減少を、主として過剰労働力の領土及び植民地への移送によつて達成しようと考へたのであつた。更に、労働黨—政府は労働日を八時間から七時間へ短縮することによつて坑夫の生活状態を改善することを約束したのだ。更に、彼等は保守黨が施行した一九二七年の労働組合法を廢止し、労働者階級の生計を改善するために一聯の方策を實行することを約束したのであつた。ロイド・ジョージはこの穩當な綱領を批評したが、彼でさへそれを「あまり惻巧でない」と考へた。そしてブルジョア新聞は、當時失業問題を抱えてうろつき廻つてゐたトーマス大臣の演説に關するその註釋において、「彼の演説の重心は労働日の延長と賃銀低下とを承諾するやうに労働者を仕向けることに置かれてゐる」と斷定した。當然期待さるべきであつたやうに、労働黨の指導者が労働者階級に與へた選舉の約束は、選舉後なされた首相や大臣の御前演説や個々の演説よりも著しく重要なものであつたことを確認せよ、と。ブルジョアジーが議會少數派の政府である労働黨政府を政權に就かしめたのは、たゞこの政府を資本主義的合理化の政府たらしめようといふ魂膽からにすぎなかつたのだ。だから、労働黨政府の右の様な態度は全く理解し易いところなのだ。この政府は英

帝國主義の忠實な一同盟者なのだ。

イギリスの經濟は最近數年間慢性的不景氣の状態にある。イギリスは一九三〇年の第二四半期にはじめて激烈に恐慌に見舞はれたが、この經濟恐慌は急速なテンポで發展し、そして今やイギリスを特に猛烈に襲つたのだ。

鑛業では労働者總數の四分ノ一が、鑛鐵—及び鋼鐵工業では十分ノ一が、纖維工業では約半分がバツンなしである。

輸出部門における永久的景氣悪化は直接輸出に依存してゐない經濟領域へ非常に強烈に反作用を及ぼしてゐる。國內市場を目當てにする産業部門においても失業は増大してゐる。これらの産業部門においてもまた恐慌は絶えず益々激化してゐるのだ。ブルジョア經濟學者の推測（四半期報、一九三〇年、第三號）によつてさへ、次の四半期に對しては、好轉どころか、恐慌發展の緩和さへ期待されないのだ。關稅政策は今日經濟恐慌に當面せる労働黨—政府にとつて最も重要な問題の一つとなつた。労働黨の帝國主義的ファシスト的政黨への變質の徴候は關稅問題におけるその政策である。労働黨の綱領は貿易の自由を主張してゐるが、労働黨とその政府によつて行はれる政策は全く綱領に一致してゐないのだ。

英國の資本家達は恐慌切り抜け策を求めてゐるが、彼等はたゞ一つの方策しか知らないのだ——勞

働者階級に對する突撃がそれだ（賃銀の低下、労働日の延長、作業を増大し生産費を低廉にする資本主義的合理化等々）。

一九三〇年七月企業家の協議によつて設立された企業家全國會議 (National Council of Industry) は次のやうな恐慌克服方策を主張した——

一、所謂保護産業部門を含めて、全般的な賃銀低下を行ふこと、

二、關稅の施行、

三、課稅の軽減、同時に失業補助金及び疾病補助金並に國民教育費の切下げを行ふこと、等々。

右の諸方策と並行して、英國の資本主義は、労働組合——指導者や労働黨の公然のファシスト派（モズレー Mosley）の公然の支援の下に、版圖の結合を強化しようと欲してゐる。彼は、かやうにして、英國の版圖を一の「結合された經濟單位」にしようと望んでゐる、すなはち英帝國の内部においては貿易の自由を維持し、英帝國の周圍においては輸入品に關稅を施行することによつて。

本年七月一日發表された大英國の銀行家の宣言には次の如くあるのだ、「大英國は大英國製のすべての生産物のためにはその市場を公然と保持すると同時に、外國製の全輸入に對しては一様に關稅を賦課しなければならない」と。

英國資本主義が計畫した諸方策は主として、英國内の全市場をスツカリ英國資本家のために留保することに歸着する。そしてこのことは、英國の資本家共がイギリス及び植民地の労働者によつて消費される商品の價格を全然掌握し、ダムピング價格で輸出し、かくして世界市場において競争しうるために、その商品の價格を意の儘に釣上げるであらうことを意味するのだ。

その上、輸入關稅の決定は、先づ第一に最重要な必需品、殊に生活資料に對する關稅を意味するのだ。その結果、労働者階級はあらたに課稅され、生計費は再び引上げられ、そして實收賃銀は押し下げられるのだ。

労働黨と労働組合の指導者とは彼等の關稅政策において資本家を支援してゐるのだ。労働黨、労働政府及び労働組合の諸機關は「版圖内の自由貿易」のためのカムバーニアにおける最重要な道具である。

従來は、労働組合の指導者達は總評議會は自由貿易にも保護主義にも賛成しないとつねに聲明してゐる。然るに、ノツチンガムの労働組合會議は版圖の「經濟單位」に賛意を表明した。

労働黨政府の提案は次の諸點に歸着する——

- 一、小麥輸入のための強制割當ての決定、
- 二、輸入及び原料購入國營統制局の設置、
- 三、アルゼンチンとの現行協定の様式に則つて、領土と協定を結ぶこと。

労働者階級に對する攻勢の道具としての労働黨政府

労働黨政府は、英國の帝國主義者の氣に入るやうな關稅政策をイギリスの労働者階級に押しつけようと試みてゐるのだ。

労働黨内の右翼派の代表で、獨立労働黨員である、オズワルド・モズレーが、一九三〇年十二月六日に十七名の同僚とともに一宣言書を發表して、國家を恐慌から救ひ出すための方策を提案したことは、大英國におけるファシスト運動の形成の方向における巨歩である。

モズレー、坑夫組合聯合書記クック及びその他の獨立労働黨員は、『五人一獨裁』(Emergency Cabinet) 根本的に見れば、『超内閣』(Uberkabinet)の形成を提案してゐる。この内閣には、非常方策によつて國家を恐慌から救済する全權が與へらねばならぬといふのだ。議會は陳腐な『十九世紀の機械』であつて、それによつて恐慌を克服することは出来ない。現在の政府はそのとき、日常普通の諸問題に携はればよい。全國的な計畫組織が設置されねばならぬ。『獨裁的な五人一委員會』は『産業を近代化しその設備を更新するために』非常方策を講ぜねばならぬ。生活資料の輸入は『輸入委員會』の特別の統制下に置かれねばならぬ。この委員會は農産物の價格をも統制して、消費者をあまりにも高い價格から擁護しなければならぬ。『國內市場をダムピングから擁護するために』、工業品の輸入には特殊な統制が加へられ、そして課税されねばならない。領土と特殊な通商協定が結ばれねばならない、と。その外、大資本を投資して非常労働を施設するための廣大な計畫があるのだ。

かやうに、この宣言書は今日の經濟恐慌の切掛け策として、保護主義とファシズムとの施行をすすめてゐる。坑夫組合聯合書記クックによつて署名されたこの宣言書では、資本に對する闘争についてはたゞの一言も述べられてないのだ。けれども、その代りこの宣言書には次の如く述べられてゐる。『今日重要なのは財産ではなくて、英國の産業を保持することである』と。獨立労働黨の二、三の『左翼』は、この宣言書が『社會主義をないがしろにしてゐる』といふ理由から、この宣言書に對して抗議を提出した。獨立労働黨の代表ブロックウエーは、イギリス労働者の生計がダンピングと外國の競争とに對して擁護されねばならないといふこの案の根本思想に同感であると聲明した。これらすべての諸方策はモズレー一派が全くのファシスト的な道を歩んだことを證明してゐる。宣言はわけても保守的分子によつて歡迎されてゐる。彼等は『労働黨の勇敢な青年』に祝辭を述べた。

イギリスの經濟状態の悪化はその結果として、失業の増大、労働者階級の生計の低下及び階級闘争の激化を惹き起してゐる。

大英國と北アイルランドにおける失業の増加は、一九二六年から一九三〇年にいたるまでの個々の月における被保險者の總數に對する%で(官廳報告による)、次の如くである――

失業(被保険者の)數に對する%

一九二六年	一九二七年	一九二八年	一九二九年	一九三〇年
一一・〇	一二・〇	一〇・七	一二・三	一二・六
九・一	九・四	九・五	九・九	一五・六
一四・四	九・二	一一・六	九・九	一七・一
一三・六	九・五	一一・八	一〇・四	一八・七

右の統計は次のことを意味する――

- 一、一九二九年七月から一九三〇年十月にいたるまでの絶えざる失業の増大を、その際、一九三〇年十月の失業者の百分率――一八・七%は空前のレコード數字に達した。
 - 二、イギリスの失業は一九二七年以降絶えず減退するであらうといふイギリス・ブルヂョアジの希望は水泡に歸した。なぜかといふに、失業は一九二八年以來絶えず増大してゐるから。
 - 三、労働黨政府の就任以來、失業は殆ど倍加した。
- 一九二九年と一九三〇年との個々の月に大英國及び北アイルランドの職業紹介所に登録されてゐた完全失業者の絶對數を分析しよう。さうすれば、官廳報告によつてさへ、上記の期間内に失業者の絶對數が増加したことが分るので――

		單位 一 千人	
		一九二九年	一九三〇年
一	月	一四六六	一五二〇
四	月	一一八一	一七五二
七	月	一一七八	二〇七二
十	月	一二五四	二二四六

失業者數が百十六萬四千人に達した一九二九年六月(労働黨政府の就任)の失業者數を、イギリスの失業者數が二百二十四萬六千人に達した一九三〇年十月(労働黨組閣以來十六ヶ月)と比較すれば、官廳報告によつてさへ、失業が殆ど倍増したことが分るので。

特に高調しなければならぬのは、最後の年すなはち、恐慌年における失業者増加のテンポの増大である。

年	月	失業者數
一九二九年	十月	百二十五萬四千人
一九三〇年	一月	百五十二萬人
一九三〇年	四月	百七十五萬二千人
一九三〇年	七月	二百七萬二千人
一九三〇年	十月	二百二十四萬六千人

失業者數は一九二九年の九月から十二月までに十四萬一千人、一九三〇年の一月から三月までに二

労働者階級に對する攻勢の道具としての労働黨政府

十六萬六千人、一九三〇年の四月から八月までに三十五萬四千人増加し、八月から十月までに——つた二ヶ月間に——失業は十四萬人増加した。失業は急速なテンポで増大しつつある。

上記の數字はイギリスにおける失業の範圍について何らの完全な表象をも與へるものではない。なぜかといふに、それは就中、つねに失業を實際よりもヨリ少く示す傾向のある官廳の資本主義的數字であるからだ。その外、上記の數字はたゞ保險に加入してゐる失業者に當てはまるだけなのだ。すなはち、少しの保險料も拂つてゐない鐵道従業員、家内使用人、農村労働者及び一般に少しの補助金も受取つてゐないやうな失業者、これら總ての部類の労働者は算入されてゐないのだ。

完全失業者の外に、尨大な絶えず増大しつつある操短労働者の大軍がある。これらの大軍は統計に計上されてゐず、そしてそれにも拘はらず、その過少就業の結果屢々完全失業者よりもヨリ悪い状態にあるのだ。イギリスの失業者總數は一九三〇年十一月までに三百五十萬に達したと推定される。労働黨政府の就任以來かくも著しく失業が増大した原因は、主として經濟恐慌と労働黨政府によつて促進されるイギリス資本主義の強行的合理化テンポにあるのだ。選挙カムバーニアの間、労働黨は「失業を克服するための」手段として廣大な非常労働の施設と失業者の領土及び植民地への移住を約束したのであつた。

イギリスの失業者は一般に、失業を即時克服するために約束された廣大な非常労働については全く

何にも知らないのだ。イギリスの労働者や失業者は労働黨政府の失業克服方策に反抗した。この反抗に對して、トーマス大臣はそれを辯護して次の如く答へた。

「私が議會でこの問題についてはじめて述べたとき、私は率直に、私が失業を克服するためのいかなる魔術的な方策も講じ得ないと聲明したのであつた。私は、失業は決して一時的な現象ではないとたしかに聲明したし、そしてまた現在も聲明するものである」と。

労働黨—指導者の政府就任後において、失業大臣トーマスの第一歩はカナダへ旅行することであつた。失業者の移住に關する交渉は、トーマスがカナダへ旅行するための表面上の口實に過ぎなかつた！ 根本的に見れば、この旅行の目的は通商協定を達成することにあつた（穀物及びその他の生産物の輸入）。

失業者の領土への、就中カナダへの移住といふ問題においてこの政府がとつた方策がいかにか非實際的なものであつたかは、カナダが爾餘の領土と全く同様に經濟恐慌に捲き込まれてゐるといふことからも分るのだ。カナダの恐慌は北アメリカ合衆國の恐慌と密接に結び付いてをり、カナダ自體において生産制限と失業の増大とを喚び起した。その結果、新しい労働力をカナダへ輸入することなどは、差し當りてんで問題にならないのだ。

労働黨政府組閣後十七ヶ月を経過した今日、失業克服の問題はその政府就任の時よりも遙かに急性

労働者階級に對する攻勢の道具としての労働黨政府

的となつてゐる。英帝國主義とその道具——労働黨政府——とは失業の増大と關聯せる經濟恐慌から脱するたゞ一つの方策しか見ないのだ。この方策は労働者階級に對する突撃である。すなはち、賃銀の低下であり、労働日の延長であり、資本主義的合理化の續行なのだ。資本主義的合理化は作業を高め、生産を低廉にし、かくして世界市場において競争能力を獲得する可能性を與へるものなのだ。

労働黨—政府は、労働日の短縮は、失業を減少せしめるから八時間労働日に關するワシントン條約を批准すると、堂々と約束した。けれども、この條約の批准は延期された。

選挙カムバーニアにおいて、労働黨はその綱領の切り札の中で、坑夫のための七時間労働日を再び施行するといふ約束を提出した。この坑夫のための七時間労働日は、一九二六年保守黨によつて坑夫から奪はれたのであつた。労働黨の綱領中の炭坑業に關する箇條は次の如くである。「炭坑業における状態は非常に悲劇的である。よつて、炭鑛區の困窮を緩和しこの工業を根本的に再組織するための方策が即次講ぜられる必要がある。労働黨は鑛區、附屬建物並に埋藏物とを國有とするであらう。わが黨はそれを炭坑業の充分な活動の不可缺の前提と考へるものであつた」と。

右の約束に代つて現はれたものは、大規模の合理化を促進し石炭販賣を組織化するための石炭法であつた。この石炭法が企業家の援助によつて、また彼等の利益のために行はれるものであることは言ふまでもない。その外、「炭坑業全英會議」の形成が計畫されてゐる。この會議の任務はストライキの

脅威がある場合乃至はストライキが勃發した場合に情勢を「調査」することにあるのだ。この全英會議は十七名の委員——企業家代表及び労働者代表夫々八名——と「中立の」議長から構成されるといふことだ。

この組織はドイツの仲裁々判のやうに、責任宣告の方法によつて紛議を調停するものではなく、寧ろその權威によつてのみ活動するといふのだ。

この會議の決定によつて責任宣告が問題とならないことは、マクドナルド政府並に企業家には最も便利な、そして最も巧妙な逃路だと思はれるのだ。労働者に對する仲裁々定は、労働組合が「有効な」強制的な理由なしにそれに同意する場合、益々確實に作用するであらう。

それ故、ターナー、マクドナルド及びメルシエツト伯一派は仲裁といふ武器を放棄するに過ぎないのだ。なぜかといふに、彼等は、今日坑夫同盟がその裏切りの指導者に屈服してゐるので、仲裁なしに済ますことを望んでゐるからなのだ。この法律に基き、イギリスの坑夫に對してスプレッド・オーバー・システム、Spread-over-system——七時間半労働日に基く四十五時間週乃至二週間の九十時間労働——が施行されるのだ。毎週の完全な労働日が精々五日である——土曜日は半日しか働かないから——ことを考へれば、坑夫のための規定は依然として八時間労働日もしくはなほ一層長い労働時間を意味するのだ。その上、この制度は、個々の場合には坑夫から八時間以上の労働を毎日要求する可能